





## 石造物の種類別解説

經典供養塔（きょううてんくようとう）

經典供養塔には、經典の名称や經文、あるいは陀羅尼（だらに）教  
法や教理を記憶し保持するために用いる呪文（を銘文にし  
た「刻經塔」、經典の読誦やその回数などを刻んだ「読誦  
塔」、經典の書写成就を記した「寫經塔」、寫經した經典を  
社寺に納經したり、地中に埋經したりしたことを刻銘した  
「納經塔」などがある。なぜこのような經典供養塔がつく  
られたのであろうか。

仏教では、その教えの中心となる經典を、維持し広める  
ことは仏教徒の務めであり、また修業そのものであるとさ  
れ、そうした仏教徒としての任務の遂行にともなう功德に  
は、計り知れないものがあるとされている。

仏教伝来当時、經典は文字どおり有ること難き希有の聖  
典であった。したがってその維持と管理（受持）は、防災  
の態勢も整わず管理の技術も発達していない時代にあつて  
は、まさに命がけの任務であつたし、また經典内容の維持  
管理も容易ではなかつた。すなわち、外国語としての經典  
を、一言半句違えることなく音読すること（誦）、これを  
暗誦すること（誦）、その意味するところをふまえて訓誦  
（解説）することは、いずれも一朝一夕になし得ることで  
はなく日常的修業を要するものであつて、容易ならざる業  
であつたのである。

また、仏法を世に広めるための經典の普及という面でも、

現在のような複写や印刷技術の発達していない時代にあつ  
ては、經典の増刷もままならず、一字一句書き記して經典  
を作成するという、最も手間のかかる筆写によらざるをえ  
なかつたのである。

このように經典の維持と普及が困難を伴うものであつた  
がゆえに、そうした仏教徒の任務遂行には深い充実感が伴  
う功德の高い行為とされたのであるが、やがて時の経過と  
ともに、逆に功德を得んがために經典を読み、誦し、寫經  
するなどの宗教行為が生まれ、それが信仰行為として確立  
して今日に至っているのである。各種の經典供養塔はこう  
した背景の中から生まれたものであり、その大半のものが  
誦・誦・書写（寫經）の成就の際に建立されている。

### 刻經塔（こつきょうとう）

經典の名称や真言、あるいは經文の全部もしくは一部を  
塔に刻んだ石造物が刻經塔である。（本報告書では、刻經  
塔のうち当地方に数多く見られる名号塔および題目塔は、  
別に独立させて収録した。）

刻經塔が、どのような理由によって建立されたのか、す  
なわち經典保存のためであるのか、帰依する經典への信仰  
の表現なのか、あるいは読誦もしくは寫經の成就完成を記  
念するものであるのか、必ずしも一定していない。

## 写経塔（しゃきょうとう）

経典を写すことであるが、それにはいくつかの目的や意味があるとされている。その一つは写経によって冥福を祈り供養すること、二には写経によって心の安らぎを得たり、功德を得られる、信仰を深めるといったほかに、経典を写経によって広めることや、写経したものを埋納したり霊地に納めて記念することがおこなわれている。

写経塔は銘文をよく読み、写経の目的、願主、関係する寺院、僧侶の名等を調査し、他の写経塔と比較検討することが必要であるとされている。

## 読誦塔（どくじゅうとう）

経文を見ながら読むことを読経どきょうといい、経文をそらんじて唱えることを読誦どきょうという。また読誦とは書物や文章を声を出して読むことであり、読誦は経文を読むことをいう。

経典供養塔の一つの読誦塔は特定の経典を読誦したことを記念して建てた塔である。

経典は本来、読まれ広められるためのものであるが、外国語としての経典を誤りなく読み、そらんじて読めるほどに繰り返し読むこと、すなわち読誦が修業として重視されるようになった。やがてそれは、平安末期ごろになって、信仰の深さを量的に測る傾向が生まれると、読誦が何部、何遍、あるいは何日行われたかということが重視されるようになり、石塔に刻銘して読誦の完了を記念することも行われるようになったのである。

裾野市深良興禅寺にある読誦塔は、「因唱弥陀名號百萬遍」と刻んであり、読誦という語は記されていない。「南無阿弥陀仏」を百万遍唱えたという記念塔であるがその読誦の圧倒的な量に、ただただ感服のほかない。

## 廻国塔（かいこくとう）

「奉納大乘妙典」「回国六十六部」「廻国」などの銘文のある石造物が廻国塔である。

この廻国塔は、経典供養塔のなかの、納経塔の一種と位置付けることができる。すなわと大乘妙典と呼ばれる法華経を六十六部写経し、わが国六十六カ国の霊場に一部ずつ納めて諸国を廻った記念塔である。法華経は八巻から成っており六十六部ということになると五百二十八巻の写経がなされており、これだけでも大事業である。

この廻国塔の建立の目的は、廻国成就を記念するものや、



数年間に及ぶ廻国の大業の、志半ばにして不慮の死をとげ  
た行者たちの供養のために造立されたものなどさまざま  
ある。中でも、廻国してきた遊行僧（彼ら乞食僧は六十六  
部、あるいは六部と呼ばれた）に路銀を与え、霊場で先祖  
の供養を依頼したことを記念して建立した塔がもつとも多  
いとされている。

#### 順礼・順拝供養塔（じゅんれい・じゅんぱいくようとう）

各地の神社仏閣、聖地霊場を訪れたり、参詣して回る民  
衆の順拝・順礼行為としては、伊勢神宮への参詣や善光寺  
詣弘法大師ゆかりの地を回る四国八十八ヶ所めぐりなどが  
有名であるが、とりわけ観音信仰に基づく霊場巡りは民間  
信仰の中で大きな位置を占めるものである。

『法華経普門品』（『観音経』）の、観世音菩薩が三十三  
にその身を変えてこの世に現われ、衆生のあらゆる苦し  
みを救ってくれるという簡明な教えは広く民衆の心をとら  
え、やがて、観世音菩薩を本尊とする三十三の寺を順礼す  
るものには功德が得られるとの信仰が生まれた。

近畿地方一帯に点在する観音霊場に岐阜県華厳寺を加え  
た「西国三十三ヶ所」、関東地方のいわゆる坂東八ヶ所順  
礼の「坂東三十三ヶ所」、埼玉県秩父市および秩父郡の「秩  
父三十三ヶ所（西国・坂東・秩父を合わせて百にするため、  
後に三十四ヶ所となった）」といった、よく知られた全国  
霊場だけでなく、例えば「駿河・伊豆（両国）横道三十三  
ヶ所」「駿河一国三十三ヶ所」など地方霊場も各地に生ま

れさらに小さな地域霊場が数多く設けられた。

こうしたさまざまな三十三ヶ所観音霊場を順拝する各種  
の順礼が、江戸時代の経済発展とともに広く庶民の間で  
なされるようになり、困難をとまなつた順礼を終えると、  
かれらは多様な順礼供養塔を建立したのである。

裾野市の石造物をみると、観音信仰に基づく順礼供養塔  
が多いことに気付かされる。そこで本書では、その特徴を  
明確に示すために、観音信仰に基づく順礼供養塔を「順礼  
塔」と表わし、「遍路」と呼ばれている四国八十八ヶ所の  
順拝やその他の寺社霊場への参詣にともなう石造物を「順  
拝塔」として分類した。

また「巡礼」「巡拝」と今日表記されているものも、裾  
野における多くの石造物の刻銘にならって、本書でも「順  
礼」「順拝」と表記したことは例言に記した通りである。



## 名号塔（みょうごうとう）

名号というのは阿弥陀如来をたたえる「南無阿弥陀仏」という言葉で、南無というのは「帰依する」という意味である。したがって名号の意味は「阿弥陀如来に帰依する」という意味になる。中国唐代の名僧善導大師（六一三〜八一）は、この名号の南無を願、阿弥陀仏を行とすると、願と行が共に具った六文字であるから、これを念じ唱える者は極楽往生できると説いた。この教えは平安時代のすえに末法思想、浄土信仰と結びつき、特に時宗を開いた一遍上人は、この名号を本尊としこれを唱えることによって、現世から救われるとして、名号を民衆に広めたとされている。名号塔は自然石または切石に「南無阿弥陀仏」という六文字を刻んだもので、多くは念仏講、阿弥陀講などの講中によって建てられている。特にこの地方に多い唯念名号塔については、次項で解説をした。

## 唯念名号塔（ゆいねんみょうごうとう）

唯念は念仏専修の行者で、駿東郡小山町上野の唯念寺を創建したとされるが俗名は明らかでない。

「明治往生伝」によれば、寛政二年に熊本県八代郡の土族の生まれとある。一七歳で下総行徳村の徳願寺の誓譽和尚の元で仏門にはいる。その後北海道にわたるが、誓譽和尚が特命により、岩槻浄国寺へ移ると、唯念は誓譽和尚のもとを離れ、恐山（青森県）、月山（山形県）、八王子高尾山などで修行を繰り返して、文政六（一八一三）年駿河国上

野奥の沢（小山町）を訪れる。そして文政九年には、小山町菅沼に唯念の署名と花押の記された馬頭観音が建立されている。その後、富士山などでさらに修行を深め、天保六年に小山町上野奥の沢に念仏堂を創立する。

独特の文字で書かれた唯念名号塔は、静岡県東部地区を中心として、神奈川県、山梨県などで一六五見られる。年代の明らかなものでは、嘉永（二八）、安政（三四）、明治（二九）に集中し、この三者で七三%をしめる。地域別に見ると三島市（一四）、修善寺町（一一）、小山町（二七）、沼津市（二七）、裾野市（一八）、函南町（一〇）と沼津市に特に多い。県別に見ると東部地区を中心とした静岡県が一三八と圧倒的に多く、神奈川県で二六、山梨県で一つ確認されている。

唯念名号塔は自然石を利用したものが多く、最大は小山町足柄峠下栗の木沢の四メートルで、裾野市の岩波駅前のもとは二番目の大きさである。最も小さなものでは、七〇センチ弱の修善寺永松院の名号塔がある。

建立年代で見ると、馬頭観音に署名と花押を記した小山町菅沼の例を除くと、天保一四（一八四三）年の紀年号を持つ裾野市茶畑の願生寺境内のものが最も古く、逆に南足柄市千津島公会堂前の明治一八（一八八五）年のものが最も新しい。

裾野市の例では、茶畑の願生寺例が天保一四年で最も古く明治一二年の富沢例と切久保例が最も新しい。裾野全体では、嘉永年間ものが五例と集中している。

馬頭観音に唯念の花押などが見られる例は、先の小山町菅沼と御殿場二子の共同墓地参道にあるが、岸壁に彫り込まれた小山町奥の沢の奥行場例や裾野市下山神社裏例、さらに裾野市の願生寺例のように、名号と菩薩や如来像などが組み合わさったものとして、葦山寺家の光照寺門前例などがあるが、これらは唯念塔としては変わった例といえる。

唯念塔には正面中央の「南無阿弥陀仏」と、独特の文字で書かれた名号の左右に、菩薩像などをあしらったものと「天下泰平、国土安穩」などと書かれたものに大きく二分できるといふ（石井種生「唯念名号碑」一九九三）。これは極楽往生を希求した村人の願いとともに、雨ごいや疫病送りの祈願をよく示す民間信仰の表れとも考えられる。

裾野市佐野バス停前に設置された、二・二メートルの大きさの、安政四年と紀年された例などは、当時大流行したコレラに対する疫病払いが祈念されたものかも知れない。



沼津市静浦地区の同じような安政四年紀年の唯念塔は、当時猛威を振るったコレラの疫病払いを祈念してのものであったと言ひ伝えられている。

唯念塔からは、そうした村人の素朴な信仰を読みとることもできる。

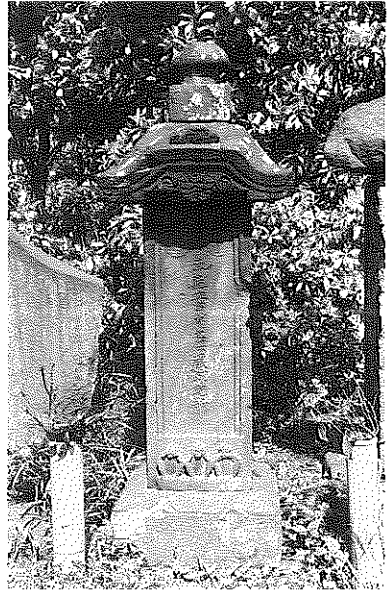
#### 題目塔（だいまくとう）

題目というのは、本来は經典の題号をいう。日蓮宗、法華宗などでは法華經のなかに釈迦の教えの真髄があると説き、法華經の題号の妙法蓮華經に南無をつけて、南無妙法蓮華經とし、この七文字の題目を唱えて、法華經を身に付け広めることを行としたのである。

この題目の唱行は信徒のなかで、題目講という組織ができ、この講中の人々によって題目塔が建てられるようになった。この塔は自然石、切石に南無妙法蓮華經の七文字を刻んだものが多い。

#### 庚申塔（こうしんとう）

庚申というのは中国の暦で十干十二支の組合せにより、六十日目に回ってくる庚申の日のことである。中国の道教では、庚申の夜になると人体に宿っている三尸の虫が睡眠中に体から脱け出して天帝のところへ行き、その人の罪過を告げるので生命が奪われると信じられていたため、この夜は虫が出ないように徹夜で善行をし修業することが行なわれていた。このような庚申の夜の思想と修業が古代の日



本にも伝えられ、宮廷や貴族の間で行なわれるようになってきたが、やがて中世後半には民間にも信仰として広まり、庚申待とか庚申講という集団で行なう行事ともなっていた。またこの頃から庚申供養の石塔を建てるようになったとされている。

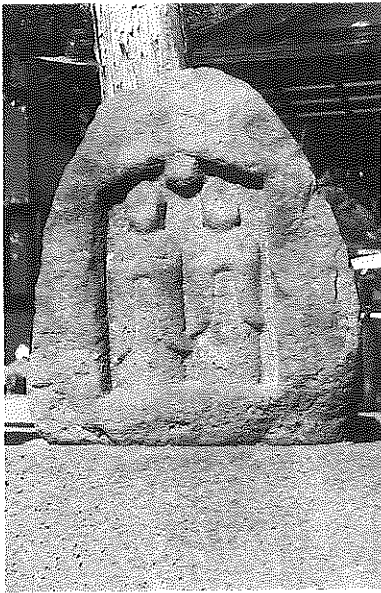
一方、庚申を「かのえさる」と読むところから庚申を申待ともいい、猿の信仰と結びつき、猿を御使とする大津市日吉二社権現の信仰とも習合していったともされている。近世に入ると、庚申の夜は言葉や行いを慎むということから、孔子家語にある不言、不聞、不見の三緘、天台宗にいう不見、不聴、不言の三諦と関連させ、両手で目と口と耳をふさいだ三猿と、その本地仏（本尊）青面金剛を庚申の守護とするようになった。

裾野市内の庚申塔は江戸時代の寛文の頃（一六六一〜七三）から建てられ、形は基盤、反花座、方形の塔身、笠、

#### 道祖神（どうそしん）

宝珠と組立て、基盤の台座または方形塔身の下部に三猿を彫り、塔身に供養の銘文を刻んであるものがある。そのほか自然石や切石に青面金剛像と三猿を浮彫したもの、あるいは庚申供養塔、庚申塔、青面金剛の文字を刻んだものなどがある。

青面金剛というのは、青い顔をした金剛童子で、仏法を護る童子の一つ。三眼六臂で忿怒の形像をし、病魔や病鬼を払うのに大威力があるとされるところから、庚申信仰の本尊とされるようになったといわれる。



もともとは道路の悪霊を防ぎ、通行人を護る神であったが、古代日本神話にあるイザナギがヨミノクニにいったイザナミを訪ねた時、その怒りにふれて逃げる途中、追ってきたヨミノシコメを止めるため、投げた杖から生まれたと



いうサエノカミと習合して、障の神あるいは塞の神とされ  
村の外つまり外界(ケ)と、内側の内界(ハレ)との境を  
守る神とされるようになったという。後世になると良縁、  
和合、妊娠、出産、幼児の守護を願い叶え、セキやシモの  
病などを直す俗信の神に変化したとされている。

石像には、単神体の立像または座像を丸彫にしたもの、  
自然石または切石の片面に、双体あるいは単体の神像を浮  
彫したもの、この浮彫石像には屋根形、舟形などがあり、  
面を円形、楕円形、屋根形、矩形に刳りを入れ、神像を浮  
彫にしその刳りの頂点に懸魚けぎよ、半菊花懸魚、逆三角形、雲  
形などの装飾の彫を入れたものなどがある。また自然石や  
切石に道祖神と文字を彫ったものや、自然石、丸石を道祖  
神としたものもある。

### 子待塔(ねまちとう)

子待というのは、庚申と同じように十干十二支の組合せ  
で甲子の日あるいは子の日に、大黒天を祭ることをいう。  
大黒天はもとインドのバラモン教の最高神シバの別名大自  
在天の化身であったが、仏教の守護神となり、さらに七福  
神の一つになった。日本では古代出雲の国神、大國主おおくにぬしと習  
合して広く民間に信仰されるようになった。近世の農村で  
は豊作をもたらす神と一体となり、人々は甲子講、子持講  
という組織をつくり、甲子の日、当番の家では大黒天を画  
いた掛軸をかけ、講中の人々が集まって祈願した後、飲食  
歓談するという娯楽の日でもあった。

### 水神塔(すいじんとう)

石像で大黒天の丸彫、浮彫したものもあるが、自然石や  
切石に大黒天あるいは甲子塔と文字を刻んだものが多い。

水の神を祀った石塔で、神像を丸彫にしたものは少なく  
自然石や切石に「水神」、「水神宮」などと刻んだ文字碑が  
多い。水神に弁財天がまつられることは、弁財天の項で、  
述べた。このほか龍も水神としてまつられる。

水神塔は用水池、用水路の分岐点、水源池、井戸などに  
建てられる。



### 如来(によらい)

如来というのは、実体や真実をよく理解し体得して人間  
界のすべての迷いや苦しみを救ってくれる、最高の仏とさ  
れる。如来像はこのようなすべての悟りをひらいた仏の姿

をあらわすものであるから、極めて簡素な着衣だけで、菩薩像にみるような装身具は身につけていない。頭髮は螺髪という頭髮をまるめた巻毛の粒にしたもので、その頂上を腕を伏せたような形に盛りあげている。額の中央に白毫という白毛をまるめた印をつけている。着衣はゆったりとしたもので、左肩から右下へ肩かけのような形の袈裟姿をしたものもある。

如来像には衆生を救う分担や役割あるいは教典の趣旨などによって、釈迦・阿弥陀・薬師・大日如来などがある。像としては丸彫の立像と座像、自然石や切石に立像や座像の浮彫にしたものなどがある。

ところで如来像は上半身がそれぞれよく似ているので区別が難しいが、釈迦如来は右手をひじのところで折り曲げ、手のひらの先を肩の線まであげて前を向け五指を伸ばし、左手はさげて手のひらを前に向けた姿をしている。釈迦三尊という場合は中央に本尊を据え、その左右兩脇に文殊菩薩と普賢菩薩像を配している。このうち文殊は獅子に乗り左手に宝剣を持ち、普賢は象に乗って合掌するのが決まった形であるという。

阿弥陀如来は西方にあるとされる極楽浄土をつかさどる最高の仏とされ、その信者は死後極楽浄土に生まれ変わることができるといわれ、中世以後広く人々に信仰されるようになった(名号塔の項参照)。この像の座像の場合、両手のそれぞれの親指と人さし指の指先をつけ、以下の指を折り曲げて両指の背、つまり外側をつけた形をしているのが

一般的な姿であるという。阿弥陀三尊の場合は本尊の左右兩脇に観音菩薩と勢至菩薩を配し、観音は頭上に阿弥陀立像を乗せ、勢至は宝瓶をつけている。

薬師如来は字のように万病を治し寿命を延ばし医薬をつかさどる仏であるとされ、広く人々に信仰されている。この像は右手の肘のところから腕を前に延ばして手のひらを前に向け、左手に薬壺を持っているのが特徴とされる。薬師三尊の場合は左右兩脇に日光、月光菩薩を配し、それぞれ内側の手に日輪と月輪の形をつけた持物の柄を握っている。大日如来は全宇宙を仏としたもので、その威力は日の神の上に立つというところから大日如来といわれている。

この像は他の如来像と異なり、頭に宝冠をかぶり垂れ飾りをつけ、胸の前で左手の人さし指を右手で握る姿をしている。また別に両手の親指の先端を合わせ、他の指を重ねたものもあるが、数は少ないとされている。大日如来には三尊像は見られない。

#### 観世音菩薩(かんぜおんぼさつ)

この仏は人々のすべての願いごとを聞き、それをかなえ苦しみを救ってくれるというので観世音といい、それに応ずるように三十三の姿をしてこの世に現れる。これを三十三観音といって平安時代以来から、西国、坂東、秩父などに、これらの観音をまつる霊場ができた。この地方でも横道三十三観音という霊場ができて、観音信仰の対象となり、集団でそれらを巡拝したという供養塔が多い。

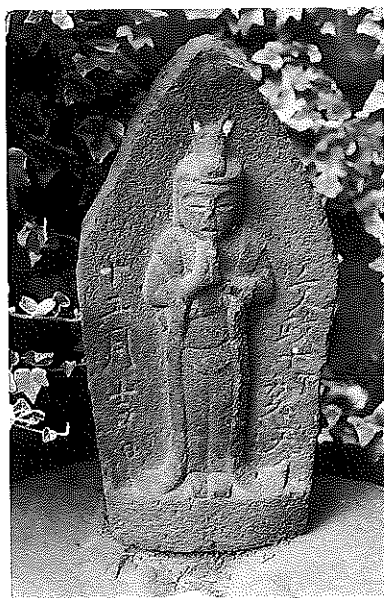
この三十三観音のなかで聖観音といわれる観音が最も一般的なもので、その姿は頭上に阿弥陀如来の化仏を配した宝冠を乗せ、左手に蓮華の茎を持ち、右の手のひらを蓮華の花にそえる形のものが多い。

また餓鬼、地獄、畜生、修羅、人、天の六道で人々の苦しみを被ってくれるという六体の観音があり、これを六観音といって、古くから信仰されている。この六道のうち餓鬼道には聖観音、地獄道には千手観音、畜生道には馬頭観音、修羅道には十一面観音、人道には准提（または准胝）観音、天道には如意輪観音が配されている。天台宗では人道の観音に不空羅索観音を配する。

これらの観音像を簡単に説明すると、聖観音は前述の通りであるが、千手観音は頭上に九ないし十面の仏面を乗せ、千本の手をつけるものもあるが実際には合掌体で両側に二十の脇手を合掌の下に宝珠を乗せた手を置く例が多い。馬頭観音は別項で説明したのでここでは重複をさけ、次に十一面観音は頭上に菩薩面が三つ、忿怒の面が三つ、牙上出相という牙が口の両端から上に向かって出ている面が三つと、後の中央に大笑する面を置くものをいう。准提（准胝）観音は三眼で左右に九本ずつの脇手を出し、それぞれにいろいろの持物を持つている。不空羅索観音は頭上に阿弥陀仏の化仏をつけ、額に豎の一眼があり、合掌するが左右に三本ずつの脇手があり、その脇手の一本に衆生を救う慈悲の索つまり絹索を持つているのが特徴となっている。如意輪観音はふつう六本の脇手をもつものと二本のものとは

### 馬頭観音（ばとうかんのん）

あって、右膝を立て左膝を折って坐り、右手を頬にそえる形をしているのが特徴である。石造には丸彫のものと、切石を舟形又は花卉形、丸屋根形などにし、内側に浮彫したものがある。一体で独立して祀られているものと、六体、三十三体並べて祀られているものなどがある。



読んで字のように、頭の上に馬の頭を乗せた観世音菩薩で後述の六観音の項で述べる六道のうち、畜生道で人々の魂を救う観音である。一般には馬と生活するなかで、馬持ちや馬に関係する職業の人々に信仰され、馬の供養や無病息災を祈願する目的で建てられている。造立された所は、馬捨て場、峠や山道の難所、集落のはずれ、道の分岐点のほか、馬の死んだ所や馬主の屋敷内などがあるが、現在裾野市の場合、道路の拡張や整備などで、一ヶ所にまとめら

れたり、原位置から移されたりしている例がある。

石像は切石を舟形にして、頭上に馬頭を乗せた観音を浮彫にしたもの、同じく忿怒の面相し三面六臂（正面と左右に顔面を向け、六つの脇手を出したものを）をしていて、手に蓮華、瓶、鉢、弓、鏃、雁などを持つものを浮彫にしたもの、自然石や石塔に馬頭観世音菩薩の文字を刻んだものがある。市内では江戸時代中頃より戦後のものまであって、数の多い石造物の一つである。

### 地藏菩薩（じぞうぼさつ）

本来は、釈迦の死んだ後に弥勒菩薩が現われるまでの無仏の間に、この世に現われて人々を救ってくれるという仏であったが、日本では平安時代中期以後、浄土信仰と末法思想が合わさって、生前の所業や因縁によって生死をくり返す六つの迷いの世界、つまり六道から、その苦しみを救い福利を与えてくれる仏と信じられ、人々に広く信仰されるようになった。近世に入ってから民間信仰と結びつき、火よけ、盗難、病氣、怪我、厄よけ、身代り、安産、子育てなど、人々のあらゆる願いをかなえてくれる仏として信仰され、地藏講という信仰集団も成立した。

地藏菩薩像は、一般には円頭が特徴で右手に錫杖しゃくじょうを左手に宝珠を持つ姿が最も多く、両手を胸のところこゝろで合わせた合掌がこれにつぐ。切石に丸彫にしたものと、切石を舟形または花弁形にして、内側に浮彫にしたものがある。立像が多く座像または腰掛けて片足をまげたいわゆる半跏趺

座像もある。

本報告書では、明らかに個人の墓碑として建てられたものと墓地内にあるものは採録しなかった。



### 六地藏（ろくじぞう）

地藏菩薩が六道をめぐって転生する衆生（人々）を救うというところから、六種類の地藏を信仰の対象にしたもの。六種類の地藏をどのように考えだしたかについては諸説があり、また持物や指の組み方にも違いがある。近世の六地藏は、仏像絵図からとったものが多いとする。

石造の六地藏には、丸彫にして六体を並べたものが最も多く、切石を舟形または花弁形にして内側に浮彫にしたものを六体並べたもの、一石に六体浮彫にしたものなどがある。また六角形の石塔の各面に六体の地藏を浮彫にしたものを六地藏石幢または六地藏幢と呼んでいる。

仏像絵図からとったという六地藏のうち、両手に数珠を持ったものが地持地藏、右手の五指をそろえて肩の高さまであげ、手のひらを前にむけ、左手はさげて手のひらを前にし、若干指をまげたものが陀羅尼地藏、両手を胸の位置で合せた合掌形のものが宝性地蔵、右手に錫杖、左手に如意の宝珠を持ったものが鶏龜地藏、両手で柄のついた香炉を持ったものが法性地蔵、両手で旗（幢幡）を持ったものが法印地藏とされている。

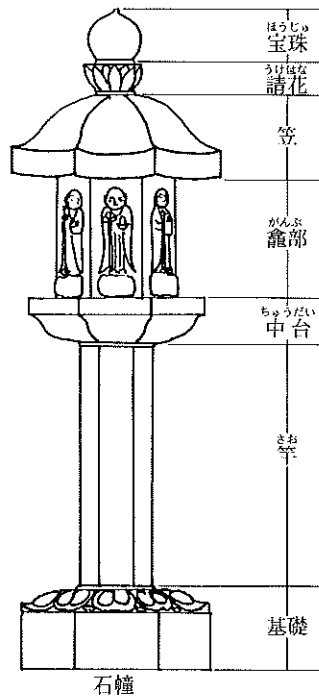


## 石 幢 (せきどう)

石幢というものには六角柱または八角柱の幢身を本体として、基礎、幢身、笠、宝珠と組みたてたものと、基礎、反花座、六角ないし八角の塔身(竿)、中台(うけ)、龕部、笠、宝珠と組みたてたものの二形式があって、前者の幢身または後者の龕部に仏像、主に六地藏尊を浮彫したものが

多い。石幢は幢身に経文を刻んだ経幢といわれたものであったが、本来は石幢自体が仏身であって塔婆であったという。

幢というのはたれ幕のことであるから、六角形ないし八角形の枠組に宝珠のついた笠をのせ、各枠面にたれ幕をつけた中に仏像を祀ったものがあつたのではないかと思われる。また龕部というのは仏像を納める厨子のことである。



## 不動明王 (ふどうみょうおう)

明王というのは、大日如来の命令を奉じて忿怒の形相をし教化のむづかしい衆生やいろいろな悪さをする鬼などを、説得し降伏させる仏という。また大日如来の分身ともいわれる。この明王のいちばん代表的なものが不動明王とされ、火災のなかにあつてすべての罪障（成仏のさまたげとなる障害）を打破り、動揺しないで不動といわれてい

るとされる。不動明王には八大童子（矜羯羅、制吒迦、慧光、慧喜、烏俱婆迦、清淨比丘、阿耨達、指德）が付属しているが、ふつうには矜羯羅と制吒迦の二童子がついているものが多い。この明王は本来の教え救済のほか、病氣治癒、安産、水神、防災（水害・火災）、怨敵降伏、財福を得るなど諸願をかなえてくれる仏として広く信仰され、不動講という講もつくられている。

石像には丸彫一体のものと童子を従えた三体のもの、切石を整形してその内側に浮彫にしたものがあるが、背に火炎を刻し右手に剣左手に絹索を持つ姿が特徴となっている。

#### 弁財天（べんざいてん）

大弁財天女、妙音天、美音天のほか大弁財功德天ともいわれ、略して弁財天、弁天様ともいわれている。もとはインドの河の農業神として尊敬され、後に仏教にとり入れら



#### 羅

#### 漢（らかん）

れて音楽や智慧の神となり、日本では中世以後に七福神の一員となって、福德の神として広く信仰されている。姿かたちは天女形で、一般には琵琶を持っているが、本来は八つの脇手があつて、弓、箭、刀、稍（騎兵の持つ矛）斧、長杵、鉄輪、絹索を持つ。もともと川の神、農業神という性格から灌漑に関係する用水池、沼、用水源となる川などの岸边に水神として祀られる。石像には丸彫や切石に浮彫として刻まれる。

阿羅漢の略で、悟りを開き功德がそなわり、尊敬や供養を受けるに価する修業僧の最高位の称号。

このなかで十六羅漢というのは仏の命で、長くこの世にとどまって仏法を護るといふ、賓頭盧尊者次下十六人の尊者をいう。



五百羅漢というのは、釈迦の弟子で阿羅漢の称号を受けた聖者をいい、釈迦の死ぬ時にその傍らに結集し、その教えをまとめるため、それぞれの道に向かったとするが、個々の名前や事跡は明らかでないという。

羅漢像は丸彫座像が多い。

### 結界石（けっかいせき）

寺院の境域を示す標識の石塔を指し、寺院寺域の一切の支配を排除し独立不入を示すためのものとされる。禅宗寺院の山門に建てられている「不許葷酒入山門」の文言を刻んだ石塔も結界石といっているが、別にこれを戒壇石あるいは禁制石といって、仏道修行のさまざまになる酒食は入れないことを示すためのものであるという。



### 手洗石（ちようずいし）

神社の参道わきに置かれてあるもので、自然石または切石の上面をうがって水を入れ、参拝者の手を洗って清めるようにしたもの。氏子あるいは信者の奉納したものが多い。

### 層塔（そうとう）

屋根を三、五、七、九、十三と奇数に重ねた石造の塔を層塔と呼んでいる。普通には四角形であるが、六角形、八角形のものもある。構造（形態）は基壇を据え、その上性格狭間を入れた基を置き、塔身（層となった屋根部）、笠、伏鐘、請花、層輪、宝珠の順となっている。

層塔は仏教でいう塔婆で、本来は仏舍利を納めたものであったが、転じて経典を納めたり仏像を塔芯に安置するようになった。近世、造塔者は主として祈願や供養塔のために建てたものもある。

佐野原神社本殿後ろにある層塔は、この地で戦死したという二条爲冬の霊を供養するために建てられたものであるといわれている。

### 万霊塔（ばんれいとう）

仏教では、この世のすべてのものに霊（万霊）があり、この万霊を一つの塔に宿らせ、この塔を回向（えこう）することによって万霊を供養することができることとされている。万霊塔というのは、この目的で建てられるので、寺院の門前、境内などの人の目につき易いところにある。

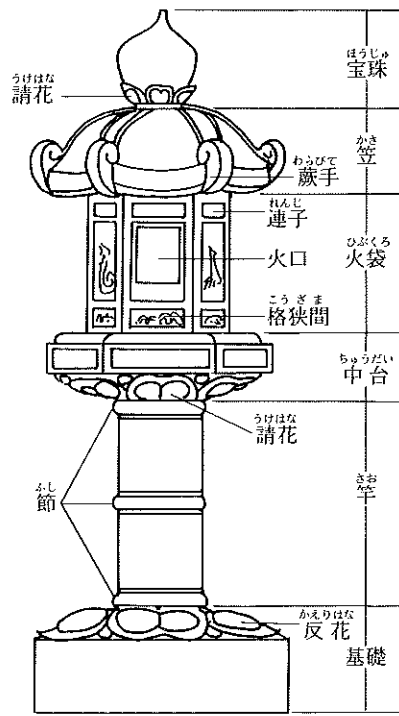
自然石や切石に「万霊塔」と刻まれるが、「三界万霊塔（等）」「法界万霊塔」と刻まれたものもあり、意味や内容は同じである。三界というのは欲望のはげしい欲界（六道の地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天）と、欲界ほどではないが、微妙な形のある色界と、そして形をはなれて心だけがある無色界の三つの世界を指し、一切のものが生き滅びし流れ転ずる世界であるとされる。法界も三界と同じ意味があるという。また十界というのがあるが、十界とは地獄界、餓鬼界、畜生界、修羅界、人間界、天上界に声聞界、縁覚界、菩薩界、仏界の加ったもので、天地宇宙いっさいの世界をさすとされている。



石灯笼 (いしどうろう)

石造で社寺の前にすえて燈火をともしもの。上から宝珠・笠・火袋・中台・竿・基礎の名稱があり、それぞれの

各部位に裝飾的彫刻を施す。祈願のため奉納されたものが多い。



常夜塔 (じょうやとう)

道路の傍、交差点・集落の入口などに設置され、常夜、灯をつけ夜の歩行を便利にした燈籠。火伏の神の秋葉信仰と合体し、塔部に秋葉山常夜燈と刻したものが多い。宝珠・笠・火袋・中台、中台を支える竿部が方形で、下部の基礎に向かって広がり安定感がある。



## 字体について

石造物の調査で刻まれた文字を読み記録することは、最も重要な作業の一つであるが、風化し磨滅して判読できないものがあるほかに、一般の漢和辞典にはない文字があつて、読めない場合がある。

そこで調査現場ではその文字を刻まれた通りに写し取って持ち帰り、石造物の調査、研究書、或いは石文字体の研究書などに記載された判読字体と照合して読むことになる。このように石造物に刻まれた文字で、漢和辞典にない文字や、一般には使われない文字を異体文字と呼んでいる。

異体文字は金石文に使われていることが多いが、裾野市内の石造物に刻まれた異体文字をみると、本字つまり元の原字体を省略したり、簡略化した字が多い。これは石工が、使用した石の質の關係から原字体では刻みにくいか、欠けてしまふとか、或いは手間がかかるという理由で、省略、簡略化した字を刻んだのではないかと思われる。特に硬質の玄武岩を用いた石造物の字体をみると、画数を省略した文字がよくみられる。

本報告書作成の過程で、衆を衆、示、歸(帰)を皈としたものなどを異字・應を応としたものなどを略字、大庭氏を大葉、瀬戸氏を勢戸としたものなどを換え字とし、これらのなかで読めないものは当用漢字に直した。旧漢字でも一般に読めるものはそのままとした。

## 石造物の周辺

### 石造物に刻まれた姓氏

裾野市内の石造物には、じつに多くの姓名つまり名字と名前が刻まれているが、これをすべて収録して石造物との関係について研究することは今後の課題として、ここでは近世茶畑村（但し平松新田を除く）の石造物に刻まれた姓名をとり上げ、石造物との係わりについてふれてみようと思う。茶畑村をとり上げた理由は、周辺の村と比較して石造物が集中し数多く存在することによる。

茶畑村には、貞享三年（一六八六）、勝俣楽翁安盛ほか同姓三名が坂東・秩父・西国・出羽（山形県）湯殿山の計一〇一カ所の霊場を参拝した記念に造立した順礼巡拝供養塔を初めとして、慶応三年（一八六七）、瑞月良辰の造立した秋葉山供養塔までの一八一年間に、姓名の刻まれた石造物が六一基ほどある。この数は近世茶畑村に造立された一九五基の石造物の約三二％に当たる。つまりそのほぼ三分の一の石造物に姓名が刻まれているといえる。

六一基の石造物に刻まれた姓名の延総数は二三三名で、このうち三七名が名前だけで、他は有姓または僧侶名、雅号名で、有姓が圧倒的に多い。延数というのは、同じ姓名を称する人物が異なった複数の石造物に姓名を刻んでいるので、同一姓名の人物を一名とせず、個々の石造物ごとに姓名を数えたからである。

姓名が最も多く刻まれている石造物は順礼巡拝供養塔で二〇基は

どあり、延一三八名の姓氏が刻まれていて、全体の約五九％を占めている。このうち横道順礼供養塔の八四名が最も多く、以下、秩父・坂東・西国の順礼巡拝供養塔の五三名、ほか四国・湯殿山の順になっている。順礼巡拝供養塔の最初の建立は、前出の貞享三年のもので、最後の順礼供養塔は文政三年（一八一二）のものであるから、一三五年間に延一三八名が信仰のため遠く村の外に出たということになる。特にこのなかで四九％に当たる六六名の女性が含まれ、うち八名が西国・秩父・坂東の順礼・巡拝に参加している。厳しい封建制度のもとで、村落の人々は自給自足の生活を強いられ、他地域との交流は殆ど無かったというのは、霊場信仰に関する限り、どうもそうとは言えないということになる。

順礼巡拝供養塔の次に姓名が多く刻まれているのは、庚申塔で五基ほどあり、四四名の姓名がみえるが、文政六年（一八二二）に建立された庚申塔（表152）に、ただ一名、柏木お□多という女性名があるだけで、ほかはすべて男性名であり、庚申信仰は男性社会のものであったとしてよからう。なお柏木氏は寛政三年（一七九二）に、単独で庚申塔を建立している（表1128）。

以下、観音菩薩像の六基に一六名の姓名が刻まれ、うち四名は女性である。そのほか石灯籠に九名、地藏菩薩像に八名の姓名が刻まれている。

次に石造物に刻まれた姓名の内容についてふれてみよう。はじめに近世の村落にはあまりみられない姓名が貞享三年の順礼巡拝供養塔（前出）と、元禄七年（一六九四）の順礼供養塔（表112）に刻まれている。前者の姓名は先にも出した勝俣楽翁安盛で、勝俣は姓で、楽翁はたぶん隠居した後に自分からつけた雅号であろう。安

盛は実名である。普通の名前には太郎・次郎・三郎・四郎・五郎や清・幸・喜・善・徳・忠・長・平・伊・治・茂・久・半・甚・文などの好字に左衛門・右衛門・兵衛などを付けて、幸右衛門とか忠左衛門、太郎兵衛などという例が多い。これらの名前は、親から子へ、子から孫へと襲名され、これを通り名ともいつている。本来の左・右衛門・兵衛は官（中央政府→朝廷）の役職名で、衛（官庁）を守る役目の名であったのが、中世末には一般の人の名前になったといわれている。この楽翁も以前には（何）左・右衛門、（何）兵衛などという名があったのが、隠居して跡継ぎに名を譲ったものと考えられる。宝暦七年（一七五七）の石灯籠にも市川彌七慧堅とあり、慧堅は実名である。近世の村落の文書では、村人は名前だけで姓と実名はなく、有力な農民の墓塔に姓と名と実名を刻んだものを、たまにみることが出来る。後者の姓名は萩坂八郎右衛門尉と同名平左衛門尉で、名前の末尾の尉というのも官職名である。尉は中央政府の近衛府・衛門府・兵衛府・檢非違使などに勤務する役人の四等官の一つであったのが、中世では武士階級の人名に多くみられる。近世の村落の人名には殆どないといつてよい。ともあれ中世から一世紀も経た茶畑村で、尉と刻んだ名は珍しいといつてよい。

次に姓を分けると、村内では三四姓ほどある。このほか麦塚杉山スサノ岩崎、スサノは伊豆佐野のことであろう。公文名村高村、三島六反田（広小路）石井の姓がみられる。表1-2に示したように、三四姓のうち最も多く刻まれているのは芹沢姓三〇名で、殆どの石造物に刻まれている。次が清水姓の二五名、市川姓一六名、勝亦姓一〇名で、この五姓だけで全体の五〇%を占めている。

九年前の統計資料であるが、清水姓は裾野市内で六一家あり、茶

畑・滝頭・中丸・道上で三六家あつて全体の約六〇%を占め、また芹沢姓は同じく市内で一六三家あり、茶畑・中丸・滝頭・道上で七六家あつて全体の四七%を占めており、両姓とも集中度が最も高い。市川姓は九五家のなかで茶畑には一三家、勝亦（又）姓は五八九家あつて、市内では大姓であるが茶畑では三九家で、共に集中度は低い。

表1-2でみる限り、近世茶畑村の村民の殆どは姓を持っていないこととなる。ただ近世文書には名前だけで姓は書かれていないのは、上からの達しで禁じられていただけにすぎない。

このほか姓名ではない別の称号、呼称を持つ者がいる。このうち行翁了西（表1-4）、□□清翫（表1-10）は、順礼供養塔・地藏菩薩像の姓名の末尾にあることから、案内・供養の僧侶ではなからうか。また亮屋□明・泪屋良仙（表1-21）は、順礼供養塔の最初に刻まれ、以下が女性名で末尾に男性名があるので、順礼の案内の道者ではないかと思われる。慶応三年（一八六七）の秋葉山供養塔に刻まれた瑞月良辰は、月をめでたく思い、よい星を願うという文言になるので、姓名ではなく秋葉山供養の願文ではないかと思われるが末尾に建とするので人名としか考えようがない。やはり秋葉山の道者であろうか。

表1には、造立年号のない石造物が一六基あるが、そのうち八基は刻まれた姓名によって年代を推定し、表の中に挿入した。まず表1-12の無年号の順礼供養塔に、藤八郎妻と半蔵母の名が刻まれているが、元文五年（一七四〇）の庚申塔に刻まれた姓名をみると、市川藤八郎と石施主勝亦半蔵があつて、両者の石造物は同じ場所にあること、この年号以外の石造物には、藤八郎と半蔵の名前がない

ことから、順礼供養塔の藤八郎(妻)と半蔵(母)は庚申塔のものと同一人物と考え、無年号の順礼供養塔の造立年代を元文年間(一七三六〜四一)に位置づけたのである。

表1-14の無年号の七観音には、道上柏木新左衛門と刻まれており、この柏木新左衛門は柏木家系図(柏木甚右衛門覚書帳 図1 柏木家系 裾野市史資料叢書 裾野市 平成二)によると、十一代甚右衛門の弟で道上に分家しており、宝暦年間(一七五一〜六四)の人物であるので、この年代に七観音を位置づけた。同じく表1-15の無年号の七観音には、柏木甚右衛門母と刻まれており、柏木家系図(前出)によると、柏木家には八代・十一代(前出)・十三代に甚右衛門を称する人物が三名いるが、この七観音の造立を表1-14と同時期とすれば、宝暦三年(一七五二)に没した十一代甚右衛門の母とみなすこともできるので、この年代に入れたのである。

表1-29・30の無年号の七観音に刻まれた中村念仏講中世話人芹沢庄兵衛母と滝頭中世話人市川元右衛門は、寛政三年(一七九一)の順礼供養塔に刻まれた滝頭市川元右衛と中丸芹沢庄兵衛母と同一人物であると考えてよく、この結果、両方の七観音は寛政年間(一七八九〜一八〇四)の造立としたのである。また表1-31の無年号の七観音に刻まれた中丸芹沢弥七は、表1-31の寛政四年(一七九二)の順礼供養塔に刻まれた中丸芹沢弥七と同一人物と考えられるから、この七観音の造立も寛政年間としたのである。いま一つ、表1-49の無年号の地藏菩薩に刻まれた清水忠左衛門は、これも表1-48の文政元年(一八一八)の順礼供養塔に刻まれた清水忠左衛門と同一人物と考えられるので、この地藏菩薩の造立を文政年間(一八一八〜三〇)としたのである。さらに表1-59の無年号の十六羅漢

に刻まれた中丸伊左衛門を芹沢姓とすると、芹沢伊左衛門を刻んだ石造物は、享保一七年(一七三二)の万霊塔、元文四年(一七三九)の地藏菩薩、宝暦七年(一七五七)の石灯笼、寛政五年(一七九三)の順礼供養塔があつて、六一一年間の年代幅があるが、いずれかの伊左衛門である可能性が高い。

以上のように、無年号の石造物も、それに刻まれた姓名と同じものを、年号のある石造物に刻まれた姓名の中から拾い出すことによつて、無年号石造物の造立年代を推定することができるのではなからうか。

次に石造物に刻まれた姓名と、近世文書に書かれた名前と対応できるかどうかについて、安永八年(一七七九)、茶畑村惣百姓の名前と黒印が捺された村方取締りにつき茶畑村請書(裾野市史第二巻 資料編 近世 第三章 六八)というのがあるので、この文書の年代に最も近い明和四年(一七六七)の順礼供養塔(表1-22)で見ると、鈴木弥左衛門(中丸組)、安永七年(一七七八)の馬頭観音(同23)では与右衛門(中丸)、天明五年(一七八五)の庚申塔と二基の順礼供養塔(表1-24・25・26)では市川傳左衛門(滝頭)・市川太郎兵衛(滝頭)・市川元右衛門(滝頭)・勝亦新左衛門(滝頭)・清水新右衛門(滝頭)・長田友八(滝頭)・長田市兵衛(中尾)・清水甚右衛門(中尾)・忠兵衛(中丸)・源右衛門(滝頭)・清水傳兵衛母(滝頭)、寛政三年(一七九一)の順礼供養塔(表1-27)では服部藤八(滝頭)の姓名が対応できた。このうち滝頭の市川傳左衛門は安永八年の時点で茶畑村の名主、同じく市川太郎兵衛と滝頭の清水新右衛門は組頭を勤めている。

終わりに、順礼供養塔の姓名をみていくうちに、寛政四年(一七

九二)、西国・坂東・秩父順礼供養塔にある芹沢弥七は、三年後の寛政七年(一七九五)、単独(但し同行二人)で四国八十八カ所をめぐる、再び享和三年(一八〇三)、やはり単独で西国・坂東・秩父・横道の順礼巡拝をはたして供養塔を造立している。この芹沢弥七のはたした霊場は三二一カ所に及び、恐らく当地域では最高の順礼であったことを記して置こう。

表 1

番号	地区番号	種 類	和年号	西曆	人 名	人 数
1	8-18	順礼・順拝供養塔 (坂・秩・西・湯)	貞享 3	1686	勝俣楽翁盛安 同名久左衛門 同名新左衛門 同名仁左衛門	男4
2	65-01	順礼供養塔 (西・秩・坂・横)	元禄 7	1694	茶畑萩坂八郎右衛門尉 同名平左衛門尉 同息子二名 八郎右衛門尉内方 平左衛門尉内方 久保田忠三郎	男6女2
3	9-13	灯笼	宝永 4	1707	石屋幸右門	男1
4	8-15	順礼供養塔 (西・坂・秩)	宝永 7	1710	茶畑村勝岡田半兵衛 同名喜八郎 同名元右衛門 清水彦重郎 横山文右衛門 市川六右衛門 西嶋八郎兵衛 細井武右衛門 芹沢次右衛門 市川伊右衛門 行翁了西	男11
5	18-02	順礼供養塔 (駮豆横道)	正徳 3	1713	茶畑村小沢弥□ 同行女□ 芹沢庄□ 同氏女□	男2女2
6	8-04	順礼供養塔(横)	享保 2	1717	おせい おたま 甚九郎 おまき おはな おつき おかえ	男1女6
7	8-03	順礼供養塔(横)	享保 7	1724	おあき おたか おつき おきし 市川太郎兵衛	男1女4
8	9-12	万霊塔	享保17	1732	中丸芹沢庄兵衛母 同伊左衛門内	女2
9	61-01	石灯笼	享保17	1732	當村高田七郎左衛門	男1
10	21-01	地藏菩薩	元文 4	1739	□沢庄左衛門 □沢伊左衛門 □□清蔵	男3
11	8-16	庚申塔	元文 5	1740	茶畑村市川弥七郎 市川新兵衛 清水源三郎 市川藤八郎 同三郎右門 清水太郎右門 同利左門 同平右門 石施主勝俣半蔵	男9
12	8-26	順礼供養塔(横)			作右門 同人妻 同娘佐恵 茂兵衛妻 新八郎妻 仁兵衛妻 六左衛門妻 権七郎母 与四兵衛妻 彦十郎妻 藤助妻 藤八郎妻 浅右衛門母 久兵衛 同人母 作左衛門母 半蔵母	男2女15
13	17-05	順礼供養塔(横)	宝暦 5	1755	當村柏木おとき 同桜井おせん 美濃川おまつ 栢間おかめ 鈴木おあき 妻塚杉山惣左衛門 駿州□□村□左衛門	男2女5
14	7-27	七観音			道上柏木新右衛門	男1
15	7-25	七観音			柏木甚右衛門母 幸原市左衛門 峯下高田清三良 同六右衛門 故山平右衛門 中丸杉沢庄兵衛 同文左衛門	男6女1
16	7-21	七観音			光明十四代九州長崎産大聖庵主了道沙弥	男1
17	8-20	馬頭観音	宝暦 6	1756	勝俣定蔵	男1
18	8-10	石灯笼	宝暦 7	1757	茶畑滝頭市川彌七慧堅 清水平右衛門 市川太良左衛門 芹沢伊左衛門 同人母 同角右衛門 清水平蔵 傳左衛門	男7女1
19	37-01	馬頭観音	宝暦 7	1757	長田寅右衛門	男1
20	18-01	観世音菩薩	宝暦 8	1758	小八郎	男1
21	8-11	順礼供養塔(横)	宝暦13	1763	亮屋□明 泪屋良仙 寺田おとり 清水おかつ 横山おかめ 芹沢おいわ 杉山おしな 簀川おきよ 山本平十郎	男3女6
22	63-01	順礼供養塔(横)	明和 4	1767	當所遠藤藏之介 同人内 鈴木長七 同人内 鈴木弥左衛門 同人内 スサノ岩崎茂右衛門母	男3女4
23	3-00	馬頭観音	安永 7	1778	与右衛門	男1
24	8-27	庚申塔	天明 5	1785	市川傳左衛門 同太郎兵衛 同元右衛門 勝亦甚右衛門 同傳蔵 同新左衛門 清水新右衛門 同佐治右衛門 同茂八 同市兵衛 養川源兵衛	男11
25	9-11	順礼供養塔(秩)	天明 5	1785	長田友八 清水茂八 同定右衛門 同市兵衛 同甚右衛門 養川源兵衛 勝亦傳蔵 同新左衛門 小野平六 横山文左衛門 公文名村□左衛門母 當村念仏講忠兵衛母 源兵衛母 仲右衛門 源右衛門 善門	男13女3
26	8-09	順礼供養塔(横)	天明 5	1785	勝亦仁左衛門母 同新左衛門母 中□三右衛門 清水傳兵衛母 同新右門母	男1女4
27	8-14	順礼供養塔(西)	寛政 3	1791	滝頭市川元右衛門 同所峯川源兵衛 中丸芹沢庄兵衛母 同所同名与左衛門 同所服部藤七 同所長田茂八 公文名村高村平右衛門母 三島六反田石并喜右衛門妻	男5女3
28	21-04	庚申塔	寛政 3	1791	柏木氏	男1
29	7-22	七観音			中丸念仏講中 世話人芹沢庄兵衛母 同儀左門母	女3

番号	地区番号	種類	和年号	西暦	人 名	人 数
					服部太右門母	
30	7-23	七観音			滝頭中世話人市川元右門 勝亦源藏	男2
31	7-26	七観音			中丸芹沢弥七	男1
32	8-13	順礼供養塔 (西・坂・秩)	寛政 4	1792	滝頭峯川源兵衛 中丸芹沢弥七 同角右衛門	男3
33	17-06	順礼供養塔(横)	寛政 5	1793	中丸芹沢三郎兵衛内 同人母 世話人同幸左衛門 同要左衛門母 同伊左衛門母 同庄兵衛母 同文左衛門母 服部吉右衛門母 杉山惣七母 土屋八左衛門内 滝頭峯川重左衛門母 市川勝右衛門母 清水市兵衛 同乙右衛門母 道上同久藏母 鈴木五右衛門母 他10名	男2女14
34	17-01	手洗石	寛政 5	1793	施主タキガシラ嶺川源兵衛	男1
35	16-12	手洗石	寛政 5	1793	滝頭施主峯川源兵衛	男1
36	26-03	順礼・順拝供養塔(四)	寛政 7	1795	芹沢弥七	男1
37	52-00	馬頭観音	寛政 7	1795	小沢孫兵衛	男1
38	59-01	八幡大菩薩	寛政 7	1795	茶畑村弥右衛門	男1
39	8-06	馬頭観音	享和 2	1802	乙右衛門	男1
40	26-02	順礼供養塔 (西・坂・秩・横)	享和 3	1803	芹沢弥七	男1
41	7-18	順礼供養塔(西)	文化 2	1805	中丸芹沢・同笠間	男2
42	61-02	庚申塔	文化 4	1807	高田永左衛門 同七良兵衛 同六右衛門 同甚助 同伊左衛門 柏水与右衛門 杉山平右衛門 同善右衛門 同弥右衛門 中山傳右衛門 清水宗七 信州高遠石工北原孫八	男12
43	7-17	角柱石造物	文化 5	1808	信州高遠石工北原□左門 同孫八	男2
44	15-00	馬頭観音	文化 9	1812	嘉藤氏清右衛門	男1
45	8-29	馬頭観音	文化12	1815	勝俣良藏	男1
46	59-04	馬頭観音	文化15	1818	杉山吉右衛門	男1
47	60-00	石灯笼	文政元	1818	中丸有澤庄兵衛	男1
48	9-10	順礼供養塔	文政元	1818	念仏師中 世話人市川太郎左衛門 清水忠左衛門 勝俣半兵衛 滝頭下組 中丸 □田半兵衛 清水忠左衛門	男3
49	9-05	地藏菩薩				男2
50	8-12	順礼供養塔(西)	文政 4	1821	勝俣利右衛門	男1
51	51-01	石灯笼	文政 6	1823	庄司重太郎	男1
52	51-03	庚申塔	文政 6	1823	小沢祐□ 市川柳太郎 庄司寿右衛門 斎藤元右衛門 柏木お□多 鈴木永左衛門 芹沢久右衛門 小沢孫左衛門 柏木八右衛門 同源藏	男9女1
53	6-02	秋葉山供養塔	慶応 3	1867	瑞月良辰	男1
54	9-09	地藏菩薩			勝又半兵衛母 同甚右衛門母	女2
55	9-03	地藏菩薩			中丸芹沢文右衛門内	女1
56	7-09	十六羅漢			公文名善右衛門	男1
57	7-10	十六羅漢			中丸三良兵衛	男1
58	7-11	十六羅漢			富沢村平左衛門	男1
59	7-12	十六羅漢			中丸伊左衛門	男1
60	8-22	馬頭観音			清六	男1
61	8-25	馬頭観音			勝亦氏	男1

表 2

姓 名	人 数	姓 名	人 数	姓 名	人 数
芹 沢	30	養 川	4	寺 田	1
清 水	25	勝 間 田	3	山 本	1
市 川	16	長 田	3	遠 藤	1
勝 亦	10	服 部	3	小 野	1
高 田	8	横 山	3	土 屋	1
勝 俣	7	庄 司	2	笠 間	1
柏 木	7	久 保 田	1	中 山	1
杉 山	6	西 島	1	嘉 藤	1
鈴 木	6	細 井	1	斎 藤	1
峯 川	5	桜 井	1	勝 又	1
萩 坂	4	栢 間	1		
小 沢	4	故 山	1		

## まとめ

### (一) 石造物調査の対象について

はじめに裾野市内の石造物を調査し報告書を作製するにあたり、  
どのようなものを石造物として報告書に記載したらよいかということ  
であった。例言では石造物の悉皆調査をするとしてあるが、石造物  
のうち墓塔、屋敷神、個人の信仰に属するものは除き、民間信仰に  
関係するものを対象としたとあり、ここまでに至るまでには、かな  
りの検討を必要としたのである。石造物の調査を担当したのは考古  
部門であったが、石造物の殆どものは近世以降の造立であったか  
ら、このため調査には近世部門と民俗部門の協力を仰いだのである。

ところで考古という石造物は、裾野市史第一巻 資料編考古で述  
べたように、重要な考古資料であつて、その対象となるものは民間  
信仰に関する石仏や石神ばかりでなく、石材を人為的・意図的に加  
工して造立・造成したすべてのものを対象としている。たとえば、  
稲作生産に重要な役割をはたしている灌漑用水路の分水石や石造の  
水門、堰、そのほか石橋とくにアーチ型の石橋、また石垣、石段、  
石柱門、踏石、道標、あるいは現在には庭先の植木鉢の置台などにな  
っている石臼類や石鉢など、それなりの歴史的な意義を多分に含ん  
でいるのである。例をあげると石垣にも切石(割石)積、野面積、  
玉石積など、積み上げる石の形態や種類によって地域的な分布があ  
り、切石積にも算木積とか切込ハギとか、亀甲積、矢羽根積といっ  
た石工のもつ技法面からの種類もあつて、単に石垣といつてもさま

ざまな特色をみるのできるものである。

また墓塔をとつてみても、近世初頭のものには自然石か板状の割石  
であるが、やがて舟形板碑や山形板碑となり、近世中期以後となる  
と墓塔は急速に増加し、形態も方塔が圧倒に多くなつて定着化する  
という、時代の推移と共に形態変遷がみられるので、これも裾野市  
ではどうなっているか、墓塔調査をおこなつて地域の特色を探つて  
みたいところであつた。しかし、悉皆調査をするとなると、墓塔だ  
けでも膨大な数量となるので、それでは地区別に選択調査をしたら  
どうかということになったが、どこの墓塔を選ぶかということにな  
ると、個人の家に係わることにもなり、非常に難しい問題が生じ、  
結果的に近世以降の墓塔については調査対象からはずすということ  
になったのである。では石造物の報告書上巻に収録した「柳澤文溪  
先生之墓」(深良1の9-2)は墓塔ではないかと問われかねないが、  
これは門人(筆子)の手による顕彰碑でもあるので、筆子塚として  
とり上げたのである。

結局、いろいろと検討の結果、墓塔や屋敷神、個人信仰に属する  
もの、その他を除き、裾野市の人々に最も親しみのある民間信仰に  
関係する石造物を悉皆調査して、報告書を作製するということにな  
つたのである。ところが、そうはいつてもまだ若干の問題点があつ  
た。たとえば神社・寺院の石段とか道標、力石、お手付石、自然石  
無記銘の道祖神、子宝石、子持石などである。話が前後して申し訳  
ないが、石造物という意味の持つ範囲は、石を加工して造立したも  
の、磨崖仏のような自然の岩盤に加工したもの(御宿22-6・7  
俱利迦羅不動・名号碑)、自然石そのものを信仰の対象としたもの  
で含むから、道祖神、子宝石、子持石などは、当然収録することに



なったのである。それでは道標はどうかというと、深良Ⅱ51―2のように、中央に地藏菩薩を浮彫にし、その左右に道案内の文字を刻んであることよって、もともと道標には往来安全の祈願が込められている信仰上のものであるし、力石も、かつて村の若者が力自慢を競って持ち上げた石であるが、これはその年の豊作を祈る神事の石造物であって、勅進相撲や綱引きと同じように、勝敗によって吉凶をうらなった信仰上のものであるということより上げることにしたのである。また神社・寺院の石段、神池に架かる石橋、石垣・玉垣なども、刻銘、寄進銘、年号などがあれば、石造物一基としてとり上げた。ところで伊豆島田のお手付石は珍しい石で、簡単にいうと通行人が手を付いておじぎをし通してもらったというのであるが、信仰には関係ないが、支配者の権力の印しるしとなっていた石というので記載したのである。

以上のように信仰以外の石造物も、各種記念碑、駒止石などのように特色のあるものは、この機会にやはりすべて収録するということにしたのである。

## (二) 石造物の種類について

石造物の種類について、すこしふれておこう。この種類の内容については、例言の順札・巡拝供養塔に述べてあるが、このほかのものには報告書末尾に年代別・地区別に一覧表として掲載した。

一般には庚申塔とか道祖神、観音菩薩などのように、大まかに区分して報告してあるが、本報告書では石仏・石神などの石造物を形態や信仰内容によって、さらに細分化したのである。たとえば一口

に庚申塔といっても、形態に青面金剛を浮彫にしたものや、文字を刻んだだけのもの、或いは塔にしたものなどがあるので、これを形態、内容によって像塔・文字塔・塔形に分類したのである。塔形というのは岩波1―2・3のように、基礎(土台)、蓮花座(請花・反花座)、塔身、笠部、宝珠と積み重ねて造立したものである。

この分類を基にして年代別してみると、裾野市内では近世の寛文年間(一六六一―七三)に、見事な塔形の庚申塔が最初に造立されるが、やがて近世中期以降になると圧倒的に文字塔が多くなる。

また地区別にみても同じような傾向がみられる。このように庚申塔も分類することによって、形態の変遷をみるができるのである。しかしこの背景に何があつたかについては別の研究分野に譲りたい。

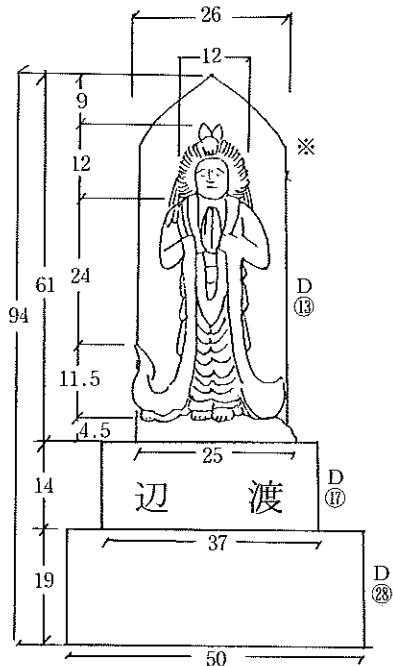
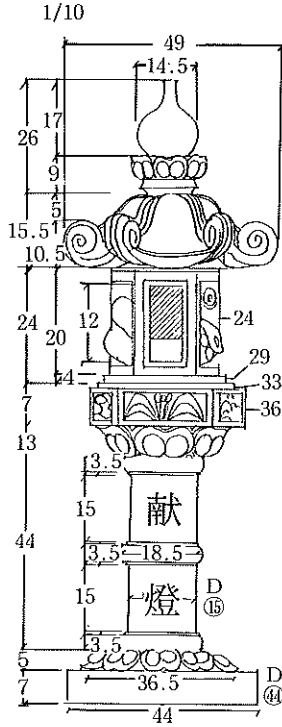
また馬頭観音も形態別に像塔、文字塔、自然石に分類してみると、近世中期の享保年間(一七一六―三六)に像塔が造立されはじめて、この像塔の造立は、昭和の初期(一九三〇)まで約二一四年間も続くが、文字塔の造立は、近世後半の明和年間(一七七〇―七二)から始まり平成元年(一九八九)まで続き、同じ馬頭観音でも像塔と文字塔では造立年代に開きがある。また像塔に年号の刻まれていないものが多いのも一つの特色となっている(報告書末尾一覧表参照)。

以上のように、石造物は民間信仰を象徴する貴重な文化遺産であるから、これをどのように分類し位置づけるかについては、今後の重要な課題となるであろう。

(III) 法量について

法量というのは石造物の大きさのことであるが、これについてもいろいろと問題点があった。はじめ石造物には各種の形態があるが、法量は本体だけでよいのではないかと考えたのである。本体というのは、深良Ⅰの石造物（写真参照）を例にとると、2・4・8の道祖神、3・7-1の馬頭観音、7-2の順礼供養塔のような一石造りのもの自体を指す。そしてこれらの石造物が安置されている基礎や土台は、本体外のものであるから法量には入れなくてもよいのではないかとしたのである。

ところが深良Ⅰの10-1の馬頭観音は請花座蓮華台（台座）の上に本体が安置されており、さらに方形の基礎の上に乗っているのである。この馬頭観音の法量は最上部の本体だけで、請花座蓮華台や基礎は法量に入れなくてもよいのかという問題が生じたのである。法量は報告書に記載する数値であって、野外調査では石造物のすべての部分、構成部を計測するので誤解のないようお願いしたい。ともあれ、さらに10-4・5の順礼供養塔は前記7-2のものとはまった



く形態が異なっており、基礎の上に台座があり、その上に銘文の刻まれた塔身があつて、笠部、宝珠を乗せて全体を構成し、また10-5は、基礎の上に請花座蓮華台があり、その上に銘文のある方塔が建てられ、この方塔の上にさらに請花座蓮華台があつて、座像の聖観音が安置されている。この順礼供養塔の本体は、言うまでもなく銘文の刻まれた方塔部分であるが、地面に据えられた基礎部から頂点までが供養塔であつて、本体である銘文の刻まれた方塔部分の大きさでは、この順礼供養塔の法量とはいえないということになったのである。

同じことが石灯籠にもいえるのであつて、18-4・5、31-2・3、66-1・2のように形態にもいろいろと形式があるが、石灯籠の本体は火袋である。しかし土台、基礎、台座、竿、中台、笠部、宝珠の全体像で石灯籠といえるのであつて、火袋だけの大きさで石灯籠の法量とするのは、どうも見た目に合わないのは明らかである。

そこで、一石造りの馬頭観音や道祖神のように本体が明らかな石造物以外に、複数の部位のもので構成されている順礼供養塔や庚申塔、石灯籠のような石造物は、全体を法量とするということになり、高さ幅を改めて、全高・全幅という用語に切り換えたのである。

それではどの部位を測って全高、全幅とするかであるが、一石造りの石造物の場合は、その石造物が安置されている地面から頂点までを全高とし、最も幅の広い部位を全幅としたのである。丸彫座像の場合は、幅の最も広い跌座部の横幅をもって全幅としたのである。また、前出の深良Ⅰの18—4・5のような石灯籠の場合、石垣積の土台の上の基礎から頂点までを全高とするか、あるいは土台まで入れるかで問題となり、同じことが、茶畑の願生寺の唯念名号塔（茶畑17—2 上巻口絵写真参照）にもいえるところであったが、結局、土台を入れて地面から頂点までを全高とし、幅の最も広いところは土台であるが、石灯籠は笠部幅、唯念名号塔は本体の名号を刻んだ角柱幅を全幅としたのである。以後、概ね土台のある石造物は、土台を入れて地面からの高さを全高とするようにしたのである。

以前は道祖神、庚申塔、馬頭観音などは路傍に造立され、通る人々から手向けられていたのであるが、近年、急激な都市開発によって道路幅が拡張され、このような石造物が邪魔となり、一カ所へ集められるようになってきた。この場合、共通の土台を造成して安置している。このような共通土台の場合は、土台の高さの如何にかかわらず、土台上面からの高さをもって全高としたのである。

次に報告書では、法量は全高・全幅で示したが、巻末の統計一覧表の法量については奥行、厚さを入れたらどうかということになった。本来、石造物の多くは正面から拝み見るもので、横から觀賞し

たり見たりするというのは、後世の石造物研究者とか愛好家の行為であって、厚さや奥行はあまり意味がない。背面に銘文、姓名、年号が刻まれている順礼供養塔、塔形庚申塔、石灯籠などは、前後左右がシンメトリーに作ってあるから、正面の計測値で奥行は示されている。しかし、一覧表に記載する奥行はどの部位にするかで種々検討の結果、本体部位の厚さをもって奥行幅にするということにしたのである。

たかが法量といっても、いざ表記するということになると、いろいろの問題点があつて、一応の結論を出すまでには長い時間と討論を必要としたのである。

#### (四) 石工について

表は、裾野市内の近世の石造物に刻まれた石工名の一覧表である。市内の近世石造物は、慶長年間（一五九六—一六一五）から慶応四年（一八六六）までの二七〇年間に、約一九〇〇基ほど造立されているが、これらに刻まれた石工名は、表のように僅か一二名しかない。このうち信州高遠（長野県上伊奈郡高遠町）の石工が六名ほどいるが、他の六名は不明である。或いは地元の石工であつたらうか。信州高遠の石工については後でふれるとして、これほどの数量の石造物が造立され、なかには見事な出来ばえの石仏や石塔が造立されているにもかかわらず、これを刻み作り上げた石工の姓名が、どうして刻まれていないのだろうか。これについては何か特別の理由でもあつたのだろうか疑問とするところである。

日本石仏辞典（末尾の文献参照）の付録の石工の項によると、近

番号	年号	西暦	所在番号	種類名称	石	工
1	宝永4	1707	茶畑9-3	石灯籠	石屋幸右衛門	
2	宝永7	1710	千福17-1	石灯籠	石工信州之住池上市郎兵衛	
3	宝永7	1710	今里9-1	手洗石	滝神石や 次郎兵衛	
4	享保20	1735	大畑2-2	石灯籠	信州石屋 池上市郎三	
5	延享1	1744	葛山29-3	地藏尊	石工信州高遠池上市良兵衛作	
6	寛延1	1748	深良46-2	祐天名号塔	作者信州住池上市郎兵衛同留伊門	
7	明和2	1765	伊豆島田6-19	鳥居	石工北原藪右衛門	
8	明和4	1767	深良81-4	供養塔	石工信州高遠北原□右門	
9	享和2	1802	桃園4-13	宗祇句碑	高遠北原孫八	
10	文化4	1807	茶畑61-2	庚申塔	信州高遠石工北原孫八	
11	文化5	1808	茶畑7-17	石造物	信州高遠石工北原□右門同孫八	
12	天保7	1836	葛山29-5	供養塔	信州中稲郡入野谷荊口村 石工俗名北原弥喜四郎行年六拾六才 石塔工者同人弟弥治右衛門作之	
13	天保10	1839	御宿15-1	石灯籠	石工繫橋清七弟子伎治郎同金治	
14	安政3	1856	御宿14-12	鳥居	石工金治郎	

世中期より約六〇年間石工として活動した、有名な信州高遠の守屋貞治（明和二年（一七六五）生 天保三年（一八三二）没）さえも、六六年間に三三六体の石仏を作ったが、自分の姓名を刻んだ石仏は一体しかないという。つまり石工は自分の作った石造物には、ことさらに作者名を刻まなかったとしている。守屋貞治の作った石仏は極めて特徴があり、誰がみても貞治作とわかるものであるから、特に自分の姓名を刻まなくてもよかったのかも知れないが、ただこれだけの理由では解答にはならない。高遠の石工は守屋貞治だけではなく、表に示したように宝永七年（一七一〇）には池上市郎兵衛や、明和四年（一七七二）には北原□右門がいて、同じ高遠の石工でも自分の作品には、しっかりと姓名を刻んでいるのである。そうすると姓名を刻むには、それなりの理由があり、刻まなかった石工には同じように何かの理由があったのではないかと考えられるのである。ところで、石工の姓名の方はともかくとして、これほどの数量の石造物が造立されているのだから、この地域の近世の村々には石工がいたのではないかという疑問が生じてくる。

これについて、裾野市史第三巻資料編近世の第一章に収録された村々の概況を示す村明細帳、同指出帳によって調べてみると、馬喰（馬の売買）、家大工、鍛冶、桶屋、木挽、屋根板へき、箕作、紺屋は記載されているが、石屋、石工の記載はない。特に貞享三年（一六八六）の公文名村・稲荷村差出帳には、「当村白樂（馬喰のこと）、木挽、紺屋、桶屋、いしや、浪人無御座候」とあって、「いしや」はいないと報告している。ところが貞享三年から一六四年ほど経った嘉永三年（一八五〇）茶畑村職人願書控（前出第三巻 第四章 資料一五二）によると、「私シ共組合村々諸職之儀、大工・木挽・屋根

職・疊職・桶職・石職・経師職・綿打等先々より農間職仕来り候処(後略)とあつて、前々から以上のような職人がいて、農作業のあい間に仕事をしてきたと書いてあり、石工の存在していたことが知られるのである。

同じ年の嘉永三年、深良村町田の念仏供養塔(深良II 72—2 唯念名号塔)建立につき諸人用覚帳(前出三卷 第五章 資料二六九)によると、「一 金式分と四百文 石工切賃祝儀共 一 壹貫三百四十八文石工扶持米代」とあり、石工への支払金額が記されている。これは前記資料の茶畑村職人願書控と同年代であるから、この念仏供養塔を作った石工は組合村々の石職であつたとも考えられる。念

仏供養塔建立の諸人用覚帳には、金銭、米などの寄付者姓名を明記しているにもかかわらず、供養塔を作った石工名が記されていないのは、石工自体無名の存在であつたのではなく、茶畑村職人願書控にあるように、諸職は農間職つまり農業の合間或いは農閑期の仕事で、本業は農業であつたから、石工の技術を持ち稼ぎはしているが專業ではないので、あるいは姓名を文書に書いたり石造物に刻んだりしなかつたのではないかとも考えられるのである。ともあれ、このような石職、石工を地付(土着)の石工としておこう。

静岡県史料第二輯の庵原郡庵原村山切(現清水市山切)の青木家文書と、新編相州古文書の小田原市板橋の青木家文書によると、相州小田原の後北条氏は、天文二三年(一五五三)、庵原郡山切の石切(石工)五人を新石切とし、扶持銭を給与して公用の石切(石採・石積)を命じている。これはいうまでもなく、今川氏と甲斐武田氏の侵攻に備えての築城のためであつた。この山切の石切の活動を両青木家文書によつてみると、永禄二年(一五六八)、石切の青木左

衛門五郎は、後北条氏のもとで石切の棟梁となり、同年、一族の青木善左衛門と共に土肥(神奈川県湯河原町)から石を切り出して、小田原城の土蔵の根石を据えたり、永禄二年(一五六九)、配下の石切衆十人を引き連れて、武田信玄の駿河・相模侵攻に備え、足柄城(小山町)の石積工事を担当し、元龜一年(一五七〇)には、左衛門五郎は武州の石切となつて、江戸、河越、岩付城を始めとして後北条氏支配地の城郭の石積の勤めをはたしている。

ところで石工には採石工(石採)、積石工(石積)、彫石工(石彫)の三分野があつて、採石工というのは石質の良否を判断し、採石を専門とする石工のことをいい、積石工というのは石垣を積む専門の石工で、石造物のところをふれたように、各種の技法があつて伝統技法を受け継ぐ流派があり、戦国時代後半からは大規模な築城と共に積石工の活動の場は全国的に拡大された。彫石工というのは墓塔、石塔、石仏などのほか、石臼、石火鉢、石炉など生活用品を作る石工のことをいう。一般に石工といっても大きく技術的に三つの分野があつて、活動する範囲が限定されているが、この後北条氏の配下となつた青木氏一族の石工は、単に石を見立て切り出し石積をするばかりでなく、「石火はち三、御大方様御用」(前出県史料)とあつて、彫石工の仕事まで勤めている。

元龜三年(一五七二)、石切棟梁の青木左衛門五郎は後北条氏を離れて庵原の山切に戻り、穴山信君(武田信玄弟)のもとで江尻城(清水市江尻)の築城の石積をしている。天正九年(一五八一)、東進してきた徳川氏の配下となり、天正十五年(一五八七)には石切奉行となつて活躍する。ついで文禄二年(一五九二)には、駿河国中の石大工となつている。一方、元龜三年、石切青木善左衛門は後北条

氏から駿州喜瀬川（沼津市木瀬川）で、「小路之内拾壹貫五百文」の永代知行地をもらい、細工の公用を命じられ、天正三年（一五七五）、善左衛門は後北条氏支配下全域の石切棟梁となっている。天正一年（一五九〇）、後北条氏滅亡後は徳川氏の配下となり、伊賀（三重県）、紀伊（和歌山県）の石工を従えて、江戸城の築城に参加し、元和六年（一六二〇）まで活動している。

以上のように、天文年間から近世初頭の元和年間まで、この地域に石切の集団がいて、石採ばかりでなく石積をはじめとして石彫の細工までしていたことが知れるのであるが、後北条氏の場合、知行の給付は概ね居住地の近くに宛て行う例が多いとするから、前出の木瀬川の近くに石工の集団がいた可能性が高い。元龜三年、青木善左衛門が永代知行地として給付された、「喜瀬川東攝衆小路之内拾壹貫五百文」の解釈であるが、前述のように喜瀬川と小路は地名で、小路は河内、高知、耕地、荒地などと宛字するが、これは河川の迂曲部に沿って開けた沖積地であるとする（日本地名語源辞典 新人物往来社 昭五六）。この小路は、木瀬川の西隣の沼津市上石田と中石田にかけて、上耕地・下耕地という小字名が連続してあり、どうもここではないかとも思われる。東攝衆という地名は、木瀬川と隣接する沼津地域や長泉、清水町にもなく、これは地名ではなく、「衆」といわれる石切の集団名ではなかるうか。ちなみに沼津市内の青木姓を調べてみると、総数一七戸あり、うち下石田に五二戸ほどあって全体の四四％を占め、集中度が最も高く関連性の多分にあることを示唆している。

この地方の石工について、民俗の杉村委員によると、「渡り石工」という人々がいて、麻袋に石工の道具を入れて肩に担いで歩くのが、

この石工の旅姿で、諸国を廻ったという。この人々は街道筋に石工宿というのがあり、生国、姓名、棟梁、仕事などの口上をいい、一宿一飯の恩義にあずかったとする。上州（群馬県）の秋間、常陸（茨城県）の稲田、下野（栃木県）の大谷などの良石の産地からは、多くの渡り石工が出て、房総から紀伊半島の沿岸まで渡り歩き稼をしたという。（田淵実夫「石垣」法政大学出版局 一九七九）このなかで、先にふれた信州高遠の石工も、（裾野の石造物 上 三〇四頁参照）渡り石工の仲間であるが、彫石工であって、彼等が依頼されて造立した石塔、石仏は、寺院、神社、あるいは村々の名主級の名家のものが殆どで、それには「信州住」「信州高遠石工」といった銘が刻まれており、刀工が自分の打った刀に銘を彫ったと同じように彼等の作品には、自信と心意気が溢れている。

信州高遠の石工が、この地域に初めて石造物を造立するのは、寛文七年（一六六七）、沼津市石川本広寺の「南無妙法蓮華経法界」の石塔で、銘は「信濃之住石工」とあり、石工は助次郎行信とする。以後、池上市郎兵衛、同七右衛門、同雲八郎、同友右衛門、中原長左衛門などが来駿して、石塔、石仏、鳥居などを次々と造立するが、明和年間（一七六四〜七二）以後は北原姓の石工が活躍し、近世後半には三島宿（三島市）に定住して、この地域に多くの石工を育成した。（石と生活展 三島市郷土館 平成二）

石工池上氏の原郷は、信州上伊奈郡非持山村（長野県上伊奈郡長谷村非持山）で、高遠の南三キロメートルのところであり、山室川という溪流に向かって開けた傾斜面に階段状の水田が展開している。ここの池上氏は、天正年間（一五七三〜九一）、武田氏に仕え番匠（大工）を勤め、兄は高遠の番匠の祖となり、弟は非持山に戻り工道に

巧みであったとする。石工中原氏は、高遠へそぐ藤沢川に沿って開けた上伊奈郡藤沢郷中原（高遠町）の出身である。石工北原氏は、同じく藤沢郷北原村の出身で、この北原氏は鎌倉幕府執権北条高時の子行時が幕府復興のため、中先代の乱（一一三三—一一三五）を起し、信濃各地を転戦し、暦応三年（一一三三—一一三四）〇、滅亡するが、その行時の子孫がこの北原に土着し、姓を北原にしたという。駿東や三島へ来た石工北原氏の出身は、池上氏の非持山よりさらに山室川を六キロメートルさかのぼった谷間の、上伊奈郡荊口村（高遠町）である（表11）。北原氏の家紋は三ツ鱗（中巻高山29—5写真参照）で、北条家の家紋とまったく同じであり、この伝承をよく伝えている（長野県の地名 日本歴史地名大系20 平凡社 一九九〇）。

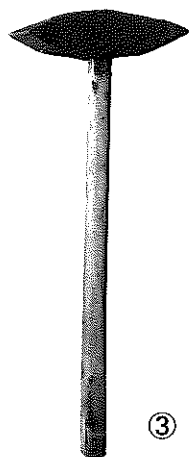
信州石工の作品は、前記の守屋貞治をはじめとして、彫りの線が



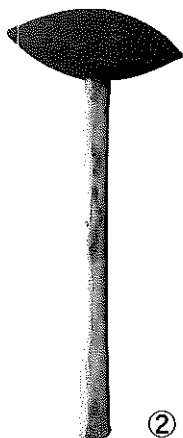
優雅でしかも鋭く、陰影がはっきりしている。特に貞治作の蓮華台にその特徴をみることが出来る。また文字は深く彫り込み、その断面はU字状をなしている。以上のような点に留意して石造物をみて

いくと、その石造物に作者名がなくても、信州石工かその系統をひく石工の作であると推定することができる。ちなみに前記の茶畑願生寺唯念名号塔は、信州系石工の作ではないかと思われる。

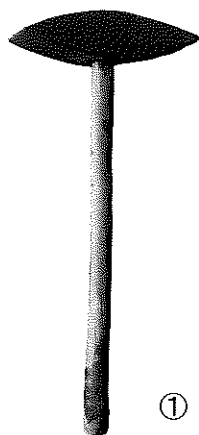
(五) 石工の道具



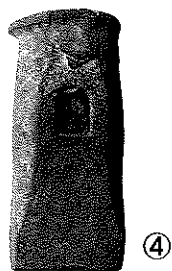
リョウバ(両刃)



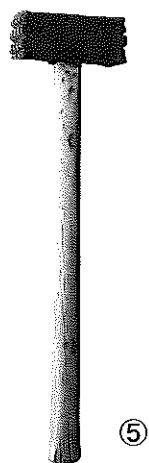
両ツル



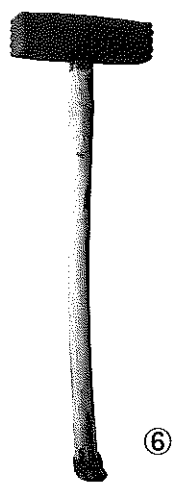
リョウバ(両刃)



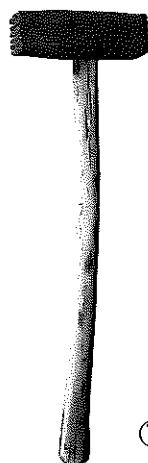
コヤスケ



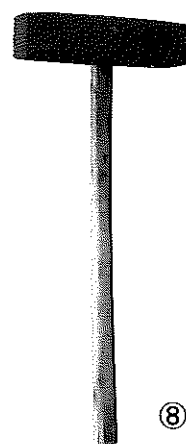
オニビシャン



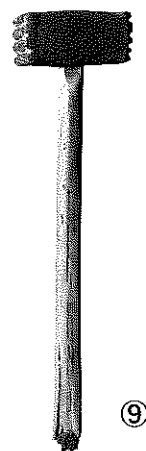
ゴマイビシャン



ヒヤクマイビシャン

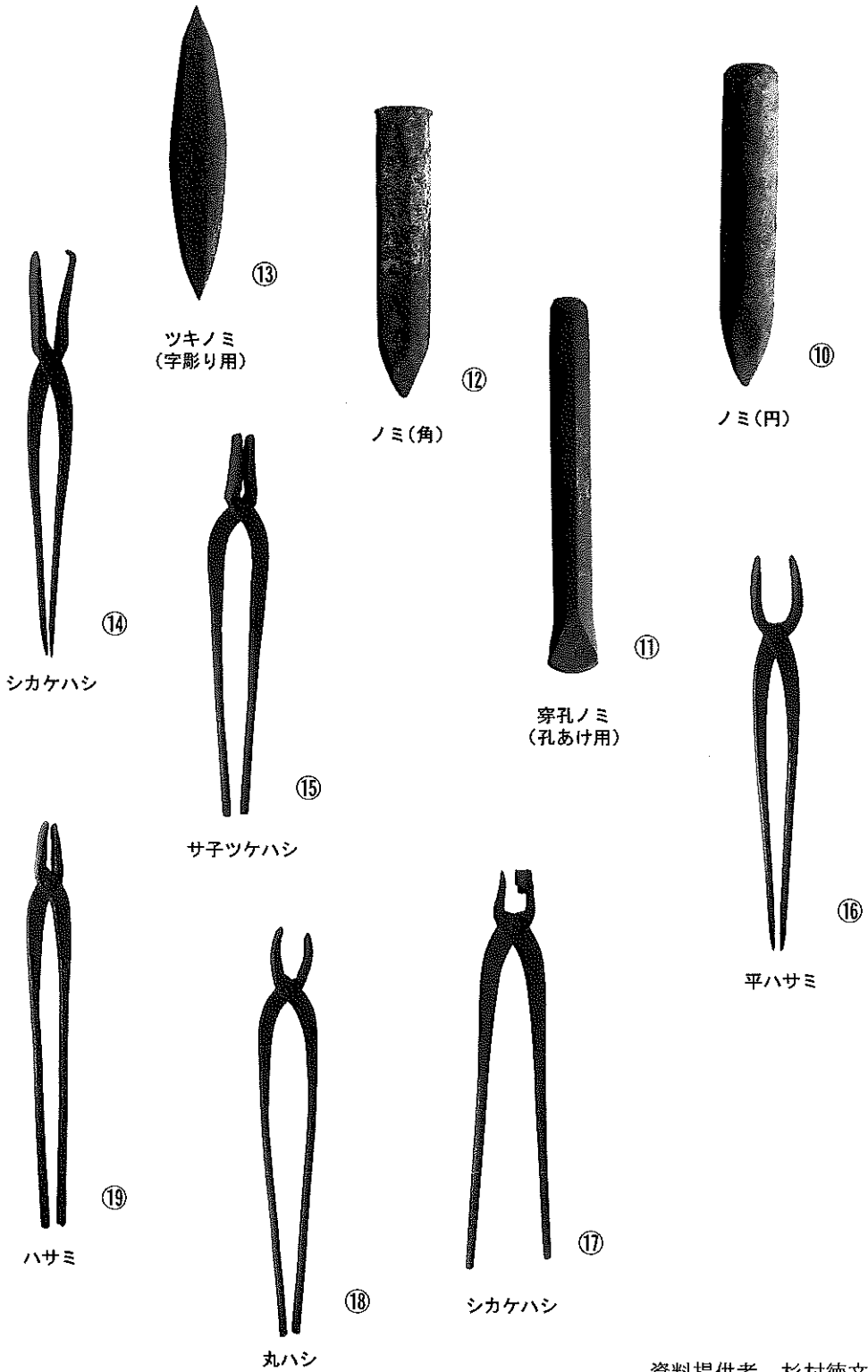


ヒヤクマイビシャン



オニビシャン



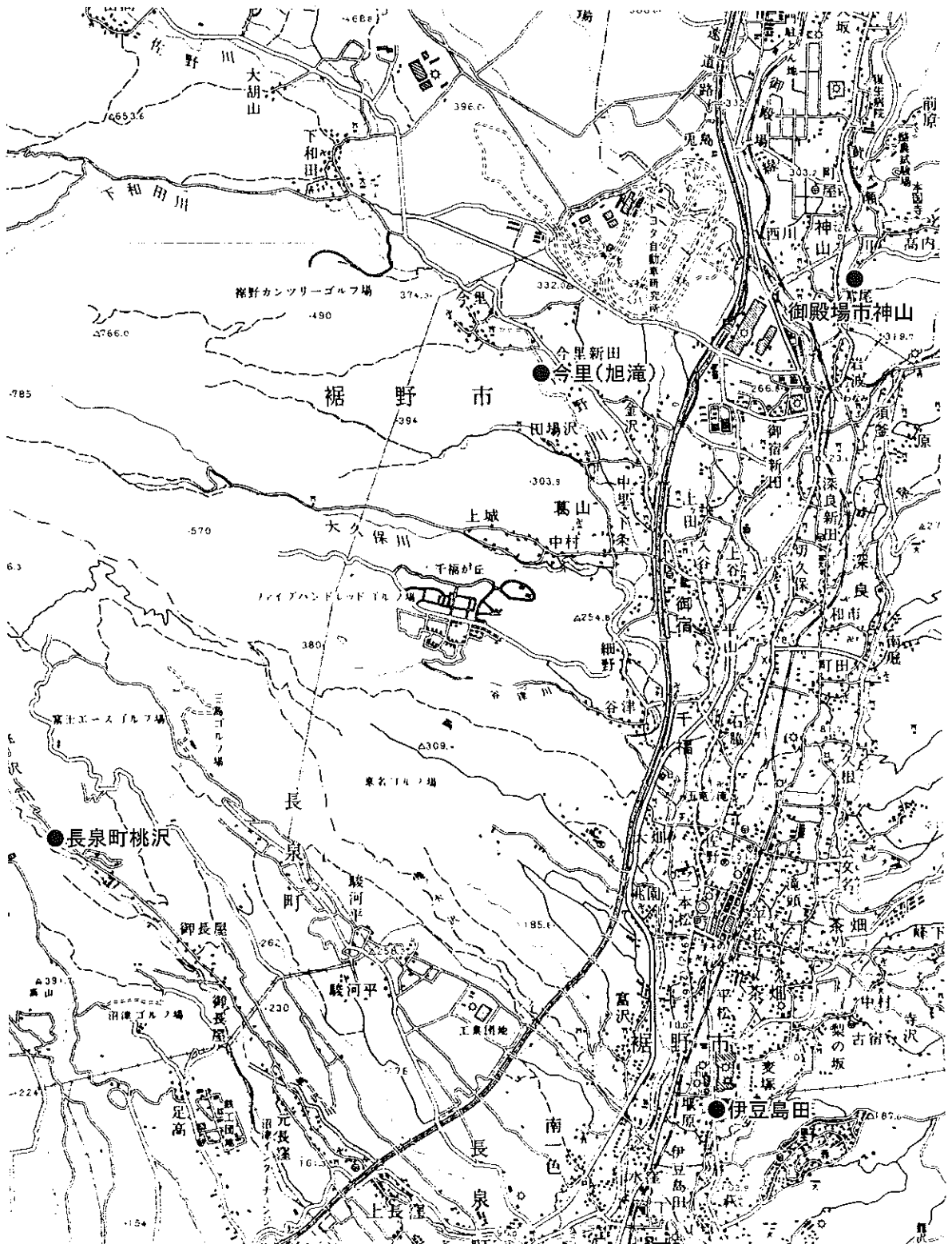


資料提供者 杉村徳文氏

1・3は、チョウナともいい、平たい刃のついた槌で、石面を細かく叩いて平に仕上げる道具。2は、両端の尖った槌で、石面を平に調整する道具。4は、大正時代に東京の石屋が伝えた槌で、石のコバ(端)をハツル(叩き落す)道具で、セツトウという槌と一対になっており、セツトウでコヤスケの上端をたたいて使用する。5は、9は、槌の叩く面が格子目状に刻まれていて、格子目に大中小(粗・細)の種類があり、石面の荒仕上げに使う道具。10・12・13は、字を彫る時に使う道具で、13は、手で握って上下に動かして字を彫るもの。

石工は自分の使う道具を、自分自身の手で作った。石工の仕事場には鍛冶場があり、フイゴ、火床(爐)、金床・焼入れの水桶と鍛冶道具一式を備え、必要とする道具の作製、刃先の調整、焼き入れ、焼き直しをしていたのである。14は19は、石工の使ったカナバサミの一部である。

(六) 石の産地







## 石造物統計表明細

注 統計表の番号は地区石造物番号である。

備考欄 ( ) 内は二種類の内容をもっている石造物である。

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
16-35	大日如来	公文名光明寺	建武2	1335.	自然石	83×115×58	
41-00	宝篋五輪混合	葛山上城131-6	康応元	1389.06		61×23×23	
27-12	宝篋印塔	葛山仙年寺	康応元	1389.10		79×29×29	
27-14	宝篋印塔	葛山仙年寺	明徳4	1393.03		58×23×23	欠落
4-32	宝篋印塔	桃園定輪寺	康正2	1456.03		99×56×35	開山
53-02	刻経塔	茶畑本茶917	天文13	1544.	自然石	43×73×31	
4-31	石造物	桃園定輪寺	天文21	1552.12	自然石	77×36×43	石塔
12-06	作衛門塔	平松佐野原地蔵堂	寛永19	1642.04	笠付角柱浮彫	140×53×26	(聖)
25-04	諸神	公文名天神宮	正保2	1645.05	自然石浮彫	93×42×21	八幡大菩薩
29-06	名号塔	葛山仙年寺	正保2	1645.07	自然石	112×42×20	梵字塔
25-05	諸神	公文名天神宮	正保2	1645.	自然石	45×30×8	天神
29-02	石灯籠	葛山仙年寺	正保4	1647.02	灯籠	230×85×51	
10-02	諸神	下和田金比羅神社	寛文2	1662.01	祠	66×51×28	愛宕神
62-00	庚申塔	須山原160-1	寛文4	1664.05	笠付角柱	214×56×28	文字塔
74-03	庚申塔	須山田向辻	寛文4	1664.06	笠唐破風角柱	211×64×36	
23-25	庚申塔	御宿荘園寺	寛文5	1665.10	笠唐破風角柱	170×50×28	風化・文字塔
12-06	庚申塔	金沢382-5	寛文7	1667.03	笠唐破風角柱	135×53×27	文字塔
4-12	名号塔	今里浄土院	寛文9	1669.06	笠唐破風角柱	156×46×25	
16-02	庚申塔	下和田860	寛文9	1669.09	笠唐破風角柱	145×55×26	欠落 文字塔
8-00	庚申塔	上ヶ田82-4	寛文9	1669.11	笠唐破風角柱	156×52×28	欠落・文字塔
1-06	順礼供養塔	岩波171	寛文10	1670.09	笠唐破風角柱	143×43×25	
48-06	庚申塔	深良切久保615-1	寛文10	1670.09	笠唐破風角柱	149×56×27	文字塔
75-06	庚申塔	深良町田庚申塚	寛文10	1670.09	笠唐破風角柱	158×57×27	文字塔
11-12	庚申塔	石脇不動堂	寛文10	1670.09	笠唐破風角柱	162×56×29	文字塔
18-00	庚申塔	久根364-1	寛文10	1670.	笠唐破風角柱	154×51×37	文字塔
20-01	題目塔	久根安楽橋	寛文12	1672.04	自然石	168×65×28	
4-03	庚申塔	葛山田場沢967	寛文12	1672.12	角柱	83×28×28	欠落
54-00	双体道祖神	茶畑本茶937-1	延宝2	1674.11	駒型くり抜	42×30×14	
1-12	地藏菩薩	麦塚東光寺	延宝2	1674.12	丸彫座像	54×43×33	
28-07	庚申塔	深良上原公民館	延宝5	1677.11	笠付角柱	162×47×22	文字塔
7-01	庚申塔	御宿838-1	延宝6	1678.11	笠唐破風角柱	157×51×24	文字塔
6-10	題目塔	須山十里木旧関所跡	延宝6	1678.11	笠付角柱	120×42×27	欠落
50-11	聖観音	須山祖霊社	延宝8	1680.08	舟型立像	55×27×19	
1-03	庚申塔	佐野94-3北	延宝8	1680.09	角柱	131×52×24	欠落・文字塔
6-12	馬頭観音	富沢公民館	延宝8	1680.11	山型角柱くり抜	72×27×27	(聖)
6-11	庚申塔	富沢公民館	延宝8	1680.	笠唐破風角柱	136×48×26	
13-09	庚申塔	千福地藏堂	天和2	1682.09	笠唐破風角柱	96×45×26	文字塔
10-08	庚申塔	深良上丹1586	天和3	1683.10	舟型立像	69×34×20	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
50-03	順礼供養塔	深良遠道原492	天和3	1683.11	笠唐破風角柱	171×54×36	梵字塔・欠落
47-00	庚申塔	深良遠道原291	天和3	1683.11	笠唐破風角柱	157×51×27	文字塔
1-02	庚申塔	岩波171	天和3	1683.	笠唐破風角柱	145×44×25	文字塔
4-02	地藏菩薩	桃園定輪寺山門	貞享元	1684.06	丸彫立像	104×34×21	欠落
3-03	庚申塔	水窪161	貞享元	1684.06	笠唐破風角柱	150×52×28	
9-00	万霊塔	伊豆島田富岳保育園北	貞享2	1685.04	自然石	84×52×31	
15-11	庚申塔	久根八幡宮	貞享2	1685.06	笠唐破風角柱	134×46×24	文字塔
19-01	順礼供養塔	千福天泉寺跡	貞享2	1685.07	舟型立像	63×34×21	欠落 (地)
2-03	石灯籠	麦塚見目神社	貞享2	1685.11	灯籠	174×48×23	
57-02	双体道祖神	深良和市慈眼庵	貞享2	1685.	駒型くり抜	57×37×21	
8-18	順礼順拝塔	茶畑滝頭不動堂北側	貞享3	1686.08	笠唐破風角柱	179×58×32	
28-05	順礼供養塔	深良上原公民館	貞享4	1687.02	浮彫立像	76×40×30	(聖)
9-06	庚申塔	深良須釜尊師堂内	貞享4	1687.03	浮彫立像	85×36×25	
12-20	庚申塔	伊豆島田不動尊	貞享4	1687.10	自然石	126×82×23	文字塔
10-10	聖観音	深良上丹1586	貞享4	1687.	舟型立像	58×27×20	風化
6-06	石灯籠	下和田専修院	貞享5	1688.06	灯籠	114×43×—	部分
32-09	供養塔	葛山中村集会所	貞享5	1688.	笠唐破風角柱	138×47×23	
10-14	庚申塔	今里稻荷神社	元禄元	1688.10	笠唐破風角柱	130×47×23	欠落・文字塔
11-10	順礼供養塔	石脇不動堂	元禄2	1689.09	舟型立像	61×26×21	欠落 (聖)
3-02	単体道祖神	富沢9-1南	元禄3	1690.03	舟型立像	55×34×23	
2-07	石灯籠	下和田浅間神社	元禄3	1690.05	灯籠	111×39×—	欠落
61-02	万霊塔	深良興禅寺	元禄4	1691.03	自然石	249×123×50	
68-02	万霊塔	深良松寿院	元禄4	1691.04	自然石	37×71×18	
4-02	供養塔	下和田1069-2	元禄4	1691.04		59×21×21	塔身・基礎部
16-03	石灯籠	公文名光明寺	元禄4	1691.	灯籠	191×46×47	
32-08	順礼供養塔	葛山中村集会所	元禄5	1692.07	山型角柱	60×26×23	欠落
28-06	庚申塔	深良上原公民館	元禄5	1692.07	笠唐破風くり抜	175×52×28	文字塔
10-05	石灯籠	公文名鹿島神社	元禄5	1692.	灯籠	49×24×24	部分・土中埋没
50-08	順礼供養塔	須山祖霊社	元禄6	1693.03	舟型立像	63×28×19	(聖)
13-00	地藏菩薩	久根351-1	元禄6	1693.06	舟型立像	66×28×20	欠落
17-00	庚申塔	葛山宮川橋	元禄6	1693.	笠唐破風角柱	174×62×29	位置相違 文字塔
65-01	順礼供養塔	茶畑市ノ瀬公民館内	元禄7	1694.02	笠唐破風角柱	131×48×27	
12-05	念佛供養塔	伊豆島田不動尊	元禄7	1694.06	舟型立像	89×41×29	(地)
3-09	観音菩薩	伊豆島田堰原公民館内	元禄7	1694.08	丸彫座像	44×30×22	
13-21	六地藏	富沢尼寺跡	元禄7	1694.09	丸彫立像	51×23×19	欠落
4-04	念佛供養塔	水窪公民館内	元禄7	1694.	舟型立像	78×33×23	欠落 (聖)
1-02	庚申塔	佐野94-3北	元禄8	1695.11	笠唐破風角柱	132×45×21	欠落・文字塔
4-04	万霊塔	桃園定輪寺	元禄8	1695.12	笠唐破風角柱	195×58×28	
10-03	順礼供養塔	石脇268-2	元禄9	1696.11	笠唐破風角柱	150×68×31	欠落
74-01	万霊塔	深良町田2477	元禄10	1697.02	自然石	132×61×84	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
14-10	石灯籠	御宿八幡宮	元禄10	1697.04	灯籠	168× 44× 25	
14-11	石灯籠	御宿八幡宮	元禄10	1697.04	灯籠	167× 45× 25	
51-05	順礼供養塔	深良遠道原観音堂	元禄10	1697.08	笠唐破風角柱	158× 50× 29	
57-05	順礼供養塔	深良和市慈眼庵	元禄10	1697.08	舟型立像	62× 30× 19	(聖)
13-09	万霊塔	富沢尼寺跡	元禄10	1697.09	自然石	82× 41× 23	
16-06	名号塔	佐野二本松公民館内	元禄11	1698.11	笠唐破風角柱	150× 45× 24	(聖)
3-06	石灯籠	稲荷神社	元禄12	1699.12	灯籠	—× —× —	部分
12-06	順礼供養塔	伊豆島田不動尊	元禄13	1700.07	笠唐破風角柱	142× 54× 28	欠落
37-05	如意輪観音	深良深良新田1354	元禄13	1700.08	櫛型くり抜	55× 25× 17	
37-08	庚申塔	深良深良新田1354	元禄13	1700.09	笠唐破風くり抜	162× 52× 25	文字塔
6-04	順礼供養塔	富沢公民館	元禄13	1700.10	舟型座像	57× 29× 16	(如)
8-25	阿弥陀如来	久根老人生涯センター	元禄13	1700.10	丸彫座像	33× 22× 16	補修
19-01	万霊塔	深良原地蔵尊	元禄14	1701.09	自然石	78× 66× 11	
6-03	地蔵菩薩	富沢公民館	元禄16	1703.04	舟型立像	50× 28× 19	欠落
8-36	順礼供養塔	久根老人生涯センター	元禄16	1703.11	笠唐破風角柱	141× 53× 30	
3-21	順礼供養塔	佐野蓮光寺	元禄16	1703.11	笠付角柱	125× 47× 22	
51-06	庚申塔	深良遠道原観音堂	元禄16	1703.11	笠唐破風くり抜	136× 49× 30	文字塔
57-10	手洗石	深良和市慈眼庵	宝永2	1705.04	自然石	32× 40× 27	
4-01	順礼供養塔	水窪公民館内	宝永3	1706.02	丸彫座像	54× 32× 30	欠落 (如)
12-23	石灯籠	伊豆島田不動尊	宝永3	1706.07	灯籠	81× 36× —	部分
3-10	順礼供養塔	伊豆島田堰原公民館内	宝永4	1707.06	丸彫座像	54× 37× 22	
12-08	順礼供養塔	伊豆島田不動尊	宝永4	1707.07	笠唐破風角柱	137× 50× 24	欠落
32-04	順礼供養塔	葛山中村集会所	宝永4	1707.08	丸彫座像	45× 29× 17	補修 (聖)
9-13	石灯籠	茶畑滝頭不動堂	宝永4	1707.09	灯籠	97× 46× 46	部分
14-00	如意輪観音	深良原山神社入口	宝永4	1707.11	舟型座像	43× 30× 18	欠落
3-06	石灯籠	石脇三島神社	宝永5	1708.02	灯籠	140× 42× 25	補修
29-00	供養塔	御宿470-6	宝永5	1708.09	舟型	47× 25× 13	
7-01	石灯籠	平松八幡神社	宝永5	1708.11	灯籠	146× 46× 24	
8-31	観音菩薩	久根老人生涯センター	宝永6	1709.02	丸彫座像	36× 26× 17	
68-05	石灯籠	深良松寿院	宝永6	1709.06	灯籠	177× 50× 24	
8-01	万霊塔	久根老人生涯センター	宝永6	1709.07	自然石	144× 60× 17	
8-21	虚空蔵菩薩	久根老人生涯センター	宝永6	1709.07	丸彫座像	37× 24× 15	補修
8-27	普賢菩薩	久根老人生涯センター	宝永6	1709.07	丸彫座像	36× 23× 18	補修
68-06	石灯籠	深良松寿院	宝永6	1709.07	灯籠	174× 50× 25	
17-03	五輪塔	千福121-1	宝永7	1710.03		70× 23× 23	
8-04	手洗石	久根老人生涯センター	宝永7	1710.03	箱型	38× 48× 38	
8-15	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	宝永7	1710.06	笠唐破風角柱	174× 58× 31	破損
57-07	順礼供養塔	深良和市慈眼庵	宝永7	1710.08	丸彫座像	53× 41× 36	(如)
17-01	順礼供養塔	千福121-1	宝永7	1710.08	灯籠	174× 49× 27	
1-03	庚申塔	岩波171	宝永7	1710.08	笠唐破風角柱	108× 45× 26	文字塔



番号	種 類	所 在 地	和年号	西 曆	形 状	法 量	備 考
11-03	石灯笼	千福十二神社	宝永7	1710.08	灯笼	115×49×—	欠落
17-02	石灯笼	千福121-1	宝永7	1710.08	灯笼	152×50×29	
9-01	手洗石	今里浅間神社	宝永7	1710.08	自然石	62×60×42	
6-17	順礼供養塔	上ヶ田集会所	宝永7	1710.10	山型角柱	85×27×24	
32-10	順礼供養塔	葛山中村集会所	宝永8	1711.02	角型	79×31×31	上下別
1-13	順礼供養塔	麦塚東光寺	正徳元	1711.01	丸彫座像	64×32×21	(如)
76-01	順礼供養塔	須山田向1657-3西	正徳元	1711.07	櫛型角柱	60×22×20	
25-03	双体道祖神	御宿307	正徳元	1711.07	浮彫立像	59×37×35	欠落
11-05	順礼供養塔	御宿大林	正徳元	1711.08	笠唐破風角柱	139×47×25	
14-00	供養塔	金沢261-9	正徳元	1711.09	駒型	58×27×15	
3-14	順礼供養塔	佐野蓮光寺	正徳元	1711.11	丸彫立像	56×22×19	(聖)
16-03	順礼供養塔	佐野二本松公民館内	正徳2	1712.04	丸彫座像	47×27×17	(如)
12-03	庚申塔	久根庚申塚	正徳2	1712.04	自然石	139×73×42	文字塔
6-13	順礼供養塔	上ヶ田集会所	正徳2	1712.09	角型	46×25×13	
3-05	石灯笼	石脇三島神社	正徳2	1712.11	灯笼	150×43×24	補修
51-07	順礼供養塔	深良遠道原観音堂	正徳3	1713.02	笠唐破風角柱	101×48×27	
6-10	順礼供養塔	富沢公民館	正徳3	1713.03	円柱	38×20×20	
23-07	地藏菩薩	御宿荘園寺	正徳3	1713.04	丸彫立像	117×31×26	
11-09	順礼供養塔	石脇不動堂	正徳3	1713.04	笠唐破風角柱	127×45×28	欠損
17-09	順礼供養塔	下和田はのさわ橋東	正徳3	1713.05	山型角柱	106×50×30	
1-05	順礼供養塔	岩波171	正徳3	1713.05	笠唐破風角柱	161×56×29	
10-07	順礼供養塔	深良上丹1586	正徳3	1713.07	笠唐破風くり抜	149×52×28	(聖)
29-01	石灯笼	葛山仙年寺	正徳3	1713.07	灯笼	230×87×48	
1-02	順礼供養塔	稲荷公文名公民館南	正徳3	1713.08	自然石	116×62×18	
11-06	順礼供養塔	御宿大林	正徳3	1713.08	笠唐破風角柱	135×46×25	
28-04	順礼供養塔	深良上原公民館	正徳3	1713.08	舟型立像	75×36×23	(聖)
19-02	順礼供養塔	千福天泉寺跡	正徳3	1713.08		83×26×20	上下相違
18-02	順礼供養塔	茶畑願生寺参道	正徳3	1713.08	角柱浮彫	72×29×27	風化 (聖)
65-03	地藏菩薩	茶畑市ノ瀬公民館内	正徳3	1713.09	丸彫立像	64×18×14	補修
8-14	順礼供養塔	久根老人生涯センター	正徳3	1713.10	丸彫座像	51×29×22	(如)
50-01	順礼供養塔	深良遠道原492	正徳3	1713.11	山型角柱	80×31×32	
5-03	石幢	石脇福祉保健会館	正徳3	1713.11	単制六面	73×42×42	部分・欠落
7-06	聖観音	深良上丹1551	正徳4	1714.08	舟型立像	69×29×30	
57-02	単体道祖神	茶畑伊豆佐野口	正徳4	1714.	丸彫座像	40×30×18	補修
1-14	万霊塔	麦塚東光寺	正徳5	1715.02	櫛型角柱	109×34×25	
4-29	石造物	桃園定輪寺	正徳5	1715.05	山型角柱	50×17×17	基石
23-04	庚申塔	御宿荘園寺	正徳5	1715.11	笠唐破風角柱	143×50×25	文字塔
64-03	廻国塔	須山田向1596-1	正徳5	1715.12	山型角柱	96×32×29	
6-17	石灯笼	千福普明寺	正徳6	1716.03	灯笼	146×50×23	補修
79-08	石灯笼	深良神社	正徳6	1716.05	灯笼	164×48×30	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
6-15	万霊塔	千福普明寺	正徳6	1716.07	自然石	168× 60× 37	
1-04	庚申塔	佐野94-3北	享保元	1716.09	笠唐破風角柱	146× 52× 29	欠落・文字塔
68-04	石幢	深良松寿院	享保2	1717.08	単制六面	78× 32× 32	部分
8-04	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	享保2	1717.09	丸彫座像	42× 44× 20	(聖)
3-22	順礼供養塔	佐野蓮光寺	享保3	1718.08	笠唐破風角柱	131× 63× 26	欠落
61-16	写経塔	深良興禅寺南	享保4	1719.01	山型角柱	71× 27× 27	
64-02	順礼供養塔	須山田向1596-1	享保4	1719.02	丸彫立像	72× 26× 17	補修 (聖)
6-05	如意輪観音	須山十里木旧関所跡	享保4	1719.04	舟型座像	69× 32× 39	欠落
6-11	庚申塔	須山十里木旧関所跡	享保4	1719.05	自然石	106× 47× 25	文字塔
61-15	写経塔	深良興禅寺	享保4	1719.09	笠唐破風角柱	120× 45× 26	
9-03	石灯籠	今里浅間神社	享保4	1719.09	灯籠	162× 49× 29	補修
19-03	山の神塔	下和田上尾	享保5	1720.04	祠	48× 43× 25	
7-04	順礼供養塔	深良上丹1551	享保5	1720.06	浮彫立像	69× 28× 23	(聖)
51-15	石灯籠	深良遠道原観音堂	享保5	1720.06	灯籠	120× 43× 23	欠落
5-02	万霊塔	平松465-5	享保5	1720.08	櫛型	52× 27× 20	
12-01	不動明王	金沢382-5	享保6	1721.04	舟型座像	57× 31× 17	
16-34	石段袖石	公文名光明寺	享保6	1721.04	山型角柱	28× 16× 16	
12-04	庚申塔	金沢382-5	享保6	1721.05	笠唐破風くり抜	111× 47× 22	
9-09	手洗石	葛山浅間神社	享保6	1721.06	箱型	45× 61× 44	
9-12	手洗石	葛山浅間神社	享保6	1721.06	箱型	45× 63× 43	
29-04	手洗石	葛山仙年寺	享保6	1721.06	箱型	42× 69× 44	
4-05	順礼供養塔	金沢地藏堂内	享保6	1721.08	丸彫座像	45× 23× 12	欠損 (聖)
3-04	庚申塔	伊豆島田堰原公民館	享保6	1721.08	自然石	103× 55× 49	文字塔
4-04	庚申塔	葛山田場沢967	享保6	1721.08	笠唐破風角柱	117× 48× 24	風化・文字塔
5-11	単体道祖神	桃園橋西	享保6	1721.	舟型座像	63× 40× 31	
11-10	供養塔	御宿大林	享保7	1722.08	櫛型角柱	100× 40× 20	
7-05	順礼供養塔	深良上丹1551	享保8	1723.08	丸彫立像	55× 18× 18	補修 (聖)
10-01	単体道祖神	平松354	享保8	1723.09	浮彫立像	61× 33× 23	風化
11-04	順礼供養塔	御宿大林	享保8	1723.10	山型角柱	78× 30× 30	
23-21	順礼供養塔	御宿荘園寺	享保9	1724.04	丸彫立像	66× 26× 18	(聖)
9-02	石灯籠	今里浅間神社	享保9	1724.05	灯籠	156× 48× 28	補修
17-08	順礼供養塔	下和田はのさわ橋東	享保9	1724.08	山型角柱	74× 28× 28	
37-11	順礼供養塔	深良深良新田1354	享保9	1724.08	浮彫立像	67× 30× 15	(聖)
8-03	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	享保9	1724.08	丸彫座像	46× 40× 21	(如)
12-03	順礼供養塔	金沢382-5	享保9	1724.09	笠唐破風角柱	128× 50× 23	欠落
6-06	聖観音	須山十里木旧関所跡	享保9	1724.09	丸彫立像	54× 22× 15	
51-04	順礼供養塔	深良遠道原観音堂	享保9	1724.10	笠唐破風角柱	105× 47× 26	
48-05	庚申塔	深良切久保615-1	享保9	1724.10	笠唐破風くり抜	130× 51× 22	文字塔
8-13	順礼供養塔	久根老人生涯センター	享保9	1724.11	丸彫座像	44× 33× 17	(如)
12-09	庚申塔	平松佐野原地蔵堂	享保10	1725.04	自然石	118× 54× 24	文字塔

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
17-05	順礼供養塔	下和田はのさわ橋東	享保10	1725.08	笠付角柱	142× 51× 24	
65-04	庚申塔	茶畑すノ瀬公民館内	享保10	1725.08	自然石	82× 43× 29	文字塔
3-13	順礼供養塔	佐野蓮光寺	享保10	1725.09	丸彫座像	59× 39× 28	(如)
16-05	地藏菩薩	石脇土場地蔵	享保11	1726.03	丸彫座像	48× 37× 26	上下別・子育
12-05	順礼供養塔	金沢382-5	享保11	1726.09	山型角柱	90× 35× 35	
7-04	庚申塔	公文名鹿島橋	享保11	1726.09	自然石	78× 39× 14	文字塔
2-03	石灯籠	金沢浅間神社	享保12	1727.03	灯籠	179× 57× 32	
64-05	順礼供養塔	須山田向1596-1	享保12	1727.06	山型角柱	58× 30× 27	
8-17	順礼供養塔	久根老人生涯センター	享保12	1727.08	丸彫座像	42× 27× 16	(如)
6-13	順礼供養塔	富沢公民館	享保12	1727.08	六角柱	44× 46× 46	
19-04	順礼供養塔	千福天泉寺跡	享保12	1727.09	山型角柱	79× 31× 30	
7-03	順礼供養塔	公文名鹿島橋	享保13	1728.08	自然石	82× 38× 24	
12-02	馬頭観音	金沢382-5	享保13	1728.	舟型立像	51× 33× 24	
37-18	順礼供養塔	深良深良新田1354	享保14	1729.08	自然石	83×144× 42	
10-12	庚申塔	今里稻荷神社	享保14	1729.09	山型角柱浮彫	83× 31× 35	風化
61-17	読誦塔	深良興禅寺南	享保14	1729.11	自然石	61× 37× 19	
6-10	石灯籠	伊豆島田熊野神社	享保14	1729.11	灯籠	154× 48× 26	
6-11	石灯籠	伊豆島田熊野神社	享保14	1729.11	灯籠	142× 61× 25	補修
3-07	順礼供養塔	伊豆島田堰原公民館	享保15	1730.09	山型角柱	67× 32× 29	
14-00	観世音菩薩	伊豆島田152-1	享保15	1730.10	山型角柱	51× 23× 21	文字塔
10-01	石灯籠	下和田金比羅神社	享保15	1730.11	灯籠	114× 42× 23	
51-08	地藏菩薩	深良遠道原観音堂	享保16	1731.04	丸彫座像	52× 26× 28	補修
12-15	順礼供養塔	伊豆島田不動尊	享保16	1731.04	山型角柱	120× 37× 37	
7-03	順礼供養塔	深良上丹1551	享保16	1731.04	舟型座像	53× 32× 15	(如)
79-05	石灯籠	深良神社	享保16	1731.05	灯籠	163× 60× 30	破損
9-12	万霊塔	茶畑滝頭不動堂	享保17	1732.08	舟型立像	49× 32× 18	欠落
5-03	馬頭観音	桃園橋西	享保17	1732.10	舟型立像	64× 26× 19	欠落
12-03	道供養塔	伊豆島田不動尊	享保17	1732.11	自然石	82× 41× 10	
61-01	石灯籠	茶畑大日堂	享保17	1732.	灯籠	66× 40× —	欠落
50-26	地藏菩薩	葛山景ヶ島	享保18	1733.06	舟型座像	62× 34× 24	欠落
57-08	順礼供養塔	深良和市慈眼庵	享保19	1734.03	丸彫座像	52× 50× 31	年号相違 (如)
17-01	順礼供養塔	下和田はのさわ橋東	享保19	1734.07	丸彫座像	33× 32× 51	欠落 (聖)
23-20	万霊塔	御宿荘園寺	享保20	1735.04	丸彫座像	55× 51× 28	(阿)
2-02	石灯籠	大畑熊野神社	享保20	1735.05	灯籠	183× 52× 30	補修
11-03	順礼供養塔	御宿大林	享保20	1735.08	丸彫座像	43× 30× 19	欠落・位置相違(如)
6-15	順礼供養塔	上ヶ田集会所	享保20	1735.08	丸彫座像	53× 38× 16	(聖)
9-11	石灯籠	葛山浅間神社	享保20	1735.09	灯籠	208× 78× 37	
10-01	石灯籠	今里地藏堂	元文2	1737.07	灯籠	86× 45× —	欠落
57-06	庚申塔	深良和市慈眼庵	元文2	1737.11	自然石	93× 52× 19	文字塔
13-18	不明	千福地藏堂	元文3	1738.09	角柱	64× 15× 16	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
13-11	順礼供養塔	富沢尼寺跡	元文3	1738.10	笠付円柱	107×47×30	欠落
13-10	庚申塔	富沢尼寺跡	元文3	1738.10	櫛型	57×24×17	文字塔
5-04	馬頭観音	桃園橋西	元文4	1739.09	舟型立像	53×31×19	
37-07	地藏菩薩	深良深良新田1354	元文4	1739.10	舟型立像	54×27×17	
7-05	順礼供養塔	久根長尾十字路	元文4	1739.11	自然石	128×60×22	
75-07	庚申塔	深良町田庚申塚	元文4	1739.11	自然石	166×78×31	文字塔
21-01	地藏菩薩	茶畑中丸322	元文4	1739.	舟型座像	29×18×17	風化
7-04	庚申塔	久根長尾十字路	元文5	1740.02	自然石	110×46×21	文字塔
15-10	庚申塔	久根八幡宮	元文5	1740.02	自然石	113×55×33	文字塔
11-02	順礼供養塔	御宿大林	元文5	1740.03	丸彫座像	40×29×24	(聖)
7-05	馬頭観音	千福244北	元文5	1740.05	舟型立像	51×32×18	欠落
14-00	庚申塔	佐野二本松浅間神社前	元文5	1740.09	山型角柱	76×29×28	文字塔
8-16	庚申塔	茶畑滝頭不動堂北側	元文5	1740.10	自然石	103×38×18	文字塔
41-00	廻国塔	深良切久保637-1	元文5	1740.11	自然石	146×50×13	
32-14	順礼供養塔	葛山中村集会所	寛保元	1741.07	丸彫座像	40×35×18	欠落 (如)
8-15	順礼供養塔	久根老人生涯センター	寛保元	1741.08	丸彫座像	47×35×26	(聖)
37-12	順礼供養塔	深良深良新田1354	寛保元	1741.08	笠唐破風角柱	131×52×29	
9-06	石灯籠	葛山浅間神社	寛保元	1741.08	灯籠	186×66×36	
4-11	順礼供養塔	今里浄土院	寛保元	1741.09	丸彫座像	51×33×24	(如)
17-04	順礼供養塔	下和田のはのさわ橋東	寛保元	1741.	駒型	46×22×16	
30-04	石灯籠	須山浅間神社	寛保2	1742.07	灯籠	198×67×27	
6-03	双体道祖神	佐野八幡神社	寛保2	1742.	くり抜立像	67×57×32	欠落
13-01	馬頭観音	富沢尼寺跡	寛保3	1743.03	舟型立像	56×32×15	
11-08	順礼供養塔	石脇不動堂	寛保3	1743.04	山型角柱	88×32×28	
10-17	廻国塔	今里稻荷神社	寛保3	1743.05	山型角柱	106×36×37	
9-10	石灯籠	葛山浅間神社	寛保3	1743.07	灯籠	216×67×37	
1-04	順礼供養塔	岩波171	寛保3	1743.10	笠唐破風角柱	124×46×26	
3-12	順礼順拝塔	佐野蓮光寺	寛保3	1743.10	櫛型	91×31×22	
31-00	追善供養塔	葛山中村432	寛保3	1743.	櫛型	72×26×17	
23-14	六地藏	御宿荘園寺	延享元	1744.04	丸彫立像	54×17×13	補修
12-04	万霊塔	伊豆島田不動尊	延享元	1744.05	櫛型	146×48×28	
4-02	万霊塔	今里浄土院	延享元	1744.06	灯籠	123×45×28	
2-04	石灯籠	下和田浅間神社	延享元	1744.06	灯籠	121×47×—	欠落
2-05	石灯籠	下和田浅間神社	延享元	1744.06	灯籠	115×50×—	欠落
29-03	地藏菩薩	葛山仙年寺	延享元	1744.07	丸彫立像	119×37×28	
3-04	順礼供養塔	葛山田湯沢薬師堂	延享元	1744.07	山型角柱	94×36×35	
2-03	单体道祖神	二ッ屋127-3北	延享元	1744.07	丸彫座像	61×47×34	補修
11-00	石灯籠	下和田浅間神社	延享元	1744.07	灯籠	121×52×—	欠落
11-07	順礼供養塔	御宿大林	延享元	1744.08	山型角柱	84×30×30	
21-02	順礼供養塔	茶畑中丸322	延享元	1744.08	櫛型角柱	78×31×21	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
9-07	石灯籠	葛山浅間神社	延享元	1744.08	灯籠	182× 65× 35	
30-00	万霊塔	葛山仙年寺	延享元	1744.09	山型角柱	132× 40× 39	
2-03	庚申塔	大畑弘法大師堂	延享元	1744.10	山型角柱	69× 26× 24	文字塔
37-20	石灯籠	深良深良新田1354	延享2	1745.05	灯籠	108× 46× —	欠落
23-16	順礼供養塔	御宿荘園寺	延享2	1745.08	丸彫座像	49× 29× 17	(如)
2-11	石灯籠	上ヶ田神明宮	延享2	1745.08	灯籠	171× 52× 28	
13-12	順礼供養塔	富沢尼寺跡	延享2	1745.11	山型角柱くり抜	64× 31× 18	(千)
6-19	鳥居	伊豆島田熊野神社	延享3	1746.02	明神型	—× —× —	倒壊
13-12	地藏菩薩	千福地藏堂	延享3	1746.07	丸彫立像	48× 17× 17	
2-12	石灯籠	上ヶ田神明宮	延享3	1746.07	灯籠	173× 51× 29	補修
16-04	順礼供養塔	佐野二本松公民館内	延享3	1746.08	舟型立像	71× 38× 24	(型)
10-18	石灯籠	今里稻荷神社	延享3	1746.08	灯籠	99× 45× —	欠落
15-14	石灯籠	佐野二本松浅間神社	延享3	1746.08	灯籠	141× 49× 28	補修
48-03	順礼順拝塔	深良久切保615-1	延享3	1746.11	自然石	138× 53× 34	
25-02	双体道祖神	御宿307	延享4	1747.03	浮彫立像	50× 36× 26	欠落
6-04	石灯籠	下和田寺修院	延享4	1747.04	灯籠	83× 59× —	部分
10-04	石灯籠	公文名鹿島神社	延享4	1747.	灯籠	55× 27× 27	部分
23-22	万霊塔	御宿荘園寺	延享5	1748.05	角柱	56× 22× 18	
4-03	順礼供養塔	金沢地藏堂	延享5	1748.06	丸彫立像	59× 18× 15	補修 (地)
50-14	万霊塔	葛山景ヶ島	延享5	1748.	自然石	65× 24× 33	
4-06	石造物	桃園定輪寺	延享5	1748.	自然石	120× 97× —	石垣
37-17	双体道祖神	深良深良新田1354	延享□	.11	浮彫立像	43× 36× 32	欠落
49-00	諸神	葛山愛鷹山	寛延元	1748.08	祠	56× 46× 22	雷神宮・欠落
32-15	順礼供養塔	葛山中村集会所	寛延元	1748.09	丸彫座像	43× 36× 17	欠落 (如)
46-02	祐天名号塔	深良西安寺参道	寛延元	1748.10	櫛型角柱	179× 45× 34	
23-02	万霊塔	御宿荘園寺	寛延2	1749.02	自然石	143× 58× 17	
11-08	庚申塔	御宿大林	寛延2	1749.02	自然石	89× 52× 21	文字塔
15-05	順礼供養塔	平松614	寛延2	1749.08	丸彫座像	62× 30× 23	(聖)
15-01	単体道祖神	富沢108	寛延2	1749.10	浮彫立像	76× 56× 48	
4-07	常夜塔	桃園定輪寺	寛延2	1749.10	灯籠	323× 160× 42	補修
12-10	単体道祖神	伊豆島田不動尊	寛延3	1750.05	舟型座像	67× 43× 37	
2-06	石灯籠	下和田浅間神社	寛延3	1750.06	灯籠	124× 54× —	欠落
11-00	水神塔	葛山下条	寛延3	1750.11	舟型座像	42× 35× 30	風化
4-08	常夜塔	桃園定輪寺	寛延3	1750.11	灯籠	323× 160× 42	補修
12-07	順礼供養塔	金沢382-5	寛延4	1751.07	山型角柱	56× 27× 25	
76-02	順礼供養塔	須山田向1657-3西	寛延4	1751.07	山型角柱	65× 26× 21	
7-02	順礼供養塔	公文名鹿島橋	寛延4	1751.08	櫛型	69× 30× 24	
37-14	順礼供養塔	深良深良新田1354	寛延4	1751.08	笠唐破風角柱	181× 54× 40	
4-06	馬頭観音	水窪公民館内	寛延4	1751.09	舟型立像	70× 37× 34	欠落
35-02	単体道祖神	茶畑中丸264	寛延4	1751.10	浮彫立像	55× 47× 25	欠落

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
12-07	順礼供養塔	平松佐野原地蔵堂	宝暦2	1752.03	丸彫座像	56×48×22	(聖)
16-00	万霊塔	千福121-1	宝暦2	1752.04	自然石	143×126×12	
4-33	石灯籠	桃園定輪寺西	宝暦2	1752.04	灯籠	151×64×34	
50-12	順礼供養塔	須山祖霊社	宝暦2	1752.07	山型角柱	65×28×22	
6-14	順礼供養塔	富沢公民館	宝暦2	1752.10	円柱	42×20×20	
8-03	庚申塔	葛山中里767-5	宝暦2	1752.11	笠付角柱	117×44×21	文字塔
8-02	庚申塔	千福252-5	宝暦2	1752.11	山型角柱	96×34×33	欠落
15-01	石灯籠	平松614	宝暦3	1753.03	灯籠	115×40×30	
28-03	順礼供養塔	深良上原公民館	宝暦3	1753.04	丸彫座像	48×34×20	(聖)
7-02	順礼供養塔	深良上丹1551	宝暦3	1753.07	櫛型	70×27×23	
9-04	庚申塔	深良須釜尊師堂内	宝暦3	1753.08	浮彫立像	67×31×21	
50-06	順礼供養塔	須山祖霊社	宝暦4	1754.03	山型角柱	60×26×27	
17-03	順礼供養塔	下和田はのさわ橋東	宝暦4	1754.07	山型角柱	80×30×24	
3-07	石灯籠	桃園神社	宝暦4	1754.07	灯籠	137×50×27	補修
10-16	廻国塔	今里稲荷神社	宝暦4	1754.10	山型角柱	89×30×27	
17-05	順礼供養塔	茶畑願生寺	宝暦5	1755.02	丸彫座像	65×56×31	(聖)
50-08	万霊塔	葛山景ヶ島	宝暦5	1755.04	丸彫座像	57×43×28	(聖)
50-25	霊場標石	葛山景ヶ島	宝暦5	1755.04	山型角柱	71×29×27	
8-02	霊場標石	久根老人生涯センター	宝暦5	1755.09	山型角柱	86×30×29	
6-05	馬頭観音	富沢公民館	宝暦5	1755.11	舟型立像	51×29×13	
6-09	馬頭観音	富沢公民館	宝暦5	1755.11	舟型立像	46×14×14	欠落
75-01	牛馬供養塔	深良町田庚申塚	宝暦6	1756.02	自然石	103×38×17	
12-21	馬頭観音	伊豆島田不動尊	宝暦6	1756.05	舟型	20×28×20	欠落・文字塔
16-07	順礼供養塔	佐野二本松公民館内	宝暦6	1756.06	丸彫座像	63×45×29	上下別 (聖)
12-22	石灯籠	伊豆島田不動尊	宝暦6	1756.06	灯籠	113×71×—	部分・欠落
3-08	石灯籠	桃園神社	宝暦6	1756.08	灯籠	131×50×27	
13-10	庚申塔	千福地蔵堂	宝暦6	1756.09	山型角柱	70×30×29	欠落・文字塔
6-05	諸神	桃園御嶽神社	宝暦6	1756.09	祠	95×58×28	御嶽神
79-10	手洗石	深良神社	宝暦6	1756.11	箱型	43×91×53	
8-20	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側	宝暦6	1756.	舟型立像	65×32×27	
12-01	石灯籠	平松佐野原地蔵堂	宝暦6	1756.	灯籠	36×23×23	部分・倒壊
12-08	石灯籠	平松佐野原地蔵堂	宝暦7	1757.04	灯籠	161×51×28	
37-01	馬頭観音	茶畑天理246-15	宝暦7	1757.05	舟型立像	54×30×17	
35-00	不動明王	深良深良新田1195-6	宝暦7	1757.05	浮彫立像	52×26×8	
8-10	石灯籠	茶畑滝頭不動堂北側	宝暦7	1757.05	灯籠	164×50×29	
37-03	順礼供養塔	深良深良新田1354	宝暦7	1757.08	笠唐破風角柱	168×52×29	
51-16	順礼供養塔	深良遠道原観音堂	宝暦7	1757.08	丸彫立像	43×20×16	補修 (聖)
26-01	常夜塔	御宿357-4	宝暦7	1757.08	灯籠	84×52×—	部分 (道)
76-04	順礼供養塔	須山田向1657-3西	宝暦7	1757.09	山型角柱	68×27×23	
7-06	順礼順拝塔	公文名鹿島橋	宝暦7	1757.11	自然石	42×29×20	欠落

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
2-10	鳥居	下和田浅間神社	宝暦7	1757.11		38×56×56	部分
62-02	单体道祖神	茶畑峰下1601-1西	宝暦8	1758.03	浮彫立像	43×41×37	風化
40-06	鳥居	葛山八幡神社入口	宝暦8	1758.04	明神型	—×—×—	倒壊
6-00	馬頭観音	今里886-1	宝暦8	1758.05	舟型立像	61×29×23	
18-01	観世音菩薩	茶畑願生寺参道	宝暦8	1758.05	自然石	58×20×12	折損 文字塔
3-02	石灯笼	伊豆島田堰原公民館	宝暦8	1758.06	灯笼	159×64×26	
3-10	馬頭観音	葛山田場沢薬師堂	宝暦8	1758.07	舟型立像	45×24×12	風化
3-07	順礼供養塔	葛山田場沢薬師堂	宝暦8	1758.08	角柱	43×26×24	
61-05	石橋供養塔	深良興禅寺	宝暦8	1758.10	自然石	89×20×17	
12-01	観世音菩薩	茶畑滝頭589-4	宝暦8	1758.10	舟型	60×26×28	文字塔
6-01	庚申塔	麦塚見目神社参道	宝暦8	1758.11	自然石	128×90×49	文字塔
8-35	順礼供養塔	久根老人生涯センター	宝暦9	1759.07	山型角柱	65×26×22	
9-06	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	宝暦9	1759.08	櫛型くり抜立像	56×26×18	(道)
19-01	石灯笼	下和田上尾	宝暦11	1761.08	灯笼	106×51×—	欠落
19-02	山の神塔	下和田上尾	宝暦11	1761.08	自然石	180×83×25	
65-01	馬頭観音	須山中学校北	宝暦12	1762.05	舟型立像	51×34×18	
4-01	地藏菩薩	久根289-1	宝暦12	1762.07	舟型立像	47×25×16	
3-06	万壺塔	葛山田場沢薬師堂	宝暦12	1762.08	丸彫座像	72×24×17	
60-03	馬頭観音	深良南掘2223	宝暦12	1762.08	丸彫座像	50×35×37	
10-13	順礼供養塔	今里稲荷神社	宝暦12	1762.08	丸彫座像	50×43×29	補修 (聖)
19-02	順礼供養塔	深良原地蔵尊	宝暦12	1762.08	丸彫立像	56×17×16	風化 (聖)
11-09	順礼供養塔	御宿大林	宝暦12	1762.11	山型角柱	80×30×30	
8-11	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	宝暦13	1763.02	丸彫座像	49×43×22	台座位置相違 (聖)
6-03	馬頭観音	上ヶ田集会所	宝暦13	1763.04	山型角柱	68×26×22	文字塔
7-19	宝篋印塔	茶畑滝頭公民館	宝暦13	1763.09		272×60×60	
3-01	馬頭観音	金沢堤入口	宝暦13	1763.10	櫛型	63×27×17	文字塔
3-23	順礼供養塔	佐野蓮光寺	宝暦13	1763.10	角柱	43×28×23	
65-05	馬頭観音	茶畑市ノ瀬公民館内	宝暦13	1763.11	舟型立像	54×26×22	
61-07	地藏菩薩	深良興禅寺	宝暦13	1763.11	丸彫立像	78×27×21	
46-01	敷石供養塔	深良西安寺参道	宝暦13	1763.11	丸彫座像	49×49×26	(子)
1-08	地藏菩薩	麦塚東光寺	宝暦13	1763.	丸彫立像	53×18×17	
6-08	順礼供養塔	下和田専修院	宝暦14	1764.05	山型角柱	103×37×34	
50-04	閻魔	葛山景ヶ島	宝暦14	1764.07	丸彫座像	93×59×38	
22-07	不動明王	佐野二本松不動尊	明和元	1764.08	自然石	131×74×24	文字塔
26-00	馬頭観音	葛山中村484-2	明和2	1765.06	舟型立像	73×34×19	
32-13	順礼供養塔	葛山中村集会所	明和2	1765.06	山型角柱	112×38×27	
74-01	石灯笼	須山田向辻	明和2	1765.06	灯笼	127×47×47	欠落
74-02	石灯笼	須山田向辻	明和2	1765.06	灯笼	117×47×47	欠落
49-02	順礼供養塔	須山馬頭観音堂	明和3	1766.07	山型角柱	80×27×29	欠落
40-02	双体道祖神	葛山上城155	明和3	1766.07	舟型立像	52×33×19	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
24-03	廻国塔	公文名公民館	明和3	1766.08	櫛型角柱	66×31×24	
63-01	順礼供養塔	茶畑峰下1601-1南	明和4	1767.02	自然石	110×39×22	
3-01	石灯籠	葛山田場沢葉師堂	明和4	1767.07	灯籠	137×61×—	欠落
2-02	順礼供養塔	稲荷219	明和4	1767.09	丸彫座像	47×36×24	(聖)
3-03	石灯籠	御宿子ノ神社	明和4	1767.11	灯籠	149×49×25	
13-13	順礼供養塔	富沢尼寺跡	明和5	1768.09	舟型立像	63×31×10	(聖)
25-03	馬頭観音	深良上原2983	明和5	1768.10	舟型立像	47×22×19	欠落
4-04	地藏菩薩	金沢地藏堂	明和6	1769.04	丸彫立像	60×22×14	補修
16-03	馬頭観音	下和田860	明和6	1769.06	舟型立像	65×30×18	
60-01	単体道祖神	深良南掘2223	明和7	1770.08	舟型立像	51×39×39	風化
37-04	順礼供養塔	深良深良新田1354	明和8	1771.09	丸彫座像	64×53×29	(聖)
66-02	単体道祖神	茶畑市ノ瀬バス停	明和8	1771.09	駒型浮彫	63×37×25	
22-01	如意輪観音	深良原2942-7	明和8	1771.09	丸彫座像	42×32×20	欠落
75-02	石灯籠	深良町田庚申塚	明和8	1771.09	灯籠	64×25×25	部分・欠落
75-03	石灯籠	深良町田庚申塚	明和8	1771.09	灯籠	61×25×25	部分
81-04	石橋供養塔	深良震橋	明和8	1771.11	自然石	89×33×18	
16-06	馬頭観音	公文名光明寺	明和9	1772.03	舟型立像	56×28×23	
16-05	馬頭観音	下和田860	明和9	1772.08	舟型立像	49×28×13	欠落
10-06	庚申塔	深良上丹1586	安永2	1773.03	自然石	129×50×36	文字塔
37-21	石灯籠	深良深良新田1354	安永2	1773.05	灯籠	114×47×23	欠落
13-01	馬頭観音	千福地藏堂	安永2	1773.10	舟型立像	56×28×17	欠落
20-00	廻国塔	佐野1517西	安永2	1773.11	櫛型	111×39×27	
82-04	地藏菩薩	須山地蔵尊内	安永3	1774.04	舟型立像	87×34×25	
16-01	石灯籠	下和田860	安永3	1774.05	灯籠	156×56×29	欠損
6-12	順礼供養塔	須山十里木旧関所跡	安永3	1774.08	舟型立像	70×32×21	欠落 (聖)
4-03	万霊塔	今里浄土院	安永3	1774.08	自然石	177×118×36	
15-00	観世音菩薩	今里旭滝道沿	安永3	1774.09	櫛型角柱	62×27×18	文字塔
19-06	順礼供養塔	深良原地蔵尊	安永4	1775.04	丸彫座像	53×49×48	(聖)
2-01	順礼供養塔	稲荷219	安永5	1776.03	丸彫座像	47×31×22	(聖)
37-10	庚申塔	深良深良新田1354	安永5	1776.03	自然石	85×42×32	文字塔
4-20	弁財天	桃園定輪寺	安永5	1776.10	祠	80×56×27	
7-05	順礼供養塔	公文名鹿島橋	安永6	1777.04	自然石	51×30×17	
6-07	順礼供養塔	下和田専修院	安永6	1777.08	山型角柱	105×36×34	
31-02	石灯籠	深良赤子神社	安永7	1778.03	灯籠	168×58×32	補修
31-03	石灯籠	深良赤子神社	安永7	1778.03	灯籠	170×58×29	補修
79-09	鳥居	深良神社	安永7	1778.03	六角柱	30×80×80	部分
3-06	順礼供養塔	伊豆島田堰原公民館	安永7	1778.06	櫛型	66×30×20	
4-17	馬頭観音	今里浄土院	安永7	1778.07	浮彫立像	43×28×19	風化
4-03	馬頭観音	大畑橋	安永7	1778.08	舟型立像	73×34×20	欠落
3-00	馬頭観音	茶畑不動橋北	安永7	1778.08	舟型立像	49×24×14	



番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
1-00	双体道祖神	御宿永統橋十字路	安永8	1779.	浮彫立像	43×32×18	欠落
68-03	地藏菩薩	深良松寿院	安永9	1780.06	丸彫立像	68×24×17	
75-08	順礼供養塔	深良町田庚申塚	安永9	1780.06	笠唐破風くり抜	127×53×25	(如)
46-03	写経塔	深良西安寺参道	安永9	1780.07	山型角柱	88×31×33	
11-02	馬頭観音	今里バス停西	安永9	1780.09	舟型立像	68×44×24	欠落
8-24	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側	安永9	1780.11	駒型	53×27×18	文字塔
37-02	順礼供養塔	深良深良新田1354	天明元	1781.10	笠唐破風くり抜	167×51×29	(如)
31-06	手洗石	深良赤子神社	天明元	1781.11	箱型	55×77×45	
60-03	馬頭観音	須山原175	天明2	1782.04	舟型立像	71×39×20	
51-04	双体道祖神	茶畑本茶928-1	天明2	1782.10	舟型立像	72×48×25	
32-07	順礼順拝塔	葛山中村集会所	天明3	1783.04	櫛型	70×30×20	
6-16	順礼供養塔	上ヶ田集会所	天明3	1783.09	山型角柱	69×29×21	
63-02	馬頭観音	茶畑峰下1601-1南	天明4	1784.08	舟型立像	54×26×19	
10-05	順礼供養塔	深良上丹1586	天明4	1784.11	丸彫座像	44×32×20	(聖)
9-03	庚申塔	深良須釜尊師堂内	天明4	1784.11	浮彫立像	83×36×24	
1-06	石灯籠	佐野94-3北	天明4	1784.11	灯籠	118×46×—	欠落
16-07	馬頭観音	公文名光明寺	天明5	1785.03	浮彫立像	59×28×26	
2-05	馬頭観音	二ッ屋127-3北	天明5	1785.05	舟型立像	67×41×23	
2-02	石灯籠	二ッ屋127-3北	天明5	1785.05	灯籠	142×53×—	欠落
9-11	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂	天明5	1785.09	櫛型	47×31×22	
8-09	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	天明5	1785.10	丸彫座像	33×42×23	欠落
8-27	庚申塔	茶畑滝頭不動堂北側	天明5	1785.11	自然石	65×60×11	欠落・文字塔
18-02	石灯籠	深良駒形神社	天明6	1786.03	灯籠	142×53×—	欠落
18-03	石灯籠	深良駒形神社	天明6	1786.03	灯籠	139×55×—	欠落
6-15	石灯籠	佐野八幡神社	天明6	1786.06	灯籠	164×61×26	補修
70-01	双体道祖神	深良町田2437	天明6	1786.08	駒型浮彫	53×33×30	風化
8-01	馬頭観音	公文名鹿島橋	天明6	1786.10	櫛型	50×24×14	文字塔
16-04	順礼供養塔	公文名光明寺	天明6	1786.10	角柱	75×30×23	
76-03	順礼供養塔	須山田向1657-3西	天明7	1787.09	山型角柱	95×32×27	
9-09	庚申塔	富沢庚申塚	天明7	1787.10	櫛型	62×26×16	文字塔
8-00	諸神	富沢8	天明8	1788.03	祠	53×44×23	稲荷塚祠
11-13	念佛供養塔	石脇不動堂	寛政元	1789.05	山型角柱	66×28×24	
22-03	石灯籠	佐野二本松不動尊	寛政元	1789.08	灯籠	157×49×23	
22-01	馬頭観音	公文名130	寛政元	1789.09	舟型立像	57×28×16	
14-02	聖観音	久根494-2	寛政元	1789.09	舟型立像	64×28×22	
6-18	石灯籠	伊豆島田熊野神社	寛政元	1789.09	灯籠	90×37×—	部分
1-04	石灯籠	二ッ屋浅間神社	寛政元	1789.11	灯籠	144×54×24	
14-03	単体道祖神	御宿八幡宮	寛政元	1789.	浮彫立像	33×26×17	欠落
24-06	馬頭観音	深良車返霊場跡	寛政2	1790.04	浮彫立像	46×28×12	欠落
24-02	弁財天	深良車返霊場跡	寛政2	1790.04	浮彫座像	95×38×27	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
6-04	石灯籠	麦塚見目神社参道	寛政2	1790.06	灯籠	55×24×22	部分
16-09	馬頭観音	佐野二本松公民館内	寛政2	1790.09	舟型立像	64×31×25	
2-04	順礼供養塔	大畑弘法大師堂	寛政2	1790.09	櫛型	59×25×18	
1-02	双体道祖神	下和田大胡山橋	寛政2	1790.09	駒型浮彫	59×43×28	
16-25	馬頭観音	公文名光明寺	寛政2	1790.	浮彫	25×25×14	欠落
1-10	地藏菩薩	麦塚東光寺	寛政3	1791.01	丸彫立像	39×13×11	
8-14	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	寛政3	1791.04	自然石	101×61×10	
21-04	庚申塔	茶畑中丸322	寛政3	1791.08	櫛型	48×23×13	文字塔
17-00	不動明王	須山十里クレー射撃場東	寛政3	1791.08	舟型立像	76×39×30	
8-00	大日如来	麦塚286-1	寛政4	1792.02	自然石	65×61×13	
4-12	石灯籠	桃園定輪寺	寛政4	1792.07	灯籠	174×98×32	
10-02	順礼供養塔	深良上丹1586	寛政4	1792.09	舟型立像	60×29×18	(聖)
64-00	石段袖石	深良南堀山神社	寛政4	1792.09	山型角柱	28×14×12	
8-13	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	寛政4	1792.11	自然石	96×53×34	
9-05	庚申塔	深良須釜尊師堂内	寛政4	1792.11	浮彫立像	77×39×33	
19-07	庚申塔	深良原地蔵尊	寛政4	1792.11	浮彫立像	72×31×12	
12-01	馬頭観音	御宿大林	寛政4	1792.12	浮彫立像	59×32×20	欠落
17-01	手洗石	茶畑願生寺	寛政5	1793.03	箱型	45×68×39	
16-33	結界石	公文名光明寺	寛政5	1793.04	櫛型角柱	89×34×28	
1-03	石灯籠	二ッ屋浅間神社	寛政5	1793.05	灯籠	153×56×25	補修
3-18	順礼供養塔	佐野蓮光寺	寛政5	1793.07	櫛型	74×30×22	台座姓名あり
1-02	手洗石	二ッ屋浅間神社	寛政5	1793.09	箱型	56×77×59	
17-06	順礼供養塔	茶畑願生寺	寛政5	1793.10	丸彫座像	55×38×20	(聖)
6-09	順礼供養塔	下和田専修院	寛政5	1793.11	山型角柱	101×37×33	
2-13	石灯籠	二ッ屋127-3北	寛政6	1794.03	灯籠	144×68×25	筆子・補修
52-00	常夜塔	須山新井281	寛政6	1794.05	灯籠	82×72×—	部分
82-02	順礼供養塔	須山地蔵尊	寛政6	1794.07	自然石	150×70×36	
74-14	聖観音	深良文明寺	寛政6	1794.	舟型座像	73×39×24	
16-15	馬頭観音	公文名光明寺	寛政7	1795.03	浮彫立像	61×30×23	欠落
52-00	馬頭観音	茶畑本茶公民館	寛政7	1795.03	舟型立像	52×27×18	
26-03	順礼順拝塔	茶畑中丸378	寛政7	1795.03	自然石	123×66×17	
59-01	諸神	茶畑峰下1460	寛政7	1795.11	自然石	56×25×16	八幡大菩薩
12-01	石灯籠	久根庚申塚	寛政8	1796.06	灯籠	69×48×—	欠落
46-01	石灯籠	茶畑野添44	寛政8	1796.10	灯籠	70×40×—	欠落
8-03	馬頭観音	千福252-5	寛政8	1796.11	櫛型角柱くり抜像	83×34×24	欠落
2-12	石灯籠	二ッ屋127-3北	寛政8	1796.12	灯籠	114×50×—	欠落
13-11	馬頭観音	千福地藏堂	寛政9	1797.04	舟型立像	58×32×24	
23-05	常夜塔	御宿荘園寺	寛政9	1797.06	灯籠	168×75×30	欠落
14-05	石灯籠	富沢愛鷹神社	寛政9	1797.	灯籠	107×45×21	補修
14-06	石灯籠	富沢愛鷹神社	寛政9	1797.	灯籠	108×46×22	補修

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
13-07	順礼供養塔	富沢尼寺跡	寛政10	1798.11	山型角柱	59×25×19	
12-02	石灯籠	久根庚申塚	寛政10	1798.	灯籠	81×48×—	欠落
1-02	廻国塔	麦塚東光寺	寛政11	1799.01	自然石	86×31×24	
4-18	文学碑	桃園定輪寺	寛政12	1800.03	自然石	110×55×39	
5-01	馬頭観音	石脇福祉保健会館	寛政12	1800.04	舟型立像	57×36×19	欠落
81-02	地藏菩薩	深良震橋	寛政12	1800.04	舟型立像	59×32×24	
8-12	順礼供養塔	久根老人生涯センター	寛政12	1800.04	山型角柱	74×31×21	
15-09	庚申塔	久根八幡宮	寛政12	1800.04	自然石	137×92×17	文字塔
1-05	庚申塔	佐野94-3北	寛政12	1800.04	自然石	107×102×10	文字塔
7-00	馬頭観音	須山十里木2255-21	寛政12	1800.06	舟型立像	50×25×17	
3-11	馬頭観音	葛山田場沢薬師堂	寛政12	1800.07	浮彫立像	43×25×16	欠落
6-04	順礼供養塔	須山十里木旧関所跡	寛政12	1800.07	櫛型	49×25×16	欠落
82-03	順礼供養塔	須山地蔵尊	寛政12	1800.07	山型角柱	61×27×24	欠落
6-08	庚申塔	須山十里木旧関所跡	寛政12	1800.07	櫛型	67×31×18	欠落・文字塔
2-02	順礼供養塔	千福808-3	寛政12	1800.08	櫛型	72×31×19	
2-05	庚申塔	千福808-3	寛政12	1800.08	自然石	103×82×13	文字塔
10-09	庚申塔	深良上丹1586	寛政12	1800.09	自然石	91×33×19	文字塔
10-08	順礼供養塔	今里稲荷神社	寛政12	1800.10	山型角柱	85×29×27	
37-13	庚申塔	深良深良新田1354	寛政12	1800.10	笠唐破風角柱	146×58×29	文字塔
3-11	結界石	桃園定輪寺山門	寛政12	1800.11	自然石	170×92×33	
2-02	観世音菩薩	岩波憩の家	寛政12	1800.11	櫛型角柱	60×24×18	文字塔
13-03	順礼供養塔	伊豆島田不動尊西	寛政12	1800.	櫛型	54×25×15	
9-04	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	寛政□		舟型立像	50×24×14	補修
26-01	石灯籠	茶畑中丸378	享和元	1801.03	灯籠	116×40×18	補修
7-01	石灯籠	久根長尾十字路	享和2	1802.07	灯籠	148×48×23	
15-04	石灯籠	久根八幡宮	享和2	1802.08	灯籠	—×—×—	部分・倒壊
15-05	石灯籠	久根八幡宮	享和2	1802.08	灯籠	—×—×—	部分・倒壊
15-06	手洗石	久根八幡宮	享和2	1802.08	箱型	31×61×40	
11-11	馬頭観音	石脇不動堂	享和2	1802.09	自然石	83×39×28	文字塔
23-08	馬頭観音	御宿荘園寺	享和2	1802.10	舟型立像	64×36×20	
13-01	馬頭観音	下和田974-2	享和2	1802.11	舟型立像	73×35×22	
8-06	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側	享和2	1802.11	浮彫立像	41×22×18	欠落
15-08	石灯籠	久根八幡宮	享和2	1802.11	灯籠	—×—×—	部分・倒壊
19-05	馬頭観音	千福天泉寺跡	享和2	1802.12	舟型立像	67×31×14	
26-02	順礼供養塔	茶畑中丸378	享和3	1803.04	丸彫座像	53×44×24	(聖)
10-11	順礼供養塔	深良上丹1586	享和3	1803.09	自然石	92×39×30	
25-00	双体道祖神	茶畑中丸398	享和3	1803.09	駒型くり抜	74×53×35	
37-15	順礼供養塔	深良深良新田1354	享和3	1803.10	笠唐破風角柱	145×56×28	
1-02	水神塔	金沢大久保金沢水源	享和3	1803.10	笠付	43×25×17	欠落
25-02	双体道祖神	深良上原2983	享和3	1803.11	角柱くり抜立像	59×28×23	

番号	種 類	所 在 地	和年号	西 曆	形 状	法 量	備 考
7-08	順礼供養塔	深良上丹1551	享和3	1803.12	自然石	103×46×20	
31-01	子待塔	深良赤子神社	文化元	1804.01	自然石	63×58×16	大黒天塔
60-04	順礼順拝塔	深良南堀2223	文化元	1804.09	自然石	91×46×29	
31-01	常夜塔	須山大六天神社	文化元	1804.09	灯籠	173×52×15	欠落
16-02	馬頭観音	佐野二本松公民館	文化2	1805.04	櫛型	60×27×18	文字塔
7-18	順礼供養塔	茶畑滝頭公民館	文化2	1805.06	自然石	104×24×22	
14-01	馬頭観音	久根494-2	文化3	1806.05	舟型立像	60×35×18	
8-00	馬頭観音	須山十里木高原公園東	文化3	1806.05	舟型立像	55×28×21	
14-07	馬頭観音	久根494-2	文化3	1806.10	舟型立像	58×24×18	欠落
8-05	馬頭観音	久根老人生涯センター	文化3	1806.11	舟型立像	53×30×17	
3-29	六地藏	佐野蓮光寺	文化4	1807.02	丸彫立像	56×18×13	補修
16-05	馬頭観音	佐野二本松公民館内	文化4	1807.03	舟型立像	85×40×23	
61-02	庚申塔	茶畑大日堂	文化4	1807.08	自然石	280×43×41	文字塔
26-02	馬頭観音	久根長尾林道	文化4	1807.10	舟型立像	58×30×20	
12-11	馬頭観音	伊豆島田不動尊	文化4	1807.11	自然石	80×75×44	文字塔
23-23	馬頭観音	御宿荘園寺	文化4	1807.11	舟型立像	59×34×24	
2-17	万霊塔	大畑大日堂	文化4	1807.11	自然石	94×65×28	
2-06	常夜塔	千福808-3	文化4	1807.11	灯籠	168×60×—	欠落
1-08	石灯籠	二ッ屋浅間神社	文化4	1807.	灯籠	84×38×—	欠落
2-16	石段袖石	大畑大日堂	文化5	1808.04	山型角柱	24×20×20	
15-02	馬頭観音	平松614	文化5	1808.06	舟型立像	53×26×20	
75-04	順礼順拝塔	深良町田庚申塚	文化5	1808.06	舟型立像	68×35×26	(聖)
2-15	廻国塔	大畑大日堂	文化5	1808.08	山型角柱	73×31×26	
7-17	不明	茶畑滝頭公民館	文化5	1808.08	角柱	46×30×29	欠落
2-02	馬頭観音	葛山田場沢公民館	文化5	1808.10	舟型立像	84×49×30	
13-02	馬頭観音	御宿10-1	文化5	1808.11	舟型立像	72×41×19	欠落
79-06	石灯籠	深良神社	文化5	1808.12	灯籠	155×63×25	破損
79-07	石灯籠	深良神社	文化5	1808.12	灯籠	161×61×25	
2-00	馬頭観音	御宿1082-2	文化6	1809.04	舟型立像	58×33×19	
5-02	万霊塔	水窪新愛鷹橋	文化7	1810.03	自然石	158×44×18	補修
82-01	常夜塔	深良震橋161	文化7	1810.04	灯籠	146×55×16	
25-01	馬頭観音	深良上原2983	文化7	1810.10	舟型立像	48×29×21	風化
70-01	馬頭観音	茶畑東中学校東方	文化7	1810.11	舟型立像	56×27×18	
15-02	単体道祖神	富沢108	文化7	1810.11	くり抜立像	69×66×35	
35-03	単体道祖神	茶畑中丸264	文化7	1810.12	駒型くり抜	64×46×35	風化
9-00	馬頭観音	石脇224	文化8	1811.02	舟型立像	72×45×20	
15-07	馬頭観音	平松614	文化8	1811.04	駒型	74×34×18	文字塔 (道)
16-02	単体道祖神	葛山下条508	文化8	1811.04	くり抜立像	73×64×33	
18-06	手洗石	深良駒形神社	文化8	1811.08	箱型	46×62×44	
25-01	秋葉山供養塔	御宿307	文化8	1811.12	灯籠	197×80×33	補修

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
68-06	馬頭観音	茶畑日邦工業西	文化9	1812.04	舟型立像	56×28×12	風化
6-07	地藏菩薩	須山十里木田関所跡	文化9	1812.04	舟型立像	52×24×13	風化
15-00	馬頭観音	茶畑滝頭717	文化9	1812.08	自然石	61×42×15	文字塔
1-04	聖観音	麦塚東光寺	文化9	1812.12	丸彫立像	38×13×13	
73-01	馬頭観音	須山田向1658-6	文化10	1813.03	舟型立像	53×33×14	
7-00	馬頭観音	伊豆島田621	文化10	1813.11	浮彫立像	50×26×20	(道)
10-00	双体道祖神	金沢369	文化11	1814.01	くり抜立像	84×71×38	
8-03	常夜塔	久根老人生涯センター	文化11	1814.04	灯籠	156×55×22	
50-02	万霊塔	深良遠道原492	文化11	1814.06	舟型立像	45×23×14	欠落
75-05	観世音菩薩	深良町田庚申塚	文化11	1814.06	櫛型	65×32×18	文字塔
23-02	馬頭観音	深良上原2953-2	文化11	1814.11	舟型立像	56×27×22	
24-05	順礼供養塔	深良車返霊場跡	文化11	1814.11	自然石	95×41×35	
67-02	順礼供養塔	深良南福2712	文化11	1814.11	自然石	97×57×18	
45-00	庚申塔	茶畑128-1	文化12	1815.01	舟型	54×28×16	文字塔
8-29	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側	文化12	1815.04	自然石	48×55×8	文字塔
54-00	道祖神	須山新井272-3	文化12	1815.04	笠付	72×43×37	欠落・文字塔
7-01	常夜塔	千福244北	文化12	1815.08	灯籠	169×60×30	補修
64-04	順礼供養塔	須山田向1596-1	文化13	1816.05	山型角柱	60×28×24	欠落
5-02	石灯籠	石脇福祉保健会館	文化14	1817.06	灯籠	115×61×—	欠落
59-04	馬頭観音	茶畑峰下1460	文化15	1818.04	自然石	120×26×16	文字塔
82-03	秋葉山供養塔	深良震橋161	文化15	1818.04	灯籠	198×54×21	破損
9-10	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂	文政元	1818.02	櫛型	38×42×17	
60-00	石灯籠	茶畑峰下1271-4	文政元	1818.09	灯籠	71×52×—	部分
2-14	碑(記念)	大畑大日堂	文政元	1818.10	自然石	178×27×14	
12-07	木食名号塔	伊豆島田不動尊	文政2	1819.02	自然石	94×79×11	補修
11-04	木食名号塔	石脇公民館	文政2	1819.03	自然石	109×78×11	
10-09	馬頭観音	今里稻荷神社	文政2	1819.04	浮彫立像	54×28×24	台座順礼供養塔
3-09	馬頭観音	葛山田場沢薬師堂	文政2	1819.05	舟型立像	47×26×12	
2-00	馬頭観音	今里919	文政2	1819.05	舟型立像	47×24×20	
9-00	順礼供養塔	公文名鹿島橋北	文政3	1820.11	丸彫座像	40×22×17	補修 (聖)
8-12	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側	文政4	1821.04	自然石	37×18×17	
1-01	馬頭観音	岩波171	文政4	1821.07	舟型立像	56×28×20	
14-01	鳥居	富沢愛鷹神社	文政4	1821.09	神明型	264×358×26	
37-09	順礼供養塔	深良深良新田1354	文政4	1821.11	笠唐破風角柱	167×61×31	
11-04	馬頭・順礼塔	久根81-2三共製袋東	文政5	1822.03	自然石	66×63×14	文字塔
7-01	馬頭観音	深良上丹1551	文政5	1822.06	浮彫立像	49×25×18	
4-02	石灯籠	岩波駒形神社	文政5	1822.11	灯籠	181×72×35	
51-03	庚申塔	茶畑本茶928-1	文政6	1823.03	自然石	122×61×16	文字塔
51-01	石灯籠	茶畑本茶928-1	文政6	1823.04	灯籠	113×45×—	欠落
30-03	常夜塔	須山浅間神社	文政6	1823.05	灯籠	192×82×31	補修

番号	種 類	所 在 地	和年号	西 暦	形 状	法 量	備 考
73-01	馬頭観音	深良町田2500	文政6	1823.06	自然石	82× 32× 32	文字塔
62-00	馬頭観音	深良南掘2254	文政6	1823.08	舟型立像	44× 24× 12	
30-02	手洗石	須山浅間神社	文政7	1824.05	自然石	61×123× 60	
58-00	馬頭観音	深良和市慈眼庵東	文政7	1824.07	自然石	82× 77× 22	文字塔
23-06	庚申塔	御宿荘園寺	文政7	1824.09	自然石	73× 35× 8	文字塔
51-02	道標	深良遠道原観音堂	文政7	1824.09	舟型立像	53× 25× 17	(地)
66-01	不明	茶畑市ノ瀬バス停	文政7	1824.09	角柱	39× 45× 65	
13-16	馬頭観音	千福地藏堂	文政7	1824.11	舟型立像	53× 32× 13	
6-05	石灯籠	佐野八幡神社	文政8	1825.02	灯籠	205× 86× 26	補修
6-06	石灯籠	佐野八幡神社	文政8	1825.02	灯籠	197× 87× 26	補修
74-09	写経塔	深良文明寺	文政8	1825.06	笠付角柱	103× 54× 54	
7-04	馬頭観音	千福244北	文政9	1826.04	舟型立像	50× 28× 16	
76-00	石灯籠	深良町田2386	文政9	1826.05	灯籠	184× 73× 31	
9-02	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	文政10	1827.02	舟型立像	49× 22× 17	欠落
1-07	石灯籠	二ッ屋浅間神社	文政10	1827.04	灯籠	143× 51× 25	
4-02	馬頭観音	久根289-1	文政10	1827.07	櫛型	54× 26× 15	文字塔
15-00	馬頭観音	伊豆島田127-1	文政10	1827.08	浮彫立像	66× 29× 16	
4-00	順礼順拝塔	麦塚229	文政10	1827.08	自然石	73× 52× 16	
8-32	順礼順拝塔	久根老人生涯センター	文政10	1827.09	櫛型	61× 31× 21	
60-02	庚申塔	深良南掘2223	文政10	1827.10	自然石	120× 94× 19	文字塔
1-00	馬頭観音	伊豆島田677-2	文政10	1827.12	舟型立像	54× 27× 17	
5-03	馬頭観音	水窪新愛鷹橋東	文政10	1827.	くり抜立像	44× 27× 18	折損
18-00	馬頭観音	公文名石舟橋	文政10	1827.	自然石	41× 37× 8	欠落・文字塔
61-01	結界石	深良興禅寺	文政11	1828.06	山型角柱	154× 31× 27	
51-01	馬頭観音	深良遠道原観音堂	文政12	1829.08	櫛型くり抜像	69× 26× 15	欠落
89-02	石灯籠	須山十二社神社	文政12	1829.12	灯籠	153× 62× 62	補修
42-01	馬頭観音	葛山上城175	文政13	1830.07	舟型立像	69× 32× 17	
9-07	順礼供養塔	富沢庚申塚	文政13	1830.07	自然石	80× 52× 10	
3-00	馬頭観音	深良新深良橋西	文政13	1830.11	浮彫立像	65× 27× 18	
28-00	石灯籠	久根長尾金比羅神社	文政13	1830.12	灯籠	117× 43× 一	部分・欠落
1-00	馬頭観音	茶畑向田1098-3	天保2	1831.11	自然石	105× 38× 25	文字塔
10-04	順礼供養塔	深良上丹1586	天保3	1832.08	笠付角柱	136× 60× 27	欠落
9-11	観世音菩薩	富沢庚申塚	天保3	1832.11	自然石	116× 76× 13	文字塔
8-01	馬頭観音	佐野406-1-1	天保3	1832.	櫛型	52× 24× 19	文字塔
31-03	秋葉山供養塔	茶畑中丸公民館	天保4	1833.01	灯籠	76× 57× 一	欠落
11-05	石灯籠	水窪神社	天保4	1833.06	灯籠	131× 46× 21	補修
16-13	馬頭観音	公文名光明寺	天保4	1833.10	櫛型	53× 24× 16	風化・文字塔
40-04	庚申塔	葛山上城155	天保6	1835.02	山型角柱くり抜	73× 31× 24	
11-07	馬頭観音	石脇不動堂	天保6	1835.05	浮彫立像	46× 28× 14	欠落
57-04	順礼供養塔	深良和市慈眼庵	天保6	1835.08	角柱	81× 32× 28	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
3-05	石段袖石	御宿子ノ神社	天保6	1835.11	山型角柱	48×15×15	
10-02	名号塔	御宿851-1	天保6	1835.12	自然石	56×23×23	(道)
7-08	単体道祖神	公文名鹿島橋	天保6	1835.	丸彫座像	43×30×32	欠落
29-05	供養塔	葛山仙年寺	天保7	1836.01	櫛型	77×33×26	
6-05	馬頭観音	上ヶ田集会所	天保10	1839.06	舟型立像	59×34×13	
15-01	石灯笼	御宿130	天保10	1839.08	灯笼	221×81×39	補修
2-10	六地藏	大畑弘法大師堂	天保12	1841.04	舟型立像	67×31×20	
21-00	石灯笼	公文名121-1	天保12	1841.08	灯笼	111×53×—	欠落
11-02	文学碑	平松佐野原神社	天保12	1841.08	自然石	74×54×44	芭蕉
16-04	馬頭観音	下和田860	天保12	1841.12	浮彫立像	47×27×13	欠落
17-02	馬頭観音	下和田はのさわ橋東	天保13	1842.11	舟型立像	41×25×14	欠落
13-00	馬頭観音	深良原山神社入口	天保14	1843.02	舟型立像	56×29×13	
23-26	馬頭観音	御宿荘園寺	天保14	1843.04	舟型立像	54×32×15	
2-00	順礼供養塔	伊豆島田564	天保14	1843.04	自然石	61×32×9	補修
11-01	双体道祖神	深良上丹1596-1	天保14	1843.08	駒型浮彫	64×39×23	
17-02	唯念名号塔	茶畑願生寺	天保14	1843.08	櫛型角柱	139×47×38	三面線刻
6-02	子待塔	麦塚見目神社参道	天保14	1843.09	自然石	82×67×21	大黒天塔
19-02	馬頭観音	葛山下条567	天保14	1843.11	舟型立像	61×42×15	
48-01	石灯笼	茶畑金比羅神社	天保15	1844.01	灯笼	127×62×—	欠落
48-02	石灯笼	茶畑金比羅神社	天保15	1844.01	灯笼	135×62×—	欠落
5-10	馬頭観音	桃園橋西	天保15	1844.06	舟型立像	59×33×15	補修
3-00	秋葉山供養塔	麦塚229	天保15	1844.06	灯笼	129×60×—	欠落
19-06	不明	千福天泉寺跡	天保15	1844.12	浮彫立像	40×23×13	欠落
50-04	馬頭観音	深良遠道原492	天保□		舟型立像	60×27×19	
9-00	馬頭観音	麦塚348-1	弘化2	1845.02	舟型立像	40×23×15	風化
16-00	馬頭観音	富沢547-12	弘化2	1845.03	舟型立像	61×30×14	
12-00	唯念名号塔	石脇大柄沢橋北	弘化2	1845.04	自然石	104×58×23	
6-09	庚申塔	須山十里木旧關所跡	弘化2	1845.09	笠付角柱	51×44×26	風化・文字塔
11-06	唯念名号塔	久根81-2三共製袋東	弘化3	1846.02	自然石	137×84×32	
16-05	六地藏	公文名光明寺	弘化4	1847.03	舟型立像	56×31×23	欠落
6-00	馬頭観音	大畑橋南	弘化4	1847.05	舟型立像	48×32×21	風化
68-04	馬頭観音	茶畑日邦工業西	弘化4	1847.06	舟型立像	61×32×19	欠落
5-00	祐天名号塔	上ヶ田184	弘化4	1847.08	自然石	157×80×27	
2-03	唯念名号塔	岩波顔の家	嘉永元	1848.04	自然石	111×61×13	
1-00	馬頭観音	平松401-12	嘉永元	1848.06	自然石	66×26×9	文字塔
22-01	名号塔	御宿平山水源地	嘉永元	1848.11	自然石	106×62×12	
26-00	馬頭観音	公文名上水道下	嘉永2	1849.02	舟型立像	54×30×17	
4-00	馬頭観音	富沢26	嘉永2	1849.03	自然石	65×24×10	補修・文字塔
6-02	万壺塔	下和田専修院	嘉永2	1849.05	自然石	131×79×13	線刻
19-05	廻国塔	深良原地蔵尊	嘉永2	1849.08	山型角柱	97×34×32	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
70-02	唯念名号塔	深良町田2437	嘉永3	1850.03	自然石	136×54×37	
23-18	馬頭観音	御宿荘園寺	嘉永3	1850.04	舟型立像	58×29×20	欠落
23-09	地藏菩薩	御宿荘園寺	嘉永3	1850.04	丸彫立像	52×23×17	補修
51-03	唯念名号塔	深良遠道原観音堂	嘉永3	1850.08	自然石	132×61×38	
9-03	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	嘉永4	1851.07	舟型立像	57×31×18	
15-02	石灯籠	御宿130	嘉永4	1851.08	灯籠	235×87×39	補修
2-10	石灯籠	上ヶ田神明宮	嘉永4	1851.08	灯籠	198×123×37	補修
20-02	馬頭観音	公文名136	嘉永4	1851.12	舟型立像	54×33×15	
37-19	唯念名号塔	深良深良新田1354	嘉永5	1852.03	自然石	116×87×18	欠落
26-03	馬頭観音	久根長尾林道	嘉永5	1852.06	駒型	41×17×12	文字塔
5-02	馬頭観音	桃園橋西	嘉永5	1852.06	舟型立像	52×26×10	欠落
2-05	手洗石	上ヶ田神明宮	嘉永5	1852.06	箱型	58×49×79	
3-06	弁財天	御宿子ノ神社	嘉永5	1852.11	駒型	52×26×23	
10-02	馬頭観音	水窪グランド	嘉永5	1852.12	山型角柱	45×24×20	欠損・文字塔
2-01	秋葉山供養塔	ニッ屋127-3北	嘉永5	1852.	灯籠	120×63×—	欠落
31-02	手洗石	須山大六天神社	嘉永6	1853.05	自然石	66×73×66	
2-01	馬頭観音	岩波憩の家	嘉永7	1854.03	浮彫立像	49×26×27	欠落
1-00	道祖神	上ヶ田16	嘉永7	1854.04	自然石	58×37×23	文字塔
2-03	手洗石	下和田浅間神社	嘉永7	1854.05	箱型	34×86×41	
6-04	馬頭観音	上ヶ田集会所	嘉永7	1854.07	自然石	64×28×19	文字塔
7-00	馬頭観音	上ヶ田富岡保育園南	嘉永7	1854.08	自然石	55×31×14	文字塔
27-01	石造物	葛山仙年寺	嘉永7	1854.08		120×485×448	石囲い
12-13	唯念名号塔	伊豆島田不動尊	嘉永8	1855.08	自然石	127×77×20	
50-09	馬頭観音	須山祖霊社	安政元	1854.12	舟型立像	53×34×18	欠落
5-07	馬頭観音	桃園橋西	安政2	1855.07	自然石	48×16×13	文字塔
20-01	順礼供養塔	公文名136	安政3	1856.02	自然石	67×46×16	
30-01	馬頭観音	茶畑中丸403	安政3	1856.09	自然石	63×44×17	文字塔
14-12	鳥居	御宿八幡宮	安政3	1856.11		—×—×—	倒壊
8-00	道祖神	深良上須公民館西	安政3	1856.	自然石	81×54×40	文字塔
7-03	単体道祖神	千福244北	安政3	1856.	舟型立像	48×31×17	
9-08	唯念名号塔	佐野二ふれあい広場	安政4	1857.02	自然石	218×124×52	
16-16	馬頭観音	公文名光明寺	安政4	1857.04	自然石	49×36×21	文字塔
15-12	秋葉山供養塔	久根八幡宮	安政5	1858.01	灯籠	175×84×31	
23-24	地藏菩薩	御宿荘園寺	安政6	1859.03	舟型立像	57×32×22	
13-06	順礼供養塔	富沢尼寺跡	安政6	1859.03	自然石	100×58×13	
5-00	諸神	麦塚239-7南	安政6	1859.06	櫛型角柱	50×13×16	地神
19-01	馬頭観音	葛山下条567	安政6	1859.08	自然石	74×60×28	文字塔
89-03	手洗石	須山十二社神社	安政6	1859.09	自然石	40×73×51	
13-01	馬頭観音	御宿10-1	安政6	1859.12	舟型立像	46×24×20	
14-03	石灯籠	富沢愛鷹神社	安政6	1859.12	灯籠	138×60×24	補修



番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
14-04	石灯笼	富沢愛鷹神社	安政6	1859.12	灯笼	149×60×24	補修
6-01	不明	岩波永続橋	安政6	1859.	浮彫立像	36×28×11	欠落
7-02	馬頭観音	佐野468-1	万延元	1860.08	舟型立像	41×24×20	欠落
14-02	庚申塔	御宿八幡宮	万延元	1860.04	自然石	110×84×47	文字塔
37-16	道祖神	深良深良新田1354	万延元	1860.05	自然石	81×53×39	文字塔
28-08	庚申塔	深良上原公民館	万延元	1860.07	自然石	63×43×10	文字塔
56-02	馬頭観音	茶畑峰下舞台橋	万延元	1860.09	自然石	75×55×23	文字塔
7-00	秋葉山供養塔	下和田児童館	万延元	1860.10	自然石	100×72×82	
10-12	庚申塔	深良上丹1586	万延元	1860.11	自然石	104×56×48	文字塔
19-04	庚申塔	深良原地蔵尊	万延元	1860.11	自然石	75×46×8	文字塔
2-14	石灯笼	ニッ屋127-3北	万延元	1860.12	灯笼	172×58×25	筆子
89-01	石灯笼	須山十二社神社	万延元	1860.	灯笼	156×60×—	補修
93-00	諸神	須山田向林道	文久元	1861.06	祠	59×32×17	風神
25-00	馬頭観音	葛山中村432	文久元	1861.07	櫛型	41×25×16	文字塔
25-02	石灯笼	須山久保山ノ神社	文久元	1861.12	灯笼	115×50×—	欠落
13-00	水神塔	今里山中	文久2	1862.	自然石	56×67×14	
28-02	名号塔	深良上原公民館	文久3	1863.01	自然石	93×60×24	
5-01	馬頭観音	平松465-5	文久4	1864.11	自然石	80×46×17	文字塔
55-00	唯念名号塔	深良和田2002	慶応2	1866.08	自然石	92×47×16	
6-02	秋葉山供養塔	茶畑滝頭675	慶応3	1867.01	灯笼	158×74×80	
6-10	馬頭観音	上ヶ田集会所	慶応3	1867.02	自然石	50×31×10	文字塔
7-09	馬頭観音	深良上丹1551	慶応3	1867.10	自然石	65×50×17	文字塔
19-01	馬頭観音	久根728-2	慶応4	1868.01	自然石	59×32×13	文字塔
1-01	唯念名号塔	稲荷公文名公民館南	慶応4	1868.03	自然石	136×68×18	
12-00	馬頭観音	葛山下条535-2	慶応4	1868.07	自然石	58×33×15	文字塔
21-00	馬頭観音	須山旧登山道育苗場	明治元	1868.10	舟型立像	65×31×19	
68-01	馬頭観音	茶畑日邦工業西	明治2	1869.01	自然石	92×38×12	文字塔
23-02	馬頭観音	葛山旧根方街道	明治2	1869.04	自然石	59×47×19	文字塔
16-04	石灯笼	茶畑浅間神社	明治2	1869.04	灯笼	132×48×21	
16-05	石灯笼	茶畑浅間神社	明治2	1869.04	灯笼	132×48×21	
92-00	水神塔	須山田向林道	明治2	1869.05	自然石	73×53×14	
10-03	馬頭観音	深良上丹1586	明治2	1869.11	舟型	52×28×15	台座順礼・文字塔
4-03	馬頭観音	水窪公民館内	明治3	1870.04	舟型立像	62×31×20	欠損
10-10	馬頭観音	今里稲荷神社	明治4	1871.04	舟型立像	57×36×20	
10-01	順拝納供養塔	御宿851-1	明治5	1872.03	自然石	57×44×19	
21-00	馬頭観音	葛山下条664	明治5	1872.10	舟型立像	39×23×15	
8-02	馬頭観音	公文名鹿島橋	明治6	1873.07	舟型立像	63×32×12	
69-01	石灯笼	深良町震金比羅神社	明治7	1874.04	灯笼	142×68×25	補修
69-02	石灯笼	深良町震金比羅神社	明治7	1874.04	灯笼	113×68×—	欠落
14-00	馬頭観音	葛山下条553	明治7	1874.10	浮彫座像	54×24×14	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
2-09	馬頭観音	ニッ屋127-3北	明治8	1875.01	舟型立像	46× 31× 16	欠落
3-00	道祖神	上ヶ田286	明治9	1876.02	自然石	62× 50× 20	文字塔
19-00	馬頭観音	今里女久保県道	明治9	1876.03	自然石	56× 23× 15	文字塔
70-02	馬頭観音	茶畑東中学校東方	明治9	1876.03	自然石	131× 59× 12	文字塔
57-03	唯念名号塔	深良和市慈眼庵	明治10	1877.03	自然石	127× 56× 40	
19-04	諸神	下和田上尾	明治10	1877.03	自然石	66× 48× 20	龍爪神
68-08	馬頭観音	茶畑日邦工業西	明治10	1877.11	櫛型	38× 20× 12	文字塔
9-01	道標	佐野二ふれあい広場	明治10	1877.11	山型角柱	104× 24× 18	
3-01	唯念名号塔	水窪161	明治10	1877.12	自然石	167× 51× 35	
8-02	馬頭観音	佐野406-1-1	明治10	1877.	浮彫立像	42× 23× 20	欠落
11-11	碑(慰霊)	平松佐野原神社	明治11	1878.08	自然石	70× 63× 13	
23-03	手洗石	御宿荘園寺	明治11	1878.10	箱型	62× 84× 58	
48-04	唯念名号塔	深良切久保615-1	明治12	1879.05	自然石	146× 55× 25	
9-10	唯念名号塔	富沢庚申塚	明治12	1879.05	自然石	169× 90× 27	
63-00	道標	須山支所	明治12	1879.07	山型角柱	97× 28× 30	
16-01	石灯籠	茶畑浅間神社	明治12	1879.09	灯籠	155× 45× 19	補修
16-02	石灯籠	茶畑浅間神社	明治12	1879.09	灯籠	144× 45× 19	補修
24-00	馬頭観音	葛山中村46	明治12	1879.	浮彫立像	36× 19× 15	欠落
15-02	道標	須山忠ちゃん牧場	明治14	1881.09	角型	125× 36× 20	
9-01	題目塔	深良須釜尊師堂	明治14	1881.10	自然石	137× 92× 24	
9-05	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	明治15	1882.04	舟型立像	49× 27× 19	
11-01	道標	富沢116	明治15	1882.06	角柱	71× 27× 23	
11-16	碑(その他)	平松佐野原神社	明治15	1882.06	自然石	289× 125× 13	
4-01	石造物	下和田1069-2	明治16	1883.02	箱型	57× 103× 82	貯水槽
88-00	水神塔	須山十二社神社	明治16	1883.03	櫛型	72× 41× 14	
46-01	馬頭観音	葛山林道葛山線入口	明治16	1883.04	櫛型	45× 25× 11	文字塔
66-00	馬頭観音	須山田向1604-9	明治16	1883.04	舟型	50× 26× 14	欠落・文字塔
10-15	馬頭観音	今里稻荷神社	明治16	1883.05	自然石	47× 30× 19	文字塔
3-04	名号塔	佐野蓮光寺	明治16	1883.10	自然石	191× 91× 45	
12-00	馬頭観音	今里バス停東	明治17	1884.03	舟型立像	45× 25× 15	
64-02	馬頭観音	茶畑峰下上之橋北	明治17	1884.07	自然石	78× 33× 3	文字塔
4-04	名号塔	大畑橋	明治17	1884.08	自然石	77× 50× 18	
6-12	馬頭観音	上ヶ田集会所	明治18	1885.01	自然石	39× 24× 22	文字塔
9-02	筆子塚	深良須釜尊師堂	明治18	1885.02	自然石	127× 78× 14	
8-00	馬頭観音	御宿841-2	明治18	1885.04	櫛型	38× 20× 11	文字塔
19-02	馬頭観音	久根728-2	明治18	1885.05	舟型立像	46× 22× 14	
4-06	石造物	金沢地藏堂内	明治18	1885.10	自然石	29× 17× 11	薬師大神
11-05	馬頭観音	久根81-2三共製袋東	明治18	1885.12	自然石	65× 39× 19	文字塔
39-00	馬頭観音	須山馬場645	明治18	1885.	自然石	39× 27× 10	風化・文字塔
2-01	馬頭観音	葛山田場沢公民館	明治19	1886.01	自然石	46× 26× 18	文字塔

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
71-00	馬頭観音	深良町田2440	明治19	1886.07	自然石	52×30×14	文字塔
21-05	馬頭観音	茶畑中丸322	明治20	1887.	舟型立像	41×20×14	
4-01	馬頭観音	御宿791	明治21	1888.02	自然石	46×36×13	文字塔
65-02	馬頭観音	須山中学校北	明治21	1888.06	自然石	52×30×29	文字塔
26-01	馬頭観音	久根長尾林道	明治23	1890.02	舟型	60×26×16	折損・文字塔
31-03	石造物	須山大六天神社	明治23	1890.12	箱型	83×122×121	貯水槽
31-04	石造物	須山大六天神社	明治23	1890.12	箱型	83×150×122	貯水槽
12-00	馬頭観音	下和田776-2	明治23	1890.	舟型立像	56×42×24	
10-04	馬頭観音	水窪グラウンド	明治24	1891.04	自然石	46×34×27	文字塔
15-00	馬頭観音	石脇134	明治25	1892.07	舟型立像	64×35×20	
17-00	水神塔	今里31	明治25	1892.12	自然石	45×35×11	
14-00	馬頭観音	石脇131-1	明治26	1893.01	自然石	45×29×10	文字塔
24-07	馬頭観音	深良車返霊場跡	明治26	1893.09	自然石	53×20×28	文字塔
6-07	馬頭観音	上ヶ田集会所	明治26	1893.10	舟型	53×21×14	文字塔
50-21	碑(記念)	葛山景ヶ島	明治27	1894.07	自然石	93×78×25	
72-01	馬頭観音	須山田向1662-2	明治27	1894.12	自然石	51×34×16	文字塔
22-02	地藏菩薩	御宿平山水源地	明治27	1894.12	丸彫立像	37×17×15	欠落
22-05	石造物	御宿平山水源地	明治27	1894.12	丸彫座像	35×23×16	弘法大師
28-00	馬頭観音	御宿493-1	明治29	1896.02	櫛型	43×22×13	文字塔
37-00	馬頭観音	葛山中村386-5	明治29	1896.08	舟型立像	56×29×14	
11-06	石灯籠	平松佐野原神社	明治31	1898.04	灯籠	149×56×22	補修
11-07	石灯籠	平松佐野原神社	明治31	1898.04	灯籠	144×46×22	補修
16-01	馬頭観音	佐野二本松公民館	明治31	1898.07	自然石	84×46×23	文字塔
10-03	手洗石	今里地藏堂	明治31	1898.09	箱型	54×75×45	
11-06	馬頭観音	石脇不動堂	明治32	1899.03	自然石	37×27×9	欠落・文字塔
16-01	単体道祖神	葛山下条508	明治32	1899.03	くり抜立像	75×55×36	
14-00	馬頭観音	水窪長泉共有地	明治33	1900.04	舟型立像	58×30×22	
63-00	道祖神	須山田向橋	明治33	1900.06	駒型	69×49×22	文字塔
37-01	碑(その他)	須山馬場626	明治33	1900.07	自然石	33×56×17	
19-02	馬頭観音	茶畑道上1660	明治34	1901.02	自然石	62×34×15	文字塔
21-00	水神塔	下和田大胡山奥	明治34	1901.03	祠	69×40×36	
3-00	碑(その他)	下和田1115	明治34	1901.04	自然石	38×80×31	
26-00	馬頭観音	深良上原1655	明治34	1901.07	自然石	41×20×7	文字塔
19-00	馬頭観音	御宿595	明治34	1901.09	自然石	43×25×18	文字塔
94-00	水神塔	須山坂上水源	明治34	1901.09	自然石	88×70×20	
6-00	馬頭観音	葛山田場沢94-1	明治34	1901.10	舟型立像	48×27×21	欠落
16-02	諸神	須山十里木クレー射撃場	明治35	1902.03	祠	61×42×18	龍爪神
2-08	手洗石	下和田浅間神社	明治35	1902.08	箱型	55×103×88	
23-08	石灯籠	茶畑中丸315	明治36	1903.02	灯籠	120×48×—	欠落
13-00	馬頭観音	金沢269-2	明治36	1903.05	自然石	48×36×12	文字塔

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
82-01	馬頭観音	須山地蔵尊	明治36	1903.09	自然石	46×25×11	文字塔
31-04	幟立	深良赤子神社	明治36	1903.10		152×22×31	
24-04	題目塔	深良車返霊場跡	明治36	1903.11	自然石	118×50×16	
11-00	水神塔	須山忠ちゃん牧場	明治36	1903.12	自然石	98×61×24	
12-00	水神塔	須山山口沿	明治36	1903.12	自然石	46×36×21	
4-01	道祖神	大畑橋	明治37	1904.01	自然石	40×33×7	文字塔
14-00	馬頭観音	下和田981	明治37	1904.08	舟型	64×33×12	文字塔
9-08	順礼供養塔	富沢庚申塚	明治37	1904.09	自然石	57×93×13	
17-02	馬頭観音	御宿富岡支所	明治38	1905.03	自然石	42×37×22	文字塔
3-03	碑(その他)	桃園神社	明治38	1905.04	自然石	150×74×19	
22-00	幟立	茶畑中丸公民館	明治38	1905.05		153×28×26	
16-09	碑(記念)	茶畑浅間神社	明治39	1906.10	円柱	108×26×26	
15-01	道標	須山忠ちゃん牧場	明治39	1906.	自然石	124×47×22	
61-00	道標	須山原173-1	明治39	1906.	自然石	64×65×25	
23-06	手洗石	茶畑中丸315	明治40	1907.02	箱型	49×60×36	
6-02	神社標石	佐野八幡神社	明治40	1907.04	角柱	243×39×31	
23-09	石灯籠	茶畑中丸315	明治41	1908.02	灯籠	159×55×29	
19-05	碑(記念)	下和田上尾	明治41	1908.03	自然石	70×54×10	欠落・倒壊
21-03	馬頭観音	茶畑中丸322	明治42	1909.04	櫛型	32×20×9	欠落・文字塔
7-00	馬頭観音	石脇471-1	明治42	1909.07	舟型立像	47×28×15	
5-02	馬頭観音	葛山子ノ神橋西	明治42	1909.08	自然石	50×29×8	文字塔
15-00	秋葉山供養塔	葛山下条公民館	明治42	1909.12	灯籠	167×110×31	補修
11-27	観音菩薩	石脇不動堂内	明治42	1909.12	舟型座像	33×17×11	
11-28	薬師如来	石脇不動堂内	明治42	1909.12	舟型立像	33×17×9	
11-04	鳥居	平松佐野原神社	明治43	1910.05	明神型	—×—×—	倒壊
11-10	神社標石	平松佐野原神社	明治43	1910.05	角柱	190×27×20	
4-02	馬頭観音	水窪公民館内	明治43	1910.08	舟型立像	61×26×13	
4-02	万霊塔	御宿791	明治43	1910.08	自然石	64×43×15	
16-39	手洗石	公文名光明寺	明治43	1910.08	箱型	55×68×46	
7-00	碑(記念)	岩波永続橋	明治43	1910.10	自然石	253×90×30	
2-00	水神塔	須山弁当ヶ塚水源	明治43	1910.12	自然石	80×81×11	
18-02	石灯籠	富沢山神社	明治43	1910.12	灯籠	168×64×23	補修
18-03	石灯籠	富沢山神社	明治43	1910.12	灯籠	168×64×23	補修
51-00	碑(記念)	葛山825	明治43	1910.	自然石	115×80×30	
20-03	幟立	葛山下条防災倉庫	明治44	1911.10		157×32×22	
13-00	諸神	公文名263	明治44	1911.12	自然石	37×25×22	稻荷神
12-01	碑(記念)	伊豆島田不動尊	明治44	1911.12	角柱	87×15×15	
7-01	単体道祖神	公文名鹿島橋	明治45	1912.01	丸彫座像	54×42×32	
51-04	石造物	須山神明神社	明治□		箱型	79×145×115	貯水槽
87-00	諸神	深良町田2648	大正元	1912.11	祠	89×44×30	オシャゴッサン

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
31-05	鳥居	深良赤子神社	大正元	1912.11	神明型	327×383×28	
6-05	幟立	麦塚見目神社参道	大正元	1912.11		194×65×45	
12-24	石灯笼	伊豆島田不動尊	大正2	1913.03	灯笼	102×47×—	欠落
2-05	聖観音	大畑弘法大師堂	大正2	1913.05	舟型立像	72×32×20	
79-13	碑(その他)	深良神社	大正2	1913.10	自然石	156×120×23	
80-00	馬頭観音	深良震橋	大正3	1914.01	舟型立像	50×32×21	
9-04	手洗石	今里浅間神社	大正3	1914.03	箱型	54×138×79	
3-02	馬頭観音	金沢堤入口	大正3	1914.07	舟型	42×25×12	文字塔
15-02	幟立	佐野二本松浅間神社	大正3	1914.10		156×44×22	
50-00	馬頭観音	茶畑本茶873-4	大正4	1915.03	舟型立像	49×30×15	風化
5-02	馬頭観音	伊豆島田458-6	大正4	1915.05	舟型立像	50×27×19	
7-03	鳥居	平松八幡神社	大正4	1915.07	神明型	311×370×24	
18-01	幟立	深良駒形神社	大正4	1915.08		168×34×20	
37-02	碑(その他)	茶畑天理246-15	大正4	1915.08	自然石	160×87×13	
6-08	幟立	佐野八幡神社	大正4	1915.09		171×31×23	
6-13	碑(記念)	伊豆島田熊野神社	大正4	1915.10	板石	248×122×21	
6-14	石灯笼	伊豆島田熊野神社	大正4	1915.11	灯笼	121×51×27	補修
6-15	石灯笼	伊豆島田熊野神社	大正4	1915.11	灯笼	119×50×23	欠落
5-00	水神塔	公文名254	大正5	1916.01	自然石	36×24×9	
6-06	幟立	伊豆島田熊野神社	大正5	1916.01		169×38×26	
6-01	馬頭観音	上ヶ田集会所	大正5	1916.02	浮彫立像	58×26×12	
41-00	馬頭観音	須山田向入口	大正5	1916.03	駒型	41×25×20	文字塔 (道)
6-01	幟立	伊豆島田熊野神社	大正5	1916.11		176×38×27	
6-02	馬頭観音	須山十里木旧関所跡	大正5	1916.	舟型立像	58×28×21	欠落
6-07	鳥居	佐野八幡神社	大正6	1917.01	神明型	321×389×13	
58-05	碑(慰霊)	須山鎮霊神社	大正6	1917.01	自然石	97×73×14	
4-05	石段袖石	桃園定輪寺	大正6	1917.01	角柱	34×18×19	
56-01	馬頭観音	茶畑峰下舞台橋	大正6	1917.05	自然石	125×80×20	文字塔
59-00	馬頭観音	深良南掘2223	大正6	1917.09	櫛型	35×20×10	文字塔
12-05	題目塔	水窪踏切	大正6	1917.11	板石	106×74×7	欠落
10-02	弁財天	石脇268-2	大正6	1917.11	自然石	51×31×16	
73-02	馬頭観音	深良町田2500	大正6	1917.12	自然石	58×41×18	文字塔
88-01	諸神・水神塔	深良町田2582	大正7	1918.03	自然石	74×45×7	地神
6-03	寺院標石	下和田専修院	大正7	1918.07	角柱	276×36×36	
6-14	碑(記念)	下和田専修院	大正7	1918.07	自然石	86×49×14	
30-07	碑(記念)	須山浅間神社	大正7	1918.09	自然石	96×85×15	
16-38	手洗石	公文名光明寺	大正7	1918.10	鉢型	23×43×43	
3-04	幟立	桃園神社	大正7	1918.10		162×24×24	
6-01	碑(その他)	佐野八幡神社	大正7	1918.	自然石	83×46×28	
7-00	馬頭観音	葛山中里778-2	大正8	1919.03	舟型座像	71×33×18	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
46-02	馬頭観音	葛山林道葛山線入口	大正8	1919.03	舟型座像	55×26×16	
23-01	碑(記念)	深良上原2953-2	大正8	1919.03	自然石	167×70×10	
1-00	馬頭観音	葛山森脇雇用促進	大正8	1919.04	舟型座像	62×31×19	
30-01	神社標石	須山浅間神社	大正8	1919.04	角柱	256×30×34	
50-02	碑(頌徳)	須山祖霊社	大正8	1919.04	板石	201×102×15	
9-00	馬頭観音	水窪98-2	大正8	1919.05	舟型座像	69×30×21	
6-16	馬頭観音	千福普明寺	大正8	1919.05	浮彫座像	51×25×20	
82-02	碑(記念)	深良震橋161	大正8	1919.05	自然石	80×92×22	
3-01	神社標石	稲荷神社	大正8	1919.07	角柱	266×32×29	
45-00	馬頭観音	葛山上城288	大正9	1920.05	自然石	45×39×22	文字塔
3-03	鳥居	稲荷神社	大正9	1920.05	明神型	267×368×23	
51-01	碑(頌徳)	須山神明神社	大正9	1920.07	自然石	128×72×31	
51-06	不明	茶畑本茶928-1	大正9	1920.08	板石	15×17×11	
2-01	幟立	下和田浅間神社	大正9	1920.09		152×30×24	
15-01	神社標石	佐野二本松浅間神社	大正9	1920.10	角柱	244×36×34	
12-16	馬頭観音	伊豆島田不動尊	大正9	1920.11	舟型立像	66×23×21	
3-04	石灯籠	稲荷神社	大正10	1921.03	灯籠	194×72×29	
3-05	石灯籠	稲荷神社	大正10	1921.03	灯籠	191×72×29	
7-00	碑(記念)	桃園東名カントリークラブ	大正10	1921.03	板石	206×77×12	
6-09	馬頭観音	上ヶ田集会所	大正10	1921.04	浮彫座像	47×27×8	補修
3-04	石灯籠	御宿子ノ神社	大正10	1921.04	灯籠	156×51×26	
40-01	馬頭観音	葛山上城155	大正10	1921.07	自然石	38×33×16	文字塔
16-00	馬頭観音	久根544-1	大正10	1921.08	舟型	47×24×18	文字塔
73-03	馬頭観音	深良町田2500	大正10	1921.09	舟型	60×25×16	文字塔
17-02	石灯籠	富沢不動湧水西	大正10	1921.12	灯籠	156×56×21	補修
25-01	幟立	須山久保山ノ神社	大正11	1922.01		137×29×16	
7-12	馬頭観音	深良上丹1551	大正11	1922.07	自然石	59×27×16	文字塔
6-09	手洗石	伊豆島田熊野神社	大正11	1922.07	自然石	67×125×68	
11-04	石灯籠	水窪神社	大正11	1922.09	灯籠	126×45×21	補修
10-09	石灯籠	公文名鹿島神社	大正11	1922.10	灯籠	230×73×30	
10-10	石灯籠	公文名鹿島神社	大正11	1922.10	灯籠	231×75×30	
79-01	石灯籠	深良神社	大正11	1922.10	灯籠	185×75×31	
79-02	石灯籠	深良神社	大正11	1922.10	灯籠	184×75×31	補修
79-03	鳥居	深良神社	大正11	1922.10	神明型	561×694×47	
12-00	無縁供養塔	富沢柳畑墓地内	大正12	1923.03	板石	86×46×18	
43-06	碑(記念)	須山秋葉神社	大正12	1923.03	板石	94×61×24	
9-04	馬頭・順礼塔	富沢庚申塚	大正12	1923.12	自然石	72×36×20	文字塔
12-04	碑(慰霊)	水窪踏切	大正12	1923.	自然石	140×77×10	
6-03	碑(記念)	桃園御嶽神社	大正13	1924.01	板石	139×63×10	
44-00	馬頭観音	須山津土井1576-1	大正13	1924.02	自然石	55×29×16	文字塔

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
43-00	馬頭観音	葛山上城186-1	大正13	1924.04	自然石	54× 36× 27	文字塔
6-11	馬頭観音	上ヶ田集会所	大正13	1924.07	舟型立像	36× 21× 10	
2-00	馬頭観音	平松402-1	大正13	1924.08	自然石	47× 42× 28	文字塔
15-03	神社標石	久根八幡宮	大正13	1924.09	角柱	291× 41× 43	
3-00	馬頭観音	久根292	大正13	1924.	舟型	50× 25× 12	文字塔
3-04	碑(記念)	石脇三島神社	大正13	1924.	自然石	100× 47× 9	
4-00	馬頭観音	公文名243	大正14	1925.04	自然石	40× 22× 11	文字塔
6-02	神社標石	伊豆島田熊野神社	大正14	1925.10	角柱	264× 40× 31	
49-03	馬頭観音	須山馬頭観音堂	大正14	1925.11	自然石	170× 128× 33	文字塔
9-01	馬頭観音	富沢庚申塚	大正14	1925.12	板石	55× 29× 13	文字塔
27-00	碑(記念)	深良上原1409	大正15	1926.04	自然石	167× 75× 13	
3-03	馬頭観音	金沢堤入口	大正15	1926.05	駒型	42× 24× 10	文字塔
3-01	神社標石	石脇三島神社	大正15	1926.07	角柱	240× 42× 31	
6-06	馬頭観音	上ヶ田集会所	大正15	1926.08	浮彫座像	62× 26× 16	
57-00	馬頭観音	須山原186	大正15	1926.08	自然石	44× 31× 20	文字塔
3-03	寺院標石	佐野蓮光寺	大正□	.09	角柱	290× 66× 30	欠落
19-00	馬頭観音	佐野1430	昭和2	1927.05	自然石	85× 73× 19	文字塔
17-00	馬頭観音	佐野807-2	昭和2	1927.06	自然石	67× 28× 11	文字塔
11-01	馬頭観音	今里バス停西	昭和2	1927.10	自然石	56× 29× 8	文字塔
78-00	馬頭観音	須山田向125	昭和2	1927.11	自然石	54× 32× 21	文字塔
77-03	鳥居	深良天満宮	昭和3	1928.02	神明型	263× 325× 22	
12-25	碑(記念)	伊豆島田不動尊	昭和3	1928.02	笠付角柱	36× 30× 25	
15-00	馬頭観音	深良原山神社入口	昭和3	1928.04	角柱	54× 30× 20	文字塔
18-01	碑(記念)	葛山宮川橋	昭和3	1928.06	板石	132× 93× 15	
5-06	馬頭観音	桃園橋西	昭和3	1928.07	板石	92× 67× 4	欠落・線刻
6-09	手洗石	佐野八幡神社	昭和3	1928.09	自然石	71× 194× 125	
33-02	馬頭観音	茶畑中丸272-2	昭和3	1928.11	自然石	44× 29× 13	文字塔
77-01	石灯籠	深良天満宮	昭和3	1928.11	灯籠	164× 61× 24	
77-02	石灯籠	深良天満宮	昭和3	1928.11	灯籠	164× 61× 24	
2-01	神社標石	大畑熊野神社	昭和3	1928.11	角柱	223× 38× 24	
18-03	諸神	須山愛鷹神社	昭和3	1928.	祠	49× 34× 19	地神
13-00	馬頭観音	須山忠ちゃん牧場	昭和4	1929.01	自然石	50× 28× 17	文字塔
2-00	馬頭観音	久根179-1	昭和4	1929.02	自然石	54× 27× 15	文字塔
16-06	碑(その他)	御宿生霊神社	昭和4	1929.10	自然石	199× 105× 11	
20-05	碑(記念)	千福533	昭和4	1929.12	板石	100× 72× 9	
2-13	名号塔	大畑弘法大師堂	昭和5	1930.01	自然石	154× 49× 12	
9-01	馬頭観音	金沢355-4	昭和5	1930.02	自然石	54× 27× 16	文字塔
53-00	馬頭観音	深良市場356-2	昭和5	1930.06	浮彫立像	44× 23× 16	
10-05	馬頭観音	水窪グラウンド	昭和5	1930.07	自然石	47× 27× 7	文字塔
1-00	馬頭観音	久根212	昭和5	1930.09	舟型	51× 27× 16	文字塔

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
8-00	馬頭観音	下和田988	昭和5	1930.11	自然石	36× 32× 14	文字塔
16-10	狛犬	茶畑浅間神社	昭和5	1930.11		57× 56× 28	
8-00	馬頭観音	金沢341-1	昭和6	1931.04	自然石	46× 24× 11	文字塔
40-00	馬頭観音	深良天田橋	昭和6	1931.04	自然石	50× 13× 17	文字塔
4-11	碑(その他)	桃園定輪寺	昭和6	1931.07	板石	391×144× 20	
1-00	馬頭観音	今里水道調圧槽	昭和6	1931.09	自然石	58× 37× 21	文字塔
4-02	碑(頌徳)	須山十里木頼朝井戸の森	昭和6	1931.12	板石	172× 84× 13	
22-00	馬頭観音	久根240-2	昭和7	1932.06	舟型	51× 21× 17	文字塔
23-00	馬頭観音	久根243	昭和7	1932.07	舟型	50× 20× 15	文字塔
1-00	碑(頌徳)	須山水ヶ塚水源	昭和7	1932.08	自然石	139× 70× 20	
10-08	手洗石	公文名鹿島神社	昭和7	1932.09	箱型	75×104× 59	
16-11	狛犬	茶畑浅間神社	昭和7	1932.10		102× 73× 30	
39-02	手洗石	深良高雄山穂見神社	昭和7	1932.11	自然石	77× 86× 64	
51-02	幟立	須山神明神社	昭和7	1932.11		130× 28× 25	
73-02	馬頭観音	須山田向1658-6	昭和7	1932.12	自然石	63× 37× 15	文字塔
11-03	手洗石	平松佐野原神社	昭和7	1932.	自然石	84×116× 79	
20-01	碑(記念)	葛山下条防災倉庫	昭和8	1933.03	板石	134× 42× 21	
19-00	馬頭観音	公文名167-2	昭和8	1933.04	自然石	52× 33× 19	文字塔
46-02	馬頭観音	茶畑野添44	昭和8	1933.04	自然石	55× 33× 22	文字塔
17-00	馬頭観音	久根474-7	昭和8	1933.05	自然石	43× 26× 10	文字塔
20-00	水神塔	下和田専修院西山中	昭和8	1933.07	自然石	98× 60× 25	
4-03	手洗石	岩波駒形神社	昭和8	1933.11	箱型	46× 58× 37	
4-00	馬頭観音	平松472	昭和9	1934.06	舟型	67× 31× 22	文字塔
88-02	諸神	深良町田2582	昭和9	1934.08	舟型	61× 27× 16	音女大神
3-04	馬頭観音	金沢25	昭和9	1934.09	自然石	35× 21× 8	文字塔
15-13	幟立	久根八幡宮	昭和9	1934.09		169× 66× 50	
9-01	神社標石	葛山浅間神社	昭和9	1934.11	角柱	204× 37× 25	
53-00	馬頭観音	須山新井290	昭和10	1935.02	自然石	52× 36× 19	文字塔
11-01	道祖神	久根81-2三共製袋東	昭和10	1935.03	自然石	57× 38× 26	文字塔
9-02	馬頭観音	金沢355-4	昭和10	1935.06	自然石	70× 47× 5	文字塔
11-05	石段袖石	石脇不動堂	昭和10	1935.09	山型角柱	40× 13× 13	
3-00	馬頭観音	公文名243	昭和11	1936.01	自然石	42× 21× 18	文字塔
44-00	諸神	深良切久保632-2	昭和11	1936.03	舟型	45× 24× 15	地神
16-03	碑(その他)	茶畑浅間神社	昭和11	1936.03	自然石	35× 28× 26	
1-05	石灯籠	二ッ屋浅間神社	昭和11	1936.10	灯籠	161× 66× 28	
1-06	石灯籠	二ッ屋浅間神社	昭和11	1936.10	灯籠	161× 66× 28	
71-00	馬頭観音	須山田向1376-1	昭和12	1937.01	自然石	79× 47× 18	文字塔
2-00	道祖神	深良総在寺南	昭和12	1937.01	自然石	77× 73× 25	文字塔
43-00	馬頭観音	深良切久保634-5	昭和12	1937.02	舟型	53× 25× 12	文字塔
9-07	馬頭観音	佐野二ふれあい広場	昭和12	1937.08	自然石	40× 30× 7	文字塔



番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
4-05	石灯笼	岩波駒形神社	昭和12	1937.09	灯笼	142× 61× 24	
18-04	石灯笼	深良駒形神社	昭和12	1937.12	灯笼	172× 70× 27	補修
18-05	石灯笼	深良駒形神社	昭和12	1937.12	灯笼	173× 70× 27	補修
16-07	石灯笼	茶畑浅間神社	昭和13	1938.04	灯笼	201× 91× 26	補修
16-08	石灯笼	茶畑浅間神社	昭和13	1938.04	灯笼	204× 91× 28	
10-07	碑(その他)	公文名鹿島神社	昭和14	1939.02	自然石	75× 34× 29	
11-00	馬頭観音	金沢372-1	昭和14	1939.03	舟型	44× 29× 16	文字塔
45-00	馬頭観音	深良切久保1951	昭和14	1939.03	舟型	55× 22× 17	文字塔
79-11	狛犬	深良神社	昭和14	1939.07		64× 54× 21	
79-12	狛犬	深良神社	昭和14	1939.07		63× 54× 22	
4-04	石灯笼	岩波駒形神社	昭和14	1939.07	灯笼	141× 60× 24	
10-02	石灯笼	公文名鹿島神社	昭和14	1939.07	灯笼	160× 62× 24	
10-03	石灯笼	公文名鹿島神社	昭和14	1939.07	灯笼	160× 62× 24	
10-00	馬頭観音	久根320	昭和14	1939.11	山型角柱	51× 21× 19	文字塔
13-02	水神塔	石脇71-1北	昭和14	1939.	自然石	52× 42× 20	
15-12	狛犬	佐野二本松浅間神社	昭和15	1940.02		64× 56× 22	
15-13	狛犬	佐野二本松浅間神社	昭和15	1940.02		69× 51× 22	補修
47-00	馬頭観音	須山新井265	昭和15	1940.11	自然石	38× 30× 11	文字塔
49-03	碑(慰霊)	深良遠道原542-6	昭和15	1940.11	自然石	191× 72× 36	
15-01	狛犬	久根八幡宮	昭和15	1940.		76× 62× 30	
15-02	狛犬	久根八幡宮	昭和15	1940.		76× 61× 30	
49-01	石灯笼	深良遠道原542-6	昭和15	1940.	灯笼	122× 49× 24	欠落
49-02	石灯笼	深良遠道原542-6	昭和15	1940.	灯笼	123× 49× 23	
4-01	鳥居	岩波駒形神社	昭和15	1940.	神明型	285× 378× 25	
49-04	手洗石	須山馬頭観音堂	昭和15	1940.	箱型	23× 54× 30	
72-00	碑(慰霊)	茶畑南之沢本洞	昭和16	1941.05	角柱	152× 36× 32	
11-13	狛犬	平松佐野原神社	昭和16	1941.05		80× 62× 31	
11-14	狛犬	平松佐野原神社	昭和16	1941.05		78× 68× 32	
6-00	石造物	石脇470-7	昭和16	1941.11	板石	99× 50× 18	軍功記念刻石
27-00	碑(記念)	公文名林道	昭和17	1942.04	板石	172× 76× 10	
11-01	神社標石	平松佐野原神社	昭和17	1942.04	角柱	201× 46× 46	
9-00	道祖神	御宿861	昭和17	1942.05	自然石	53× 42× 33	文字塔
11-08	石灯笼	平松佐野原神社	昭和17	1942.12	灯笼	204× 69× 32	補修
11-09	石灯笼	平松佐野原神社	昭和17	1942.12	灯笼	204× 69× 32	補修
1-01	神社標石	ニッ屋浅間神社	昭和18	1943.04	角柱	200× 43× 25	
56-02	馬頭観音	須山原184-1	昭和19	1944.02	自然石	50× 38× 24	文字塔
10-01	馬頭観音	水窪グラウンド	昭和□	.09	舟型	45× 26× 11	補修・文字塔
87-00	馬頭観音	須山田向集会所	昭和22	1947.09	自然石	78× 44× 13	文字塔
15-00	馬頭観音	公文名266	昭和23	1948.10	自然石	35× 38× 6	文字塔
22-03	碑(記念)	御宿平山水源地	昭和23	1948.12	自然石	135× 92× 18	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
38-02	馬頭観音	須山馬場635	昭和24	1949.01	自然石	51× 25× 22	文字塔
68-07	馬頭観音	茶畑日邦工業西	昭和24	1949.04	駒型	75× 31× 17	文字塔
32-00	馬頭観音	須山久保541-1	昭和24	1949.10	自然石	58× 36× 14	文字塔
6-01	碑(頌徳)	水窪新愛鷹橋南	昭和26	1951.04	板石	154× 75× 20	
6-02	碑(その他)	水窪新愛鷹橋南	昭和26	1951.04	板石	125× 50× 11	
3-00	馬頭観音	今里919	昭和26	1951.09	自然石	69× 51× 17	文字塔
9-11	碑(慰霊)	佐野二ふれあい広場	昭和26	1951.09	自然石	124× 77× 30	
8-19	碑(慰霊)	茶畑滝頭不動堂北側	昭和26	1951.09	自然石	160× 97× 18	
11-01	幟立	水窪神社	昭和27	1952.01		172× 35× 21	
17-03	道祖神	御宿富岡支所	昭和28	1953.01	自然石	37× 24× 15	文字塔
33-00	馬頭観音	須山久保503	昭和28	1953.11	自然石	78× 60× 15	文字塔
16-01	薬師如来	公文名光明寺	昭和29	1954.02	丸彫座像	47× 27× 20	
14-09	手洗石	富沢愛鷹神社	昭和29	1954.10	自然石	43× 89× 72	
4-16	文学碑	桃園定輪寺	昭和29	1954.10	自然石	113×184× 45	宗祇
13-00	牛観音	平松587-1-1	昭和29	1954.	櫛型	58× 26× 18	頭浮彫
40-02	道祖神	茶畑富士見台遊園地	昭和30	1955.01	自然石	56× 43× 16	文字塔
58-02	石灯籠	須山鎮霊神社	昭和30	1955.07	灯籠	180× 67× 41	
58-03	石灯籠	須山鎮霊神社	昭和30	1955.07	灯籠	178× 66× 38	
11-02	水神塔	千福十二神社	昭和31	1956.02	自然石	69× 40× 5	
20-02	碑(記念)	久根安楽橋	昭和31	1956.05	自然石	88× 44× 9	
79-00	牛馬観音	須山田向98-1	昭和32	1957.09	自然石	52× 42× 23	
9-05	馬頭観音	富沢庚申塚	昭和33	1958.09	自然石	50× 30× 16	文字塔
24-00	観世音菩薩	久根697-6	昭和34	1959.01	自然石	61× 26× 12	文字塔
5-01	碑(記念)	水窪新愛鷹橋	昭和34	1959.04	板石	156× 70× 12	
15-03	石灯籠	佐野二本松浅間神社	昭和35	1960.04	灯籠	153× 62× 31	
8-01	常夜塔	茶畑滝頭不動堂北側	昭和35	1960.04	灯籠	157× 53× 28	
8-21	常夜塔	茶畑滝頭不動堂北側	昭和35	1960.04	灯籠	121× 43× 23	
80-00	牛馬観音	須山田向122	昭和35	1960.07	板石	64× 35× 7	
18-01	山の神塔	須山愛鷹神社	昭和35	1960.07	自然石	159× 47× 10	
16-04	碑(頌徳)	御宿生霊神社	昭和35	1960.09	自然石	157×130× 41	
30-00	道祖神	深良上原1824-2	昭和35	1960.	山型角柱	92× 23× 23	文字塔
15-04	石灯籠	佐野二本松浅間神社	昭和36	1961.04	灯籠	157× 62× 31	欠落
8-02	常夜塔	茶畑滝頭不動堂北側	昭和36	1961.04	灯籠	153× 52× 28	
7-00	馬頭観音	麦塚290	昭和37	1962.04	自然石	51× 34× 9	文字塔
15-05	碑(記念)	佐野二本松浅間神社	昭和37	1962.04	自然石	59× 36× 22	
58-04	碑(記念)	須山鎮霊神社	昭和37	1962.04	自然石	50× 23× 13	
91-01	水神塔	須山滝之沢水源	昭和38	1963.08	祠	73× 31× 21	
8-01	単体道祖神	伊豆島田2-1	昭和39	1964.01	丸彫座像	50× 42× 20	補修
1-00	碑(記念)	深良深良用水下穴口	昭和39	1964.11	自然石	294×172× 18	
7-20	碑(頌徳)	茶畑滝頭公民館	昭和39	1964.11	自然石	295×145× 15	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
32-01	寺院標石	葛山中村集会所	昭和40	1965.05	角柱	179× 36× 36	
15-00	水神塔	金沢264-6	昭和41	1966.01	自然石	52× 32× 14	
29-02	手洗石	深良戦没者共同墓地	昭和41	1966.03	箱型	60× 60× 40	
4-00	石灯籠	伊豆島田堰原山神社	昭和42	1967.02	灯籠	78× 31× 12	補修
5-01	石灯籠	伊豆島田458-6	昭和42	1967.02	灯籠	77× 28× 13	補修
5-01	碑(記念)	葛山子ノ神橋横	昭和42	1967.03	板石	206× 83× 13	
9-06	碑(その他)	今里浅間神社	昭和42	1967.04	板石	160× 68× 14	
9-07	碑(その他)	今里浅間神社	昭和42	1967.04	板石	161× 66× 7	
3-01	寺院漂石	桃園定輪寺山門	昭和42	1967.05	角柱	288× 39× 39	
44-00	馬頭観音	茶畑140-3	昭和42	1967.07	自然石	80× 43× 8	文字塔
3-11	狛犬	石脇三島神社	昭和42	1967.12		65× 56× 30	
3-12	狛犬	石脇三島神社	昭和42	1967.12		65× 55× 34	
7-00	碑(頌徳)	金沢341-1	昭和42	1967.12	自然石	138× 114× 18	
20-00	道祖神	深良原山ノ上神社	昭和43	1968.01	自然石	109× 42× 18	文字塔
14-07	狛犬	富沢愛鷹神社	昭和43	1968.03		59× 52× 26	
14-08	狛犬	富沢愛鷹神社	昭和43	1968.03		60× 55× 28	
14-02	碑(記念)	富沢愛鷹神社	昭和43	1968.03	板石	127× 150× 16	
14-00	馬頭観音	今里97-1	昭和43	1968.07	自然石	69× 28× 9	文字塔
10-11	狛犬	公文名鹿島神社	昭和43	1968.10		60× 46× 25	
10-12	狛犬	公文名鹿島神社	昭和43	1968.10		61× 52× 24	
4-00	碑(記念)	石脇配水場	昭和44	1969.06	自然石	93× 72× 36	
6-01	碑(その他)	千福普明寺	昭和44	1969.08	板石	330× 122× 19	
6-12	碑(記念)	伊豆島田熊野神社	昭和44	1969.10	櫛型	166× 57× 17	
6-20	石造物	千福普明寺	昭和44	1969.12	九重	290× 61× 39	層塔
78-00	碑(記念)	深良天満宮西	昭和45	1970.01	自然石	122× 82× 33	
3-02	寺院標石	佐野蓮光寺	昭和45	1970.05	角柱	185× 37× 20	
6-21	石灯籠	千福普明寺	昭和45	1970.07	灯籠	255× 91× 49	
6-07	狛犬	伊豆島田熊野神社	昭和45	1970.08		78× 77× 33	
6-08	狛犬	伊豆島田熊野神社	昭和45	1970.08		79× 76× 32	
6-04	六地藏	千福普明寺	昭和45	1970.09	丸彫立像	57× 21× 12	
3-01	石灯籠	須山十里木八幡神社	昭和45	1970.10	灯籠	196× 70× 37	
3-02	石灯籠	須山十里木八幡神社	昭和45	1970.10	灯籠	201× 69× 36	
6-22	石灯籠	千福普明寺	昭和45	1970.10	灯籠	255× 91× 49	
9-05	碑(記念)	今里浅間神社	昭和45	1970.10	板石	158× 75× 113	
29-01	碑(記念)	深良戦没者共同墓地	昭和45	1970.11	板石	110× 198× 39	
6-00	道祖神	御宿814	昭和46	1971.01	自然石	120× 97× 49	文字塔
4-13	石灯籠	今里浄土院	昭和46	1971.06	灯籠	247× 83× 44	
24-00	碑(記念)	須山調整池	昭和46	1971.12	板石	101× 183× 22	
46-00	碑(記念)	須山農民研修所	昭和46	1971.12	板石	110× 202× 21	
15-06	碑(慰霊)	佐野二本松浅間神社	昭和47	1972.03	板石	153× 69× 12	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
3-02	石灯籠	石脇三島神社	昭和47	1972.04	灯籠	165× 61× 25	
3-03	石灯籠	石脇三島神社	昭和47	1972.04	灯籠	165× 61× 25	
11-04	狛犬	千福十二神社	昭和47	1972.12		71× 72× 32	
11-05	狛犬	千福十二神社	昭和47	1972.12		71× 70× 42	
6-01	碑(その他)	須山十里木旧関所跡	昭和48	1973.06	板石	120× 51× 31	
6-00	碑(記念)	深良深良橋	昭和48	1973.11	角柱	187× 39× 19	
4-01	碑(その他)	須山十里木頼朝井戸の森	昭和48	1973.11	自然石	177× 98× 30	
8-23	碑(慰霊)	茶畑滝頭不動堂北側	昭和49	1974.03	自然石	127× 77× 15	
15-07	鳥居	久根八幡宮	昭和49	1974.07	神明型	394×538× 30	
4-27	石灯籠	桃園定輪寺	昭和49	1974.07	灯籠	134× 48× 23	
4-26	碑(その他)	桃園定輪寺	昭和50	1975.06	角柱	77× 31× 31	
1-00	文学碑	大畑中央公園	昭和50	1975.06	板石	375×138× 18	若山牧水
3-09	狛犬	桃園神社	昭和51	1976.10		46× 42× 32	
3-10	狛犬	桃園神社	昭和51	1976.10		47× 41× 32	
16-03	手洗石	御宿生霊神社	昭和52	1977.09	自然石	48× 66× 45	
10-01	神社標石	公文名鹿島神社	昭和52	1977.10	角柱	304× 43× 43	
6-02	馬頭観音	上ヶ田集会所	昭和52	1977.12	丸彫立像	80× 23× 15	
7-03	山の神塔	富沢山の神	昭和53	1978.01	祠	75× 61× 24	
2-02	神社標石	麦塚見目神社	昭和53	1978.10	角柱	239× 44× 43	
4-03	文学碑	須山十里木頼朝井戸の森	昭和53	1978.10	板石	135×111× 33	水原秋桜子
59-00	文学碑	須山新井579-1	昭和53	1978.10	板石	136×114× 26	若山牧水
69-00	碑(その他)	須山田向1617	昭和53	1978.11	自然石	138×112× 49	
30-06	文学碑	須山浅間神社	昭和53	1978.	板石	188× 98× 30	国府犀東
12-00	碑(その他)	佐野大山橋	昭和54	1979.02	板石	89× 57× 6	
16-01	鳥獣供養塔	須山十里木クレ射撃場	昭和54	1979.05	自然石	113× 81× 22	
18-02	石灯籠	御宿入谷山神社	昭和54	1979.09	灯籠	166× 61× 15	
18-03	石灯籠	御宿入谷山神社	昭和54	1979.09	灯籠	166× 61× 15	
14-00	文学碑	須山忠ちゃん牧場	昭和54	1979.11	自然石	210×287× 67	川田順
4-00	文学碑	佐野285-1	昭和55	1980.04	板石	101×155× 13	若山牧水
6-02	石灯籠	千福普明寺	昭和55	1980.08	灯籠	178×148× 31	
18-02	碑(記念)	葛山宮川橋	昭和55	1980.08	板石	185×115× 19	
60-01	道祖神	須山原175	昭和55	1980.10	自然石	65× 73× 23	文字塔
1-01	寺院標石	麦塚東光寺	昭和56	1981.05	自然石	173×144× 78	
4-30	供養塔	桃園定輪寺	昭和56	1981.07	板石	198×105× 19	大般若経
51-03	手洗石	須山神明神社	昭和56	1981.07	箱型	40× 50× 36	
24-01	碑(その他)	深良車返霊場跡	昭和56	1981.08	自然石	141× 68× 23	
3-00	碑(記念)	岩波配水池水神社	昭和57	1982.04	板石	75×106× 12	
86-00	馬頭観音	須山田向52	昭和57	1982.06	板石	44× 31× 6	文字塔
4-04	石造物	茶畑滝頭639	昭和57	1982.07	自然石	126×116× 35	妙現大善神
16-01	碑(その他)	石脇土場地蔵	昭和57	1982.08	板石	82× 69× 5	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
6-03	石灯笼	千福普明寺	昭和57	1982.09	灯笼	178×148×31	
15-10	石灯笼	佐野二本松浅間神社	昭和58	1983.10	灯笼	240×75×21	
15-11	石灯笼	佐野二本松浅間神社	昭和58	1983.10	灯笼	240×75×21	
23-01	道祖神	葛山旧根方街道	昭和58	1983.11	板石	77×45×23	文字塔
40-05	織立	葛山八幡神社入口	昭和59	1984.01		176×37×25	
1-00	碑(記念)	水窪233-11	昭和59	1984.03	板石	111×107×40	
1-00	碑(記念)	桃園富沢穴堰	昭和59	1984.04	板石	148×100×15	
68-01	万霊塔	深良松寿院	昭和59	1984.05	角柱	163×45×35	
18-05	狛犬	御宿入谷山神社	昭和59	1984.09		46×42×23	
18-06	狛犬	御宿入谷山神社	昭和59	1984.09		44×46×27	
3-02	碑(その他)	千福791	昭和59	1984.10	板石	58×63×3	
2-04	狛犬	麦塚見目神社	昭和60	1985.03		66×56×24	
2-05	狛犬	麦塚見目神社	昭和60	1985.03		66×53×31	
7-03	寺院標石	水窪長教寺	昭和60	1985.07	自然石	150×116×43	
4-14	石灯笼	今里浄土院	昭和60	1985.11	灯笼	181×75×37	
4-15	石灯笼	今里浄土院	昭和60	1985.11	灯笼	181×75×37	
12-00	碑(記念)	深良上丹大神宮	昭和60	1985.12	板石	115×96×15	
9-02	碑(記念)	葛山浅間神社	昭和61	1986.03	板石	89×204×18	
6-10	石灯笼	下和田専修院	昭和62	1987.05	灯笼	275×116×60	
6-11	石灯笼	下和田専修院	昭和62	1987.05	灯笼	275×116×60	
14-08	石灯笼	御宿八幡宮	昭和62	1987.09	灯笼	263×94×46	
14-09	石灯笼	御宿八幡宮	昭和62	1987.09	灯笼	263×94×46	
14-01	神社標石	御宿八幡宮	昭和62	1987.09	角柱	194×45×35	
14-07	碑(記念)	御宿八幡宮	昭和62	1987.09	板石	78×167×16	
3-01	神社標石	御宿子ノ神社	昭和62	1987.10	角柱	184×40×30	
3-02	碑(記念)	御宿子ノ神社	昭和62	1987.10	板石	71×82×12	
4-25	文学碑	桃園定輪寺	昭和62	1987.11	自然石	171×272×240	勝又一透
16-01	碑(記念)	御宿生霊神社	昭和62	1987.12	板石	84×183×15	
2-02	鳥居	下和田浅間神社	昭和63	1988.04	明神型	380×445×31	
18-04	手洗石	御宿入谷山神社	昭和63	1988.08	自然石	56×153×98	
2-08	狛犬	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.09		73×70×30	
2-09	狛犬	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.09		73×70×30	
18-01	鳥居	御宿入谷山神社	昭和63	1988.09	明神型	373×463×31	
6-03	石灯笼	伊豆島田熊野神社	昭和63	1988.10	灯笼	226×85×45	
6-04	石灯笼	伊豆島田熊野神社	昭和63	1988.10	灯笼	226×85×45	
2-06	石灯笼	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	灯笼	322×137×46	
2-07	石灯笼	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	灯笼	322×137×46	
2-02	鳥居	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	神明型	350×473×31	
2-01	神社標石	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	角柱	202×45×37	
2-03	碑(記念)	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	板石	122×204×18	

番号	種 類	所 在 地	和年号	西 曆	形 状	法 量	備 考
2-04	碑(記念)	上ヶ田神明宮	昭和63	1988.10	板石	119×162×16	
7-01	碑(その他)	水窪長教寺	昭和63	1988.12	板石	61×121×10	
67-00	馬頭観音	須山原153-1	平成元	1989.06	板石	55×31×15	文字塔
85-00	文学碑	深良小学校	平成元	1989.11	自然石	93×162×70	勝又一透
50-01	神社標石	須山祖霊社	平成2	1990.07	角柱	228×46×31	
18-02	馬頭観音	今里24	平成2	1990.09	自然石	78×68×24	文字塔
18-01	道祖神	今里24	平成2	1990.09	自然石	49×30×17	文字塔
43-04	石灯籠	須山秋葉神社	平成2	1990.12	灯籠	111×47×21	
43-05	石灯籠	須山秋葉神社	平成2	1990.12	灯籠	111×47×21	
6-05	鳥居	伊豆島田熊野神社	平成2	1990.12	明神型	372×458×31	
43-02	鳥居	須山秋葉神社	平成2	1990.12	明神型	290×356×24	
43-03	手洗石	須山秋葉神社	平成2	1990.12	箱型	73×90×55	
43-01	神社標石	須山秋葉神社	平成2	1990.12	角柱	177×23×18	
8-07	碑(その他)	茶畑滝頭不動堂北側	平成2	1990.12	自然石	176×112×105	
8-08	碑(その他)	茶畑滝頭不動堂北側	平成2	1990.12	板石	127×182×16	
6-16	石灯籠	伊豆島田熊野神社	平成2	1990.12	灯籠	191×74×31	
6-17	石灯籠	伊豆島田熊野神社	平成2	1990.12	灯籠	191×74×31	
1-00	文学碑	石脇文化センター	平成3	1991.10	自然石	190×154×62	若山牧水
12-09	碑(慰霊)	伊豆島田不動尊	平成4	1992.03	板石	185×92×17	
2-00	碑(その他)	桃園不二聖心女子学院	平成4	1992.05	自然石	145×233×53	
7-02	神社標石	平松八幡神社	平成4	1992.09	角柱	191×46×36	
6-01	寺院標石	下和田専修院	平成4	1992.11	自然石	210×66×72	
11-15	碑(その他)	石脇不動堂	平成5	1993.01	板石	114×33×15	
3-01	碑(慰霊)	伊豆島田堰原公民館	平成5	1993.03	板石	186×100×16	
9-04	碑(その他)	葛山浅間神社	平成5	1993.04	板石	94×189×21	
83-00	題目塔	深良須釜総在寺	平成5	1993.05	自然石	175×138×86	
86-00	文学碑	深良上原3686-3	平成5	1993.07	自然石	168×118×62	川田順
66-01	石灯籠	深良町田八幡宮	平成5	1993.08	灯籠	185×68×30	
66-02	石灯籠	深良町田八幡宮	平成5	1993.08	灯籠	185×68×31	
13-00	碑(記念)	水窪三俣堰	平成5	1993.08	板石	146×79×16	
2-01	神社標石	金沢浅間神社	平成5	1993.10	角柱	188×47×32	
2-02	碑(その他)	金沢浅間神社	平成5	1993.10	板石	101×215×30	
6-02	碑(その他)	桃園御嶽神社	平成5	1993.10	板石	34×84×4	
20-02	鳥居	須山徳見神社	平成5	1993.11	明神型	365×434×30	
20-01	神社標石	須山徳見神社	平成5	1993.11	角柱	225×37×31	
11-05	鳥居	平松佐野原神社	平成6	1994.04	明神型	419×502×34	
6-18	手洗石	千福普明寺	平成6	1994.05	箱型	62×122×73	
9-00	文学碑	須山十里木高原公園	平成6	1994.11	自然石	220×163×44	
58-01	神社標石	須山鎮霊神社	平成6	1994.12	角柱	171×31×31	
20-02	碑(記念)	葛山下条防災倉庫	平成7	1995.03	板石	129×70×18	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
3-10	碑(その他)	石脇三島神社	平成8	1996.07	板石	114×50×13	
84-02	石灯籠	深良上須山神社	平成8	1996.10	灯籠	167×55×25	
84-03	石灯籠	深良上須山神社	平成8	1996.10	灯籠	167×55×25	
84-01	鳥居	深良上須山神社	平成8	1996.10	明神型	301×373×24	
11-01	馬頭観音	伊豆島田186-3	1年		自然石	53×37×10	文字塔
7-11	十六羅漢	茶畑滝頭公民館	3月		丸彫座像	49×40×35	
3-02	鳥居	稲荷神社	3月			190×64×53	部分・倒壊
34-00	地藏菩薩	須山久保492	5月		舟型立像	58×33×23	
69-01	不動明王	茶畑滝ノ沢	5月		浮彫立像	58×30×24	
4-02	馬頭観音	金沢地藏堂	6月		自然石	44×18×12	欠落・文字塔
75-00	馬頭観音	須山田向1647	6月		浮彫立像	31×21×15	風化
6-03	地藏菩薩	須山十里木田関所跡	6月		丸彫立像	48×18×11	補修
4-16	名号塔	今里浄土院	6月		自然石	136×80×35	
5-01	道標	下和田上バス停北	6月		自然石	35×27×14	欠落
29-07	力石	葛山仙年寺	7月		自然石	54×37×23	
3-16	順礼供養塔	佐野蓮光寺	8月		浮彫座像	56×31×15	欠落 (如)
37-06	不明	深良深良新田1354	8月		浮彫座像	35×23×17	折損
17-08	不明	茶畑願生寺	8月		櫛型	47×21×15	風化
11-00	馬頭観音	茶畑滝頭682	9月		浮彫座像	33×28×13	風化
7-02	名号塔	御宿838-1	9月		舟型	61×28×14	
7-10	不明	公文名鹿島橋	9月		浮彫立像	33×27×15	欠落
38-00	馬頭観音	深良中学入口	10月		舟型立像	46×27×32	
3-04	石灯籠	水窪161	11月		灯籠	107×57×-	欠落
27-00	刻経塔	茶畑中丸361-1			自然石	76×48×19	
41-00	刻経塔	茶畑中丸483-2			自然石	48×47×17	
55-00	刻経塔	茶畑道上公民館			自然石	58×52×30	
58-00	刻経塔	茶畑峰下1523-2			自然石	45×39×18	
9-00	刻経塔	平松357-2			自然石	89×44×33	伝承十三塚
10-03	刻経塔	平松354			自然石	53×38×33	
11-12	刻経塔	平松佐野原神社			自然石	60×58×23	
57-09	廻国塔	深良和市慈眼庵			自然石	41×31×27	補修
16-37	順礼供養塔	公文名光明寺			丸彫座像	40×26×23	(如)
8-26	順礼供養塔	茶畑滝頭不動堂北側			丸彫座像	50×37×25	(聖)
17-09	順礼供養塔	茶畑願生寺			自然石	51×27×14	
42-02	順礼供養塔	茶畑芦原観音堂			舟型立像	57×27×16	(聖)
6-12	順礼供養塔	下和田専修院			丸彫立像	64×18×13	欠落 (聖)
3-05	順礼供養塔	水窪161			角柱	50×25×25	欠落
16-08	供養塔	公文名光明寺			自然石	33×52×11	欠落
50-07	無縁塔	須山祖霊社			櫛型	51×22×11	
5-00	供養塔	富沢15-2			自然石	49×43×41	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
13-04	日参供養塔	伊豆島田不動尊西			丸彫座像	55×40×19	補修 (地)
5-00	唯念名号塔	岩波駅前			自然石	315×156×55	
32-00	唯念名号碑	深良新深良橋下			磨崖碑	—×—×—	
12-02	唯念名号塔	伊豆島田不動尊			自然石	159×82×17	
50-20	徳因名号塔	葛山景ヶ島			自然石	143×72×32	
10-00	木食名号塔	葛山中里702-2			自然石	117×66×14	
13-01	名号塔	茶畑滝頭696			自然石	52×44×27	
14-00	名号塔	茶畑滝頭714-2			自然石	74×44×37	
17-04	名号塔	茶畑願生寺			自然石	43×41×6	折損
28-02	名号塔	茶畑中丸623			自然石	48×47×32	
32-00	名号塔	茶畑中丸441-2			自然石	61×30×17	
40-01	名号塔	茶畑富士見台遊園地			自然石	37×41×26	
17-01	名号塔	御宿富岡支所			自然石	41×30×15	(道)
22-07	名号碑	御宿平山水源地			磨崖碑	—×—×—	
36-01	真言文字塔	深良深良新田1332			自然石	86×31×23	
51-02	真言文字塔	茶畑本茶928-1				93×33×33	
24-04	庚申塔	公文名公民館内			浮彫座像	19×31×13	
24-05	庚申塔	公文名公民館内			浮彫座像	42×30×10	
19-06	庚申塔	下和田上尾			丸彫座像	51×30×29	
19-07	庚申塔	下和田上尾			丸彫座像	46×35×22	
11-26	庚申塔	石脇不動堂内			舟型立像	39×21×14	
9-00	庚申塔	久根305			自然石	76×40×14	文字塔
2-00	庚申塔	茶畑東中学校入口			自然石	50×66×21	文字塔
26-04	庚申塔	茶畑中丸378			自然石	73×47×21	文字塔
6-00	庚申塔	平松388			自然石	29×24×10	文字塔
8-00	庚申塔	平松368-2			自然石	53×42×8	伝承十三塚・文字塔
4-01	庚申塔	葛山田場沢967			自然石	28×26×18	折損 文字塔
7-02	庚申塔	千福244北			自然石	96×72×20	文字塔
13-05	庚申塔	富沢尼寺跡			円柱	34×26×26	欠損 文字塔
2-06	庚申塔	二ッ屋127-3北			自然石	129×107×10	欠落・文字塔
2-07	庚申塔	二ッ屋127-3北			自然石	65×74×15	欠落・文字塔
2-04	双体道祖神	岩波憩の家			浮彫立像	46×39×22	風化
2-05	双体道祖神	岩波憩の家			舟型立像	60×43×34	
4-00	双体道祖神	深良須釜3313-3			浮彫立像	37×31×27	風化
17-01	双体道祖神	深良駒形神社南			浮彫立像	51×32×26	風化
17-02	双体道祖神	深良駒形神社南			浮彫立像	38×22×17	風化
17-03	双体道祖神	深良駒形神社南			浮彫立像	50×32×28	風化
22-02	双体道祖神	深良原2942-7			浮彫立像	35×26×13	風化
28-01	双体道祖神	深良上原公民館			くり抜立像	64×46×39	欠落
51-18	双体道祖神	深良遠道原観音堂			舟型立像	66×46×36	



番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
57-01	双体道祖神	深良和市慈眼庵			浮彫立像	61× 35× 19	
72-02	双体道祖神	深良町田2495			浮彫立像	60× 37× 34	
81-01	双体道祖神	深良震橋			駒型くり抜	58× 44× 22	
29-00	双体道祖神	久根616-1			駒型浮彫	61× 52× 42	
24-01	双体道祖神	公文名公民館			浮彫立像	49× 35× 18	欠落
10-00	双体道祖神	茶畑滝頭665-2			浮彫立像	37× 32× 23	欠落
16-06	双体道祖神	茶畑浅間神社			浮彫立像	41× 34× 29	
14-00	双体道祖神	平松151-1			浮彫立像	43× 40× 19	風化
29-00	双体道祖神	須山久保下橋			浮彫立像	37× 27× 15	欠落
42-02	双体道祖神	須山秋葉神社西			駒型くり抜	49× 36× 24	風化
49-01	双体道祖神	須山馬頭観音堂			浮彫立像	53× 34× 20	風化
1-01	双体道祖神	下和田大胡山橋			浮彫立像	41× 33× 20	欠落
5-02	双体道祖神	下和田上バス停北			浮彫立像	45× 41× 26	風化
5-03	双体道祖神	下和田上バス停北			くり抜立像	68× 63× 31	風化
5-04	双体道祖神	下和田上バス停北			くり抜立像	34× 37× 25	欠落
15-01	双体道祖神	下和田859			浮彫立像	63× 29× 20	破損
15-02	双体道祖神	下和田859			くり抜立像	71× 70× 29	欠落
5-01	双体道祖神	今里890-3			浮彫立像	50× 35× 15	風化
5-02	双体道祖神	今里890-3			くり抜	60× 50× 32	風化
8-00	双体道祖神	今里天神さん入口			駒型浮彫	50× 45× 26	風化
27-00	双体道祖神	御宿326			浮彫立像	45× 29× 17	風化
4-00	双体道祖神	上ヶ田310			浮彫立像	48× 41× 18	欠落
4-02	双体道祖神	葛山田場沢967			くり抜立像	76× 71× 46	
8-01	双体道祖神	葛山中里767-5			舟型立像	41× 34× 20	欠落
22-01	双体道祖神	葛山下条619			くり抜立像	40× 32× 21	風化
22-02	双体道祖神	葛山下条619			くり抜立像	91× 93× 31	
33-03	双体道祖神	葛山中村408-3			笠型くり抜	55× 33× 25	欠落
40-03	双体道祖神	葛山上城155			くり抜立像	45× 28× 13	欠落
2-03	双体道祖神	千福808-3			駒型くり抜像	57× 42× 34	風化
2-04	双体道祖神	千福808-3			舟型立像	57× 45× 20	
5-01	双体道祖神	千福寿橋			くり抜立像	48× 32× 14	風化
8-01	双体道祖神	千福252-5			駒型くり抜立像	49× 45× 27	風化
15-00	双体道祖神	千福494			笠付浮彫	56× 37× 39	風化
18-00	双体道祖神	千福139			舟型立像	51× 43× 20	
8-02	双体道祖神	石鷗409			舟型立像	68× 49× 19	欠落
11-02	双体道祖神	石鷗公民館			舟型立像	64× 40× 29	風化
2-00	双体道祖神	佐野305			笠付くり抜立像	64× 49× 30	欠落
6-04	双体道祖神	佐野八幡神社			くり抜立像	68× 33× 34	
8-04	双体道祖神	佐野406-1-1			くり抜立像	91× 55× 34	
13-01	双体道祖神	佐野二本松山神社北			くり抜立像	54× 41× 31	風化

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
42-01	単体道祖神	深良切久保1926-2			浮彫座像	40× 34× 24	欠落
42-02	単体道祖神	深良切久保1926-2			舟型座像	62× 47× 30	
48-02	単体道祖神	深良切久保615-1			舟型立像	58× 30× 32	
72-01	単体道祖神	深良町田2495			浮彫座像	42× 34× 23	風化
11-02	単体道祖神	久根81-2三共製袋東			丸彫座像	28× 25× 19	欠落
7-11	単体道祖神	公文名鹿島橋			丸彫座像	34× 40× 32	欠落
13-02	単体道祖神	茶畑滝頭696			丸彫座像	64× 55× 39	
13-03	単体道祖神	茶畑滝頭696			舟型立像	53× 36× 21	欠落
13-04	単体道祖神	茶畑滝頭696			丸彫座像	35× 41× 31	欠落
35-04	単体道祖神	茶畑中丸264			丸彫座像	51× 31× 27	
57-01	単体道祖神	茶畑伊豆佐野口			丸彫座像	65× 66× 42	
6-03	単体道祖神	麦塚見目神社参道			丸彫座像	57× 48× 50	
21-01	単体道祖神	御宿462-1			舟型立像	49× 35× 22	
33-01	単体道祖神	葛山中村408-3			浮彫立像	28× 21× 14	欠落
48-00	単体道祖神	葛山上城山乃神社			浮彫立像	49× 36× 15	欠落
8-03	単体道祖神	佐野406-1-1			浮彫座像	46× 29× 26	
9-09	単体道祖神	佐野二ふれあい広場			浮彫立像	54× 40× 28	
9-10	単体道祖神	佐野二ふれあい広場			舟型立像	49× 37× 28	欠落
8-02	単体道祖神	水窪140			丸彫座像	60× 39× 36	
12-14	単体道祖神	伊豆島田不動尊			浮彫立像	40× 28× 20	
63-00	道祖神	深良南掘2797-1			自然石	55× 35× 12	文字塔
67-01	道祖神	深良南掘2712			自然石	79× 65× 22	文字塔
6-02	道祖神	久根255			自然石	70× 41× 18	文字塔
36-00	道祖神	茶畑中丸245			自然石	68× 67× 31	文字塔
27-00	道祖神	須山久保463-5			自然石	61× 47× 12	文字塔
42-01	道祖神	須山秋葉神社西			自然石	79× 60× 28	文字塔
60-02	道祖神	須山原175			自然石	34× 45× 17	欠落・文字塔
9-02	道祖神	下和田988			櫛型くり抜	57× 44× 46	文字塔
10-07	道祖神	今里稲荷神社			自然石	82× 73× 32	文字塔
12-00	道祖神	千福ランド入口			自然石	81× 51× 14	文字塔
11-01	道祖神	佐野1036			自然石	46× 30× 19	文字塔
11-02	道祖神	深良上丹1596-1			自然石	28× 30× 23	
22-00	道祖神	須山旧登山道沿			自然石	33× 18× 8	
9-01	道祖神	下和田988			自然石	40× 34× 17	風化
14-04	道祖神	御宿八幡宮			自然石	38× 35× 23	
14-05	道祖神	御宿八幡宮			自然石	40× 31× 28	
5-02	道祖神	千福寿橋			自然石	41× 35× 30	風化
11-02	道祖神	佐野1036			自然石	50× 41× 21	補修
9-02	道祖神	富沢庚申塚			自然石	22× 18× 10	
8-02	道祖神	伊豆島田2-1			自然石	90× 77× 43	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
16-20	道祖神	公文名光明寺			丸石	24× 32× 31	
77-00	道祖神	須山田向1651-1			丸石	21× 32× 25	
21-02	道祖神	御宿462-1			丸石	22× 21× 23	
11-01	道祖神	千福十二神社			丸石	26× 33× 36	
14-01	道祖神	千福510-1			丸石	14× 14× 14	
1-03	子待塔	稲荷公文名公民館南			自然石	82× 61× 30	大国主命
50-03	子待塔	須山祖霊社			丸彫立像	74× 36× 31	大黒天
22-04	子待塔	佐野二本松不動尊			櫛型	54× 22× 15	第六天
10-04	道標	須山富士山資料館内			自然石	56× 23× 13	
65-03	道標	須山中学校北			山型角柱	49× 19× 21	欠落
18-00	道標	下和田県道沿入口			自然石	43× 20× 20	
3-01	道標	大畑101			自然石	56× 22× 18	
11-02	道標	富沢116			自然石	63× 36× 51	
73-01	山の神塔	茶畑清水館東			祠	79× 40× 26	
18-04	山の神塔	須山愛鷹神社			祠	66× 45× 16	
28-01	山の神塔	須山久保495-1			祠	69× 42× 43	
51-05	山の神塔	須山神明神社			祠	73× 40× 18	
83-00	山の神塔	須山田向山之神社			祠	69× 41× 36	欠落
16-01	山の神塔	金沢神明宮			祠	78× 38× 22	
16-02	山の神塔	金沢神明宮			祠	84× 43× 25	
13-02	山の神塔	佐野二本松山神社内			祠	70× 40× 23	
6-04	山の神塔	桃園御嶽神社			祠	65× 47× 31	
34-00	水神塔	深良新田黄瀬川沿			祠	86× 80× 84	
1-00	水神塔	公文名堤			祠	53× 31× 15	
33-03	水神塔	茶畑中丸272-2			自然石	50× 31× 15	
49-00	水神塔	茶畑本茶865-2			自然石	90× 79× 25	
71-00	水神塔	茶畑清水館東			祠	74× 39× 23	
90-01	水神塔	須山田向22-1川沿			自然石	41× 32× 22	
90-02	水神塔	須山田向22-1川沿			祠	66× 41× 40	
2-07	水神塔	金沢堤			祠	78× 68× 30	
22-04	水神塔	御宿平山水源地			浮彫座像	70× 50× 25	
28-00	水神塔	葛山仙年寺			浮彫座像	75× 53× 34	風化
42-02	水神塔	葛山上城304			祠	49× 49× 22	欠落
8-19	薬師如来	久根老人生涯センター			丸彫座像	36× 24× 16	
8-22	阿閼如来	久根老人生涯センター			丸彫座像	33× 25× 17	
8-26	釈迦如来	久根老人生涯センター			丸彫座像	32× 24× 14	
8-30	大日如来	久根老人生涯センター			丸彫座像	34× 25× 16	補修
14-00	大日如来	公文名275-11			自然石	52× 41× 18	
25-03	釈迦如来	公文名天神宮			自然石	40× 33× 10	線刻
9-01	寝釈迦	茶畑滝頭不動堂内			丸彫涅槃像	22× 63× 20	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
34-00	阿弥陀如来	茶畑中丸272-2			自然石	50× 42× 14	梵字塔
38-00	大日如来	茶畑中丸211			自然石	53× 43× 20	
15-06	大日如来	平松614			自然石	44× 25× 20	
50-12	如来	葛山依京寺内			磨崖仏	103× 183× 18	
10-03	釈迦牟尼像	佐野979			丸彫立像	90× 48× 36	補修
3-02	阿弥陀如来	大畑101			駒型浮彫座像	35× 26× 15	
3-02	如来	水窪161			丸彫座像	58× 36× 27	補修
19-03	聖観音	深良原地蔵尊			丸彫座像	50× 34× 33	
61-14	聖観音	深良興禅寺			丸彫立像	75× 28× 18	補修
8-18	聖観音	久根老人生涯センター			丸彫座像	45× 30× 19	
14-08	聖観音	久根494-2			舟型立像	53× 28× 22	
16-36	聖観音	公文名光明寺			丸彫座像	41× 31× 19	
46-03	聖観音	茶畑野添44			丸彫座像	63× 49× 28	
73-02	聖観音	茶畑清水館東			舟型立像	74× 40× 22	欠落
1-06	聖観音	麦塚東光寺			丸彫立像	52× 22× 12	
50-10	聖観音	須山祖霊社			丸彫立像	52× 19× 18	補修
17-06	聖観音	下和田はのさわ橋東			丸彫立像	36× 17× 13	欠落
17-10	聖観音	下和田はのさわ橋東			丸彫座像	29× 37× 17	欠落
23-19	聖観音	御宿荘園寺			丸彫立像	69× 26× 17	
32-03	聖観音	葛山中村集会所			丸彫座像	51× 43× 25	補修
32-06	聖観音	葛山中村集会所			丸彫座像	54× 39× 19	
39-00	聖観音	葛山中村347			舟型立像	59× 29× 19	欠落
50-11	聖観音	葛山依京寺内			祠	87× 54× 38	
50-13	聖観音	葛山依京寺内			丸彫立像	41× 14× 14	
4-21	聖観音	桃園定輪寺			丸彫座像	39× 31× 20	
4-22	聖観音	桃園定輪寺			丸彫立像	80× 27× 24	
2-00	聖観音	富沢8			丸彫立像	35× 13× 8	欠落
6-01	聖観音	富沢公民館			舟型立像	54× 27× 14	欠損
6-02	聖観音	富沢公民館			舟型立像	53× 30× 20	
6-07	聖観音	富沢公民館			丸彫座像	34× 30× 20	欠落
13-18	聖観音	富沢尼寺跡			丸彫立像	77× 27× 19	
4-05	聖観音	水窪公民館内			丸彫座像	42× 34× 21	折損
12-17	聖観音	伊豆島田不動尊			舟型立像	86× 38× 24	補修
12-18	聖観音	伊豆島田不動尊			丸彫立像	41× 21× 17	欠落
13-14	観音菩薩	富沢尼寺跡			丸彫座像	50× 29× 18	
12-19	観音菩薩	伊豆島田不動尊			舟型立像	43× 25× 14	
13-01	観音菩薩	伊豆島田不動尊西			舟型立像	44× 17× 11	
6-14	如意輪観音	上ヶ田集会所			丸彫座像	46× 30× 21	
3-05	如意輪観音	葛山田場沢薬師堂			丸彫座像	44× 32× 21	欠損
32-02	如意輪観音	葛山中村集会所			舟型座像	75× 34× 18	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
3-17	如意輪観音	佐野蓮光寺			丸彫座像	54× 35× 19	欠落
16-10	如意輪観音	佐野二本松公民館内			舟型座像	47× 25× 20	
3-05	如意輪観音	大畑101			丸彫座像	30× 22× 19	
4-23	如意輪観音	桃園定輪寺			丸彫座像	50× 31× 22	
6-08	如意輪観音	富沢公民館			丸彫座像	30× 24× 13	欠落
13-04	如意輪観音	富沢尼寺跡			丸彫座像	37× 38× 21	欠損
7-07	馬頭観音	深良上丹1551			浮彫立像	41× 24× 11	欠落
10-01	馬頭観音	深良上丹1586			浮彫立像	35× 24× 17	
21-00	馬頭観音	深良原農道沿			浮彫立像	40× 23× 15	
37-01	馬頭観音	深良深良新田1354			舟型立像	52× 27× 12	
37-23	馬頭観音	深良深良新田1354			浮彫立像	47× 24× 21	
81-03	馬頭観音	深良震橋			舟型立像	46× 22× 18	補修
7-02	馬頭観音	久根長尾十字路			舟型立像	39× 19× 13	欠落
7-03	馬頭観音	久根長尾十字路			舟型立像	57× 29× 21	
25-02	馬頭観音	久根713			浮彫座像	48× 23× 17	
2-00	馬頭観音	公文名498-8			舟型立像	57× 30× 20	
5-00	馬頭観音	茶畑滝頭642			舟型立像	56× 27× 14	
35-01	馬頭観音	茶畑中丸264			舟型立像	48× 24× 16	
42-01	馬頭観音	茶畑芦原観音堂			浮彫座像	44× 26× 16	補修
57-03	馬頭観音	茶畑伊豆佐野口			舟型立像	38× 28× 20	風化
68-03	馬頭観音	茶畑日邦工業西			舟型立像	48× 30× 14	
68-05	馬頭観音	茶畑日邦工業西			舟型立像	47× 28× 17	
12-02	馬頭観音	平松佐野原地蔵堂			舟型立像	54× 26× 17	欠落
15-03	馬頭観音	平松614			舟型立像	48× 27× 19	
15-04	馬頭観音	平松614			浮彫立像	31× 25× 10	折損
1-03	馬頭観音	麦塚東光寺			舟型立像	52× 29× 19	
70-01	馬頭観音	須山田向辻十字路			舟型立像	34× 25× 14	欠落
70-02	馬頭観音	須山田向辻十字路			舟型立像	41× 23× 14	風化
72-02	馬頭観音	須山田向1662-2			舟型立像	39× 21× 14	風化
1-03	馬頭観音	下和田大胡山橋			舟型立像	48× 23× 16	欠落
13-02	馬頭観音	下和田974-2			舟型立像	43× 28× 20	欠落
16-06	馬頭観音	下和田860			浮彫立像	54× 27× 16	欠落
5-00	馬頭観音	御宿803-3			舟型座像	50× 24× 21	
12-02	馬頭観音	御宿大林			舟型立像	41× 28× 19	
17-04	馬頭観音	御宿富岡支所			浮彫立像	31× 24× 15	欠落 (道)
6-08	馬頭観音	上ヶ田集会所			舟型立像	45× 25× 13	風化
34-00	馬頭観音	葛山金山橋			舟型立像	49× 26× 19	風化
36-01	馬頭観音	葛山中村345-9			舟型立像	60× 29× 15	
44-00	馬頭観音	葛山上城288-2			浮彫立像	56× 27× 14	風化
10-00	馬頭観音	千福公民館の山中			舟型立像	49× 28× 12	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
14-02	馬頭観音	千福510-1			舟型立像	64× 31× 19	
16-08	馬頭観音	佐野二本松公民館内			浮彫立像	64× 29× 19	
4-05	馬頭観音	大畑橋			舟型立像	65× 39× 6	欠落
5-00	馬頭観音	大畑76			舟型立像	50× 29× 20	
5-05	馬頭観音	桃園橋西			舟型立像	61× 35× 12	欠落
5-09	馬頭観音	桃園橋西			舟型立像	45× 24× 10	欠落
2-04	馬頭観音	二ッ屋127-3北			舟型立像	37× 24× 14	風化
2-08	馬頭観音	二ッ屋127-3北			舟型立像	53× 30× 16	欠落
10-03	馬頭観音	水窪グランド			舟型立像	50× 25× 20	風化
10-06	馬頭観音	水窪グランド			浮彫立像	28× 22× 11	欠落
3-08	馬頭観音	伊豆島田堰原公民館内			舟型立像	56× 30× 19	
54-01	馬頭観音	深良市場2334			自然石	38× 27× 25	文字塔
5-00	馬頭観音	久根275-2			櫛型	39× 18× 14	文字塔
6-01	馬頭観音	茶畑滝頭675			自然石	64× 24× 26	文字塔
8-22	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側			自然石	74× 41× 13	文字塔
8-25	馬頭観音	茶畑滝頭不動堂北側			自然石	58× 23× 17	文字塔
29-00	馬頭観音	茶畑中丸581-8			自然石	41× 29× 19	文字塔
5-00	馬頭観音	須山十里木八幡宮			自然石	39× 21× 9	欠落・文字塔
23-00	馬頭観音	須山久保下橋			自然石	48× 33× 20	文字塔 (道)
26-00	馬頭観音	須山久保432-2			自然石	50× 44× 25	文字塔 (道)
35-00	馬頭観音	須山久保490			自然石	41× 32× 19	文字塔 (道)
36-00	馬頭観音	須山久保509			自然石	45× 36× 27	文字塔
45-00	馬頭観音	須山馬場591-1			自然石	47× 29× 13	文字塔 (道)
48-00	馬頭観音	須山新井568			自然石	55× 39× 21	文字塔
60-04	馬頭観音	須山原175			自然石	44× 25× 26	欠落・文字塔
2-03	馬頭観音	葛山田場沢公民館			駒型	40× 22× 15	文字塔
32-12	馬頭観音	葛山中村集会所			櫛型	54× 24× 17	文字塔
4-00	馬頭観音	千福西川橋			櫛型	45× 26× 12	文字塔
4-06	馬頭観音	大畑橋			自然石	35× 23× 18	文字塔
13-02	馬頭観音	富沢尼寺跡			自然石	50× 25× 25	文字塔
10-07	馬頭観音	水窪グランド			自然石	27× 18× 12	文字塔
55-01	馬頭観音	須山新井247-4			自然石	49× 43× 26	
55-02	馬頭観音	須山新井247-4			自然石	36× 23× 12	
56-01	馬頭観音	須山原184-1			自然石	45× 26× 21	
84-00	馬頭観音	須山田向62-4			自然石	47× 23× 14	
1-00	馬頭観音	千福797-2			自然石	56× 26× 18	風化
10-08	馬頭観音	水窪グランド			自然石	25× 25× 20	
16-27	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	48× 27× 17	聖観音
16-28	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	43× 26× 15	十一面観音 補修
16-29	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	48× 28× 18	馬頭観音 補修

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
16-30	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	38× 23× 16	千手観音
16-31	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	41× 23× 18	如意輪観音 風化
16-32	六観音	公文名光明寺			丸彫座像	40× 29× 18	不空絹索観音 風化
7-21	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型立像	74× 39× 27	千手観音
7-22	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型座像	67× 43× 25	如意輪観音
7-23	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型座像	70× 43× 22	馬頭観音
7-24	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型立像	71× 40× 27	十一面観音
7-25	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型立像	65× 37× 22	准提観音
7-26	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型座像	71× 42× 23	不空絹索観音 欠落
7-27	七観音	茶畑滝頭公民館			舟型立像	70× 39× 23	聖観音
49-07	子安観音	須山馬頭観音堂内			浮彫座像	42× 27× 20	
20-00	牛馬観音	茶畑富岳台保育園南			櫛型	36× 25× 17	
12-02	観世音菩薩	公文名363			自然石	63× 36× 15	文字塔
5-03	観世音菩薩	平松465-5			舟型	61× 26× 12	伝承十三塚 文字塔
9-00	観世音菩薩	千福栄橋西			自然石	110× 96× 42	風化 文字塔
19-08	地藏菩薩	深良原地蔵尊			丸彫座像	43× 35× 20	
24-03	地藏菩薩	深良車返霊場跡			丸彫立像	58× 21× 14	風化
51-17	地藏菩薩	深良遠道原観音堂			丸彫立像	29× 18× 13	欠落
74-08	地藏菩薩	深良文明寺			丸彫立像	46× 17× 17	
8-28	地藏菩薩	久根老人生涯センター			丸彫座像	37× 27× 15	
16-02	地藏菩薩	公文名光明寺			丸彫立像	93× 46× 26	
24-06	地藏菩薩	公文名公民館内			丸彫立像	50× 15× 13	
25-01	地藏菩薩	公文名天神宮			丸彫立像	37× 20× 10	風化
8-28	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂北側			丸彫立像	46× 17× 17	
9-03	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			舟型立像	53× 30× 22	
9-04	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			丸彫立像	29× 14× 11	欠落
9-05	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			舟型立像	51× 27× 16	欠落
9-06	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			丸彫座像	50× 42× 25	
9-08	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			舟型立像	50× 25× 18	風化
9-09	地藏菩薩	茶畑滝頭不動堂			舟型立像	55× 35× 19	
17-03	地藏菩薩	茶畑願生寺			丸彫立像	118× 44× 28	
17-10	地藏菩薩	茶畑願生寺			浮彫	28× 27× 14	
19-01	地藏菩薩	茶畑道上1660			丸彫座像	106× 63× 34	
47-00	地藏菩薩	茶畑中丸64-1			舟型	53× 24× 19	
61-03	地藏菩薩	茶畑大日堂			丸彫立像	91× 22× 17	補修
64-04	地藏菩薩	茶畑峰下上之橋北			丸彫	76× 41× 21	風化
65-02	地藏菩薩	茶畑市ノ瀬公民館内			丸彫立像	56× 21× 17	
12-03	地藏菩薩	平松佐野原地蔵堂			笠付角柱くり抜	159× 53× 32	
12-04	地藏菩薩	平松佐野原地蔵堂			丸彫	33× 17× 17	部分
12-05	地藏菩薩	平松佐野原地蔵堂			丸彫立像	78× 24× 18	

番号	種 類	所 在 地	和年号	西 曆	形 状	法 量	備 考
1-05	地藏菩薩	麦塚東光寺			丸彫立像	32× 12× 12	補修
1-07	地藏菩薩	麦塚東光寺			丸彫立像	62× 24× 17	
1-09	地藏菩薩	麦塚東光寺			丸彫立像	44× 15× 14	
1-11	地藏菩薩	麦塚東光寺			丸彫立像	36× 12× 10	
40-00	地藏菩薩	須山馬場604			丸彫立像	39× 18× 14	風化
50-04	地藏菩薩	須山祖霊社			丸彫立像	136× 47× 21	補修
50-05	地藏菩薩	須山祖霊社			丸彫立像	63× 34× 29	風化
55-03	地藏菩薩	須山新井247-4			丸彫立像	61× 23× 17	風化
6-16	地藏菩薩	下和田専修院			丸彫座像	49× 29× 22	補修
4-10	地藏菩薩	今里浄土院			舟型立像	45× 25× 12	
10-04	地藏菩薩	今里地藏堂内			丸彫立像	64× 21× 15	
10-05	地藏菩薩	今里地藏堂内			丸彫立像	61× 22× 14	岩船
10-06	地藏菩薩	今里地藏堂内			丸彫立像	45× 21× 16	
5-00	地藏菩薩	金沢237-2			浮彫立像	53× 24× 14	
23-17	地藏菩薩	御宿荘園寺			舟型立像	47× 27× 12	
8-02	地藏菩薩	葛山中里767-5			舟型立像	47× 23× 12	欠落
50-27	地藏菩薩	葛山景ヶ島			丸彫立像	90× 28× 23	
13-19	地藏菩薩	千福地藏堂			浮彫座像	41× 30× 19	
11-03	地藏菩薩	石脇公民館			舟型立像	70× 33× 20	補修
16-03	地藏菩薩	石脇土場地蔵			舟型立像	51× 30× 30	欠落・子育
16-04	地藏菩薩	石脇土場地蔵			丸彫座像	53× 39× 24	補修・子育
16-06	地藏菩薩	石脇土場地蔵			丸彫座像	47× 42× 27	補修・子育
3-15	地藏菩薩	佐野蓮光寺			丸彫立像	49× 20× 19	
3-30	地藏菩薩	佐野蓮光寺			丸彫立像	56× 18× 16	補修
10-01	地藏菩薩	佐野979			丸彫立像	42× 17× 14	補修
21-00	地藏菩薩	佐野1602-2			舟型立像	71× 35× 28	
2-12	地藏菩薩	大畑弘法大師堂				— × — × —	身代わり
3-03	地藏菩薩	大畑101			自然石	95× 41× 32	線刻
4-19	地藏菩薩	桃園定輪寺			丸彫座像	36× 26× 19	
2-10	地藏菩薩	二ッ屋127-3北			丸彫座像	35× 32× 23	欠落
2-11	地藏菩薩	二ッ屋127-3北			丸彫座像	41× 35× 23	風化
8-03	地藏菩薩	水窪140			丸彫座像	39× 28× 17	補修
8-04	地藏菩薩	水窪140			舟型立像	54× 23× 14	風化
8-05	地藏菩薩	水窪140			丸彫座像	30× 32× 25	欠落
8-06	地藏菩薩	水窪140			丸彫座像	60× 36× 24	欠落
3-11	地藏菩薩	伊豆島田郷原公民館内			舟型立像	58× 28× 19	子安
12-12	地藏菩薩	伊豆島田不動尊			浮彫座像	33× 33× 21	欠落
12-26	地藏菩薩	伊豆島田不動尊内			丸彫立像	61× 24× 28	
13-02	地藏菩薩	伊豆島田不動尊西			舟型立像	56× 32× 16	
51-09	六地藏	深良遠道原観音堂			舟型立像	54× 30× 19	



番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
61-08	六地藏	深良興禅寺			丸彫立像	62×24×18	補修
74-02	六地藏	深良文明寺			丸彫立像	65×25×14	
8-06	六地藏	久根老人生涯センター			舟型立像	49×30×16	欠落
4-04	六地藏	今里浄土院			丸彫立像	58×17×12	補修
50-01	六地藏	葛山景ヶ島			丸彫立像	65×24×19	補修
13-02	六地藏	千福地藏堂			丸彫立像	48×20×16	欠落
11-16	六地藏	石脇不動堂			舟型立像	62×29×16	欠落
12-01	石幢	公文名363			単制六面	21×25×21	部分
6-15	石幢	下和田専修院			単制六面	50×47×50	部分
8-20	弥勒菩薩	久根老人生涯センター			丸彫座像	31×24×16	補修
8-23	文殊菩薩	久根老人生涯センター			丸彫座像	35×23×17	補修
8-29	勢至菩薩	久根老人生涯センター			丸彫座像	33×24×15	補修
6-00	阿弥陀菩薩	金沢237-2			自然石	17×16×9	
3-20	普賢菩薩	佐野蓮光寺			丸彫座像	27×25×19	欠落
3-04	普賢菩薩	大畑101			自然石	80×47×30	線刻
61-06	不動明王	深良興禅寺			丸彫座像	50×30×15	
8-24	不動明王	久根老人生涯センター			丸彫座像	43×25×19	
9-02	不動明王	茶畑滝頭不動堂内			浮彫立像	48×23×12	
69-02	不動明王	茶畑滝ノ沢			浮彫座像	30×30×18	欠落
10-02	不動明王	須山富士山資料館内			浮彫座像	50×43×18	欠落
1-01	不動明王	金沢大久保金沢水源			丸彫座像	39×29×20	
11-02	不動明王	伊豆島田186-3			自然石	50×29×24	
65-00	不動明王	深良南掘2687			自然石	45×36×11	文字塔
11-19	閻魔	石脇不動堂			丸彫座像	72×49×32	
15-16	弁財天	佐野二本松浅間神社			自然石	72×57×19	
10-01	弁財天	石脇268-2			舟型座像	39×26×19	
74-10	羅漢	深良文明寺			丸彫座像	33×24×17	
74-11	羅漢	深良文明寺			丸彫座像	29×23×14	
74-13	羅漢	深良文明寺			丸彫座像	31×22×17	
2-01	羅漢	千福808-3			丸彫座像	42×33×27	風化
4-01	羅漢	桃園定輪寺山門			丸彫座像	75×53×40	
4-03	羅漢	桃園定輪寺山門			丸彫座像	63×51×32	
5-12	羅漢	桃園橋西			丸彫座像	72×50×35	
7-01	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	46×44×28	欠落
7-02	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	49×46×28	
7-03	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	52×32×26	欠落
7-04	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	51×34×27	欠落
7-05	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	50×40×30	欠落
7-06	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	57×51×31	
7-07	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	45×40×26	欠落

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
7-08	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	34× 43× 23	欠落
7-09	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	39× 42× 27	欠落
7-10	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	44× 54× 27	欠落
7-12	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	39× 38× 25	欠落
7-13	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	36× 38× 26	欠落
7-14	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	50× 44× 30	
7-15	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	46× 43× 27	風化
7-16	十六羅漢	茶畑滝頭公民館			丸彫座像	42× 33× 28	風化
50-10	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	41× 26× 25	欠落
50-15	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	43× 38× 27	欠損
50-16	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	43× 39× 33	欠損
50-17	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	39× 33× 27	欠落
50-18	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	37× 34× 30	欠落
50-19	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	40× 35× 27	欠落
50-23	十六羅漢	葛山景ヶ島			丸彫座像	47× 45× 25	欠損
27-01	諸神	久根702			祠	62× 40× 25	稻荷神
11-02	諸神	公文名369			祠	43× 29× 16	八幡大菩薩
11-04	諸神	公文名369			自然石	55× 50× 31	地神
22-02	諸神	公文名130			自然石	50× 40× 15	地神
30-02	諸神	茶畑中丸403			祠	98× 64× 28	駒形神
33-01	諸神	茶畑中丸272-2			自然石	14× 14× 12	地神
53-01	諸神	茶畑本茶917			祠	53× 26× 16	地神
59-02	諸神	茶畑峰下1460			祠	80× 44× 27	八幡大明神・風化
67-00	諸神	茶畑市ノ瀬山中			自然石	48× 59× 23	箱根大権現
16-03	諸神	須山十里木クレ射撃場			祠	60× 35× 18	龍爪神
19-02	諸神	須山石神社			祠	47× 34× 18	石神
28-02	諸神	須山久保495-1			祠	78× 40× 41	稻荷神
38-01	諸神	須山馬場635			自然石	20× 28× 28	地神
81-00	諸神	須山田向102			自然石	26× 43× 22	シンノ神
85-00	諸神	須山田向63			祠	53× 37× 18	天神
89-04	諸神	須山十二社神社			自然石	48× 34× 16	守護神
89-05	諸神	須山十二社神社			自然石	113× 49× 23	守護神
20-00	諸神	御宿587			祠	61× 42× 20	稻荷神
9-08	諸神	葛山浅間神社			自然石	61× 114× 82	乳房の神
50-22	諸神	葛山景ヶ島			祠	67× 53× 23	御嶽神・風化
2-00	諸神	石脇市立水泳場南			祠	41× 31× 20	稻荷神
13-01	諸神	石脇71-1北			祠	62× 37× 17	稻荷神
10-00	諸神	富沢287-10南			祠	76× 42× 21	神明
10-00	諸神	伊豆島田南公園西			祠	28× 29× 12	イボ神
3-05	神社標石	桃園神社			角柱	217× 37× 37	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
39-01	鳥居	深良高雄山穗見神社				20× 46× 46	部分
10-06	鳥居	公文名鹿島神社			明神型	370×340× 31	
3-02	鳥居	稲荷神社				190× 64× 53	部分・倒壊
23-05	鳥居	茶畑中丸315				— × — × —	部分・倒壊
2-01	鳥居	麦塚見目神社				26× 49× 49	部分
3-08	鳥居	石脇三島神社				29× 45× 45	部分
6-12	鳥居	佐野八幡神社				44×100× 74	部分
6-01	鳥居	桃園御嶽神社				10× 46× 46	部分
1-00	鳥居	富沢8				25× 34× 34	部分
18-01	鳥居	富沢山神社				20× 41× 41	部分
11-02	鳥居	水窪神社				41× 80× 80	部分
79-04	幟立	深良神社				162× 29× 21	
8-01	幟立	石脇409				86× 25× 16	
11-01	幟立	石脇公民館				105× 23× 20	
1-01	幟立	佐野94-3北				85× 26× 15	
8-05	幟立	佐野406-1-1				65× 26× 22	一對
22-05	幟立	佐野二本松不動尊				42× 27× 15	欠落
22-06	幟立	佐野二本松不動尊				19× 26× 14	欠落
6-02	万霊塔	岩波永統橋			自然石	46× 26× 16	
12-02	万霊塔	茶畑滝頭589-4			板碑	68× 27× 14	
17-07	万霊塔	茶畑願生寺			自然石	93× 40× 14	
24-00	万霊塔	御宿425			自然石	93× 27× 37	
3-02	万霊塔	葛山田場沢薬師堂			自然石	114× 54× 25	
3-01	万霊塔	佐野蓮光寺			自然石	260× 80× 29	
61-03	石灯籠	深良興禪寺			灯籠	153× 56× 23	
61-04	石灯籠	深良興禪寺			灯籠	155× 56× 22	
10-14	石灯籠	公文名鹿島神社			灯籠	16× 36× 36	部分
10-15	石灯籠	公文名鹿島神社			灯籠	54× 54× 56	部分
10-16	石灯籠	公文名鹿島神社			灯籠	62× 23× —	部分・倒壊
4-02	石灯籠	茶畑滝頭639			灯籠	58× 41× 41	部分
4-03	石灯籠	茶畑滝頭639			灯籠	33× 19× 19	部分
23-07	石灯籠	茶畑中丸315			灯籠	14× 60× 60	部分
51-05	石灯籠	茶畑本茶928-1			灯籠	— × — × —	部分
19-01	石灯籠	須山石神神社			灯籠	93× 40× 20	補修
6-13	石灯籠	下和田専修院			灯籠	101× 63× 63	欠落
6-05	石灯籠	下和田専修院			灯籠	64× 43× —	部分
4-01	石灯籠	今里浄土院			灯籠	204× 86× 30	
10-02	石灯籠	今里地藏堂			灯籠	94× 47× —	欠落
16-01	石灯籠	今里新田畑高山神社			灯籠	99× 41× —	欠落
2-04	石灯籠	金沢浅間神社			灯籠	120× 36× 36	欠落

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
32-11	石灯笼	葛山中村集会所			灯笼	120×47×-	部分・欠落
23-01	石灯笼	御宿荘園寺			灯笼	184×88×39	補修
6-10	石灯笼	千福普明寺			灯笼	175×72×39	
6-11	石灯笼	千福普明寺			灯笼	189×72×37	
6-12	石灯笼	千福普明寺			灯笼	189×72×37	
6-13	石灯笼	千福普明寺			灯笼	185×72×33	
6-14	石灯笼	千福普明寺			灯笼	185×72×33	
6-19	石灯笼	千福普明寺			灯笼	184×62×28	
13-07	石灯笼	千福地藏堂			灯笼	74×44×-	補修
5-00	石灯笼	佐野333			灯笼	136×90×24	補修
6-13	石灯笼	佐野八幡神社			灯笼	153×62×25	補修
6-14	石灯笼	佐野八幡神社			灯笼	157×63×26	補修
7-01	石灯笼	佐野水天宮			灯笼	120×100×27	補修
4-10	石灯笼	桃園定輪寺			灯笼	222×55×25	
4-15	石灯笼	桃園定輪寺			灯笼	111×42×19	
7-01	石灯笼	富沢山の神			灯笼	142×49×24	
7-02	石灯笼	富沢山の神			灯笼	142×49×24	
17-01	石灯笼	富沢不動湧水西			灯笼	134×51×21	補修
3-03	石灯笼	伊豆島田堰原公民館			灯笼	147×51×29	欠落
5-08	常夜塔	桃園橋西			灯笼	72×40×37	部分
7-00	秋葉山供養塔	今里本村集会所			灯笼	180×116×32	
18-00	秋葉山供養塔	佐野1517			自然石	71×55×46	部分
16-12	手洗石	茶畑浅間神社			箱型	45×70×39	
7-04	手洗石	平松八幡神社			自然石	74×98×54	
25-03	手洗石	須山久保山ノ神社			自然石	23×70×59	
30-05	手洗石	須山浅間神社			箱型	69×125×65	
2-09	手洗石	下和田浅間神社			鉢型	20×38×39	欠落
3-07	手洗石	御宿子ノ神社			自然石	57×75×42	補修
14-06	手洗石	御宿八幡宮			自然石	66×121×80	
3-03	手洗石	葛山田場沢薬師堂			自然石	47×57×41	
9-03	手洗石	葛山浅間神社			自然石	75×112×81	
50-09	手洗石	葛山景ヶ島			鉢型	29×51×56	
3-07	手洗石	石脇三島神社			自然石	78×205×120	
3-09	手洗石	石脇三島神社			自然石	64×130×90	
15-09	手洗石	佐野二本松浅間神社			自然石	70×215×177	
15-15	手洗石	佐野二本松浅間神社			自然石	27×62×53	
22-02	手洗石	佐野二本松不動尊			自然石	52×107×56	
3-06	手洗石	桃園神社			自然石	59×79×51	
4-24	手洗石	桃園定輪寺			自然石	88×125×70	
4-28	手洗石	桃園定輪寺			鉢型	27×62×52	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
13-03	手洗石	富沢尼寺跡			鉢型	21× 54× 46	
11-03	手洗石	水窪神社			自然石	61×178× 58	
4-06	狛犬	岩波駒形神社				63× 48× 21	
4-07	狛犬	岩波駒形神社				69× 48× 32	
2-05	狛犬	金沢浅間神社				61× 52× 21	
2-06	狛犬	金沢浅間神社				61× 52× 21	
7-02	石段袖石	水窪長教寺			円柱	43× 18× 18	
48-01	力石	深良切久保615-1			自然石	32× 40× 37	
11-23	力石	石脇不動堂			自然石	27× 72× 34	
11-24	力石	石脇不動堂			自然石	24× 78× 34	
11-25	力石	石脇不動堂			自然石	30× 62× 26	
16-00	石祠	深良原3218-1			祠	56× 57× 21	
6-01	石祠	公文名251			祠	69× 28× 17	
10-13	石祠	公文名鹿島神社			祠	54× 37× 27	欠落
37-02	石祠	須山馬場626			祠	81× 51× 28	
8-05	碑(記念)	茶畑滝頭不動堂北側			自然石	116×117× 60	
9-08	碑(記念)	今里浅間神社			自然石	58× 48× 17	
16-02	碑(記念)	御宿生霊神社			自然石	43× 35× 16	
9-05	碑(記念)	葛山浅間神社			板石	93×199× 16	
50-24	碑(記念)	葛山景ヶ島			自然石	123× 55× 21	
11-14	碑(記念)	石脇不動堂			自然石	105× 56× 12	補修
15-08	碑(記念)	佐野二本松浅間神社			板石	162× 76× 9	
3-02	碑(記念)	桃園神社			自然石	90× 48× 33	
8-17	碑(慰霊)	茶畑滝頭不動堂北側			自然石	314×208× 50	
16-05	碑(慰霊)	御宿生霊神社			板石	254× 90× 15	
15-07	碑(慰霊)	佐野二本松浅間神社			板石	340×131× 25	
10-01	文学碑	須山富士山資料館			自然石	119×114× 98	若山牧水
4-13	文学碑	桃園定輪寺			櫛型角柱	100× 32× 27	宗祇
5-01	文学碑	桃園橋西			自然石	86× 60× 38	宗祇
2-15	文学碑	二ッ屋127-3北			笠付石碑	89× 53× 15	来童
4-01	碑(その他)	金沢地藏堂			自然石	78× 54× 22	
5-02	宝篋印塔	深良須釜3276				16× 21× 21	部分
5-03	宝篋印塔	深良須釜3276				11× 17× 17	部分
5-04	宝篋印塔	深良須釜3276				25× 22× 22	部分
5-05	宝篋印塔	深良須釜3276				38× 21× 21	部分
5-06	宝篋印塔	深良須釜3276				64× 38× 38	欠落
5-07	宝篋印塔	深良須釜3276				54× 20× 20	
52-00	宝篋印塔	深良市場989				41× 21× 21	部分
56-02	宝篋印塔	深良和田2015-2				70× 23× 23	
56-03	宝篋印塔	深良和田2015-2				70× 23× 23	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
56-04	宝篋印塔	深良和田2015-2				68× 23× 23	欠落
56-05	宝篋印塔	深良和田2015-2				39× 21× 21	部分
61-19	宝篋印塔	深良興禪寺南				68× 22× 22	
21-00	宝篋印塔	久根安楽寺跡				27× 31× 31	部分
11-03	宝篋印塔	公文名369				21× 31× 34	部分
17-01	宝篋印塔	公文名318				31× 36× 20	部分
17-02	宝篋印塔	公文名318				37× 37× 19	部分
17-04	宝篋印塔	公文名318				50× 46× 32	部分
17-07	宝篋印塔	公文名318				51× 24× 24	部分
17-08	宝篋印塔	公文名318				64× 24× 24	部分
91-02	宝篋印塔	須山滝之沢水源				16× 22× 22	部分
13-00	宝篋印塔	葛山下条498				49× 36× 32	部分
27-04	宝篋印塔	葛山仙年寺				62× 28× 19	欠落
27-05	宝篋印塔	葛山仙年寺				69× 26× 27	欠落
27-06	宝篋印塔	葛山仙年寺				51× 20× 20	欠落
27-07	宝篋印塔	葛山仙年寺				68× 28× 28	
27-13	宝篋印塔	葛山仙年寺				75× 23× 26	
27-15	宝篋印塔	葛山仙年寺				64× 25× 25	欠落
38-00	宝篋印塔	葛山上城109-2				98× 59× 67	倒壊
40-07	宝篋印塔	葛山八幡神社入口				18× 24× 24	部分
47-00	宝篋印塔	葛山上城旧仙年寺跡				17× 17× 17	部分
3-05	宝篋印塔	佐野蓮光寺				75× 29× 29	欠落
3-06	宝篋印塔	佐野蓮光寺				69× 33× 23	
10-02	宝篋印塔	佐野979				34× 29× 29	部分
10-04	宝篋印塔	佐野979				25× 23× 23	部分
10-07	宝篋印塔	佐野979				40× 22× 22	部分
10-08	宝篋印塔	佐野979				20× 23× 23	部分
4-14	宝篋印塔	桃園定輪寺				68× 34× 24	
4-17	宝篋印塔	桃園定輪寺				86× 33× 33	
5-04	宝篋印塔	水窪新愛鷹橋東				13× 19× 19	部分
12-02	宝篋印塔	水窪踏切				15× 18× 18	部分
5-01	五輪塔	深良須釜3276				28× 17× 17	部分
56-01	五輪塔	深良和田2015-2				58× 22× 22	
56-06	五輪塔	深良和田2015-2				58× 19× 19	
56-07	五輪塔	深良和田2015-2				41× 16× 16	
61-18	五輪塔	深良興禪寺南				65× 31× 31	
61-22	五輪塔	深良興禪寺南				49× 32× 31	部分
8-34	五輪塔	久根老人生涯センター				75× 28× 28	
14-04	五輪塔	久根494-2				27× 28× 22	部分
14-06	五輪塔	久根494-2				52× 19× 19	

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
27-02	五輪塔	久根702				45× 17× 17	
16-22	五輪塔	公文名光明寺				30× 23× 23	部分
17-03	五輪塔	公文名318				46× 20× 20	部分
17-06	五輪塔	公文名318				61× 36× 36	
17-09	五輪塔	公文名318				95× 43× 43	
17-10	五輪塔	公文名318				116× 68× 68	
17-11	五輪塔	公文名318				133× 52× 51	
23-00	五輪塔	公文名三角橋南				59× 31× 31	部分
26-02	五輪塔	御宿357-4				15× 24× -	部分
27-03	五輪塔	葛山仙年寺				53× 29× 27	
27-10	五輪塔	葛山仙年寺				123× 61× 67	
27-18	五輪塔	葛山仙年寺				51× 22× 22	
20-03	五輪塔	千福533				35× 20× 19	部分
3-07	五輪塔	佐野蓮光寺				62× 24× 24	
3-08	五輪塔	佐野蓮光寺				57× 22× 22	
3-09	五輪塔	佐野蓮光寺				62× 22× 22	
3-10	五輪塔	佐野蓮光寺				58× 22× 22	
3-11	五輪塔	佐野蓮光寺				66× 35× 35	
10-05	五輪塔	佐野979				26× 22× 22	部分
10-06	五輪塔	佐野979				13× 22× 22	部分・欠落
12-03	五輪塔	水窪踏切				15× 23× 22	部分
28-01	板碑五輪塔	茶畑中丸623			板碑	79× 27× 14	
43-00	一石五輪塔	茶畑富士見台143-12				111× 28× 28	伝承十三塚
3-00	一石五輪塔	平松445				110× 28× 28	伝承十三塚
12-10	一石五輪塔	平松佐野原神社				109× 35× 35	伝承十三塚
12-11	一石五輪塔	平松佐野原神社				105× 36× 36	伝承十三塚
61-20	宝篋五輪混合	深良興禪寺南				54× 31× 31	
61-21	宝篋五輪混合	深良興禪寺南				48× 18× 18	
74-12	宝篋五輪混合	深良文明寺				49× 19× 19	
23-01	宝篋五輪混合	茶畑中丸315				45× 22× 21	
23-02	宝篋五輪混合	茶畑中丸315				39× 20× 20	
27-02	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				53× 28× 26	
27-08	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				72× 28× 28	
27-09	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				86× 32× 32	
27-11	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				81× 30× 30	
27-16	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				69× 25× 23	
27-17	宝篋五輪混合	葛山仙年寺				63× 27× 19	
35-00	宝篋五輪混合	葛山中村386-5				79× 30× 30	
36-02	宝篋五輪混合	葛山中村345-9				70× 41× 31	
36-03	宝篋五輪混合	葛山中村345-9				92× 31× 31	

番号	種類	所在地	和年号	西暦	形状	法量	備考
20-01	宝篋五輪混合	千福533				64× 23× 23	
20-02	宝篋五輪混合	千福533				85× 36× 35	
20-04	宝篋五輪混合	千福533				55× 27× 26	
28-09	石造物	深良上原公民館内			丸彫座像	24× 20× 16	導師
33-00	石造物	深良耳石神社			自然石	61× 40× 49	耳石
25-01	石造物	久根713			自然石	—× —× —	蛇の神
7-07	石造物	公文名鹿島橋			自然石	47× 35× 9	日天・月天
23-03	石造物	茶畑中丸315			自然石	49× 41× 29	日天・月天
23-04	石造物	茶畑中丸315			自然石	42× 56× 18	他阿上人
24-00	石造物	茶畑中丸307			自然石	55× 38× 23	弘法大師
61-04	石造物	茶畑大日堂			八角	23× 58× 58	礎石
10-02	石造物	平松354			自然石	72× 60× 45	毘沙門天・伝承十三塚
11-15	石造物	平松佐野原神社			三重	198× 67× 67	層塔・伝承十三塚
49-05	石造物	須山馬頭観音堂			箱型	25× 39× 26	線香立
49-06	石造物	須山馬頭観音堂内			丸彫座像	34× 32× 24	弘法大師
18-03	石造物	今里24			自然石	39× 37× 17	観音さん
22-06	石造物	御宿平山水源地			磨崖碑	97× 81× —	俱利伽羅不動
3-01	石造物	千福791			自然石	32× 36× 17	馬止め石
16-02	石造物	石脇土場地蔵			箱型	41× 52× 19	線香立
22-01	石造物	佐野二本松不動尊			門型	231× 253× 22	拜門
3-06	石造物	大畑101				50× 29× 29	宝珠蓮華台
4-02	石造物	大畑橋			自然石	30× 70× —	集石子宝石
4-09	石造物	桃園定輪寺			自然石	212× 333× 219	子持石
13-17	石造物	富沢尼寺跡			蓮華台	25× 45× 35	
2-00	石造物	水窪123			自然石	—× 125× 95	土台石
8-01	石造物	水窪140			箱型	21× 92× 14	線香立
12-01	石造物	水窪踏切			角柱	64× 24× 21	花立
11-03	石造物	伊豆島田186-3			自然石	18× 100× 60	お手付き石
12-27	石造物	伊豆島田不動尊内			丸彫立像	36× 19× 13	十二神将
7-10	不明	深良上丹1551			浮彫立像	52× 30× 12	風化
7-11	不明	深良上丹1551			自然石	37× 23× 18	
36-02	不明	深良深良新田1332			丸彫像	64× 90× 12	
37-22	不明	深良深良新田1354			浮彫座像	24× 18× 14	風化
54-02	不明	深良市場2334			自然石	33× 27× 25	
61-23	不明	深良興禅寺南				33× 26× 26	
75-09	不明	深良町田庚申塚			円柱	36× 20× 20	
6-01	不明	久根255			自然石	52× 20× 17	
8-16	不明	久根老人生涯センター			丸彫座像	40× 31× 16	
8-33	不明	久根老人生涯センター			櫛型	53× 35× 16	風化
11-03	不明	久根81-2三共製袋東			自然石	35× 26× 13	欠落



番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
12-04	不明	久根庚申塚			角柱	52× 24× 22	
14-03	不明	久根494-2			自然石	48× 21× 18	風化
14-05	不明	久根494-2			自然石	43× 16× 17	風化
6-02	不明	公文名251			自然石	42× 32× 16	
7-09	不明	公文名鹿島橋			浮彫立像	31× 24× 14	欠落
11-01	不明	公文名369			自然石	38× 50× 49	
16-14	不明	公文名光明寺			自然石	26× 26× 34	
16-18	不明	公文名光明寺			自然石	41× 43× 47	
16-19	不明	公文名光明寺			自然石	43× 40× 15	
16-21	不明	公文名光明寺			自然石	29× 29× 15	
16-23	不明	公文名光明寺			自然石	33× 33× 19	
16-24	不明	公文名光明寺			丸彫立像	27× 12× 9	欠落
16-26	不明	公文名光明寺			丸彫	23× 24× 11	欠落
17-05	不明	公文名318				44× 29× 40	
24-02	不明	公文名公民館			自然石	78× 29× 26	
25-02	不明	公文名天神宮			自然石	22× 16× 7	線刻
4-01	不明	茶畑滝頭639			自然石	29× 34× 26	
4-05	不明	茶畑滝頭639			自然石	51× 38× 40	
9-07	不明	茶畑滝頭不動堂			丸彫立像	30× 17× 12	欠落
9-14	不明	茶畑滝頭不動堂			丸彫立像	24× 18× 14	折損・上部別石
21-06	不明	茶畑中丸322			自然石	24× 17× 14	欠落
31-01	不明	茶畑中丸公民館			浮彫座像	16× 19× 10	欠落
31-02	不明	茶畑中丸公民館			丸彫	24× 18× 14	欠落
35-05	不明	茶畑中丸264			丸彫座像	40× 35× 29	補修
39-00	不明	茶畑中丸204			自然石	15× 17× 15	
42-03	不明	茶畑芦原観音堂			浮彫立像	40× 24× 17	欠落
59-03	不明	茶畑峰下1460			自然石	21× 18× 17	
62-01	不明	茶畑峰下1601-1西			自然石	24× 28× 31	風化
64-01	不明	茶畑峰下上之橋北			自然石	23× 17× 16	
64-03	不明	茶畑峰下上之橋北			自然石	41× 35× 19	
68-02	不明	茶畑日邦工業西			自然石	64× 28× 14	
6-13	不明	須山十里木田関所跡			自然石	74× 39× 17	
10-03	不明	須山富士山資料館内			浮彫立像	36× 27× 20	折損
18-02	不明	須山愛鷹神社			自然石	53× 26× 17	
64-01	不明	須山田向1596-1			自然石	55× 31× 16	風化
9-03	不明	下和田988			自然石	39× 29× 15	
10-11	不明	今里稻荷神社			浮彫立像	34× 25× 11	補修
16-02	不明	今里新田畑高山神社			自然石	37× 20× 16	
11-01	不明	御宿大林			自然石	47× 24× 19	
3-08	不明	葛山田場沢薬師堂			浮彫座像	44× 33× 17	風化

番号	種類	所在地	和年号	西曆	形状	法量	備考
32-05	不明	葛山中村集会所				18× 13× 8	基礎部
33-02	不明	葛山中村408-3			自然石	32× 22× 11	
13-05	不明	千福地藏堂				21× 45× 46	笠部
13-06	不明	千福地藏堂			自然石	83× 55× 13	
13-08	不明	千福地藏堂				70× 41× 37	宝珠部
13-17	不明	千福地藏堂			浮彫立像	35× 24× 5	欠落
19-03	不明	千福天泉寺跡				33× 41× 46	
19-07	不明	千福天泉寺跡				33× 41× 41	基礎・蓮華部
3-19	不明	佐野蓮光寺			丸彫座像	26× 23× 12	欠落
6-10	不明	佐野八幡神社			角柱	35× 22× 22	
6-11	不明	佐野八幡神社			角柱	62× 25× 25	
3-01	不明	富沢9-1南			櫛型	55× 40× 38	
6-06	不明	富沢公民館			自然石	34× 32× 20	台六角柱
9-03	不明	富沢庚申塚			自然石	31× 20× 20	欠落
9-06	不明	富沢庚申塚			舟型	37× 30× 14	風化
13-08	不明	富沢尼寺跡				39× 51× 33	台座
13-19	不明	富沢尼寺跡			丸彫立像	17× 24× 20	折損
3-06	不明	水窪161			自然石	77× 34× 30	補修
3-05	不明	伊豆島田堰原公民館			浮彫立像	59× 37× 29	風化

## 編集後記

石造物調査は昭和六十三（一九八八）年より県立裾野高校郷土研究部を主体として開始し、その後編さん室が受け継ぎ現在に至りこの間紆余曲折がありました。漸く三冊（上・中・下）の報告書として完成する事ができました。

当初は市内全域の石造物を一冊に収めるつもりでおりましたが調査が進む中石造物の数が膨大で到底一冊では無理があると二冊（上・下）にする事にしました。しかしまだ未調査の部分があり益々増える事が判明し再検討した結果上・中・下の三冊にする事としました。地区割及び掲載割については、市内を三分割し（上）深良地区・東地区、（中）須山地区・富岡地区とし今回発刊の（下）は西地区としました。

今回発刊の内容的な特長として、上・中・下に掲載した石造物が一目で判る様に種類別・年代別・地区別等を一覧表にした統計表・石工の道具類を掲載し、又全体の位置図を添付したことです。これにより使用に当たっては益々便利になったと思われます。

これまでに発刊しました三冊の編集・写真撮影・文字解説・種類別選定等の作業に従事していただきました中野国雄専門委員・杉村斉・石田義明・松田香代子・伊東誠司調査委員及び他の調査委員の御尽力に依って出来上がったもので頭の下がる思いとともに感謝の念で一杯です。

今回までに発刊しました三冊の報告書に掲載しました石造物の数は、写真一九五二点・図七六六点で計二〇八六六点でありますが、調査

漏れがあるやもしれませんし道路工事・宅地造成工事・河川改修工事等によって多数の石造物が遺失しているものと思われます。しかし、掲載した二〇八六六点という数字が示す様にこれだけ貴重な石造物が現在でも裾野市内に残っている事は非常に素晴らしく、誇りに思っても良い事だと思います。又この先祖伝来の石造物を大切に保存し残してくれた先人の方々の心も素晴らしく、又誇りに思っても良い事です。

現代では機械で細工するそうですが昔はノミ一つでコツコツと刻み一つの形に仕上げるのに何ヶ月も掛け苦労し完成させています。この労作に対して畏敬の念を持ち先人が残してくれた貴重な遺産を守り後世の人々に伝え残す事が我々現代に生きる者の努めではないかと思ひます。この様な気持ちで将来・未来にも伝わり住みよい市への力となるでしょう。未来に向かって進む気持ちと精神的な安穩等を与えてくれるのが石造物なのではないでしょうか。

一応これで石造物の報告書は完了となる訳ですが、市民の大切な宝物の記録を後世の人々に残せる事は皆様の御協力の賜物と思っております。又調査に当りましては地域の皆様方には御多忙の折にも積極的に協力していただき大変な御迷惑をおかけした事と思ひます。御蔭げ様で調査もスムーズに進み事業も終了を見る事ができました。末筆ながら心より感謝申し上げます。又印刷に当りましては、みどり美術印刷株式会社様から多大なご支援をいただきました事に謝意を表します。

裾野市教育委員会 市史編さん室長 藤 森 秋 親

裾野市史編さん室関係者

◇市史編さん専門委員

- 有光 友学 横浜国立大学教授  
 高橋 敏 国立歴史民俗博物館教授  
 中野 国雄 日本考古学協会会員  
 福田アジオ 国立新潟大学教授  
 安田 常雄 国立電気通信大学教授  
 四方 一瀾 国士舘大学教授

◇市史編さん調査委員

- 岩崎 信夫 東京都立目黒高等学校教諭  
 坂本 紀子 早稲田大学大学院博士課程  
 湯川 郁子 白梅学園短期大学非常勤講師  
 西川 尚男 沼津市立大岡中学校教諭  
 大串 潤児 一橋大学大学院博士課程  
 菊池 邦彦 東京都立航空工業高等学校専門学校助教授  
 柴 雅房 静岡県立中央図書館指導主事  
 関根 省治 静岡県立富士宮北高等学校教諭  
 井口 俊靖 加藤学園暁秀高等学校教諭  
 厚地 淳司 静岡県立沼津東高等学校教諭  
 松崎 真吾 湘南学園中高等部非常勤講師  
 仁藤 敦史 国立歴史民俗博物館助手

- 東島 誠 東京大学大学院生  
 伊東 誠司 一橋大学大学院博士課程  
 瀬川裕市郎 沼津市歴史民俗資料館学芸員  
 新谷 尚紀 国立歴史民俗博物館助教授  
 杉村 斉 三島市郷土館館長  
 斎藤 弘美 日本民俗学会会員  
 岩田 重則 東京学芸大学講師  
 松田香代子 日本民俗学会会員  
 宮村田鶴子 日本民俗学会会員

◇地区協力委員 ( )内は市内地区名

- 植松甲子男 西地区 (石脇)  
 杉山 光正 " (佐野)  
 加藤 信雄 " (大畑)  
 水口 清文 " (二ツ屋)  
 歌崎 久作 " (桃園)  
 田口 昭一 " (富沢)  
 水口 忠栄 " (伊豆島田)  
 関野 政雄 " (水窪)  
 中西 保男 " (佐野・二元町)  
 藤原 善次 東地区 (公文名)  
 清水 四郎 " (滝頭)  
 芹沢 文 " (中丸上)  
 飯塚 政高 " (麦塚)

星野 直司	東地区	(新道中)
大庭 三郎	深良地区	(南堀)
倉沢 秀雄	"	(町震)
小林 秀年	"	(上須)
高橋 利治	"	(原)
一之瀬和雄	"	(切久保)
長田 稔	"	(新田)
藤森 茂良	"	(上原)
増田 一男	"	(和市)
西島 秀雄	富岡地区	(千福)
西島 義禮	"	(千福)
土屋 誠吾	"	(御宿・新田)
勝又 茂美	"	(入谷)
勝又 秋男	"	(上谷)
勝又 常一	"	(下条)
芹澤 正巳	"	(田場沢)
柏木 仁	"	(上ヶ田)
永田榮次郎	"	(金沢)
杉本 隆彦	"	(今里)
真田 林蔵	"	(下和田)
杉山 末雄	須山地区	(須山)
手網 拓史	"	(須山)

◇事務局

芹澤 仁	教育長
鎌野 公種	教育次長
藤森 秋親	室長
米山富美子	主席主査
市田 弘志	主査
木原 慎也	主事
永野 武信	事務職員
今関 裕美	事務職員
濱田 明	臨時職員
山本けい子	臨時職員
長田 文代	臨時職員

◇調査協力者

石田 義明	渡瀬 治
長谷川 博	中野 鈴子
亀崎 浩子	井上 輝夫
倉澤庄次郎	中村 恒之
泉谷 美保	藤本 政子
勝又 仁美	野村美穂子
窪田 紀子	鈴木 康代
勝又 治枝	山之内マス子
山入アヤ子	境野 仁子

裾野市立富士山資料館  
静岡県立裾野高等学校郷土研究部

## 参考文献

- 「日本石仏事典」 庚申懇話会 雄山閣 平成五年  
「石仏図典」 日本石仏協会 雄山閣 平成三年  
「図解・仏像のすべて」 P H P 研究所 平成四年  
「漢字異体字典」 日外アソシエーツ 平成四年  
「梵字手帖」 徳山暉純 木耳社 昭和六十二年  
「裾野市の石造物」 飯塚良之 平成二年  
「庚申塔アラカルト」 安田 弘 平成四年  
「葛山の久保川と雷神社」 柏木 勲 平成四年  
「五體字類」 法書会 西東書房 平成三年  
「石仏入門」 日下部朝一郎 国書刊行会 平成五年  
「伊那市石造文化財」 伊那市教育委員会 昭和五十七年  
「くずし解読字典」 相書房 平成三年  
「石仏調査ハンドブック」 雄山閣 平成五年  
「路傍の石仏」 武田久吉 第一法規 昭和四十七年  
「富士山麓の道祖神」 吉川静雄 幸原書店 昭和五十三年  
「裾野の道祖神」 鈴木 強 昭和五十三年  
「甲府の石造物」 甲府市 平成五年  
「大平の石仏・石神」 沼津市 平成五年

裾野市史調査報告書第八集

裾野の石造物

平成九年三月三十一日

編集 裾野市史専門委員会  
発行 裾野市教育委員会市史編さん室

裾野市茶畑三九九

電話 〇五五九―九三―七七一〇

印刷 みどり美術印刷株式会社

題字 石田 義明